はじめに

「受験古文」の最終目標は、**「初見の古文の文章を辞書なしで読めて、問題が解けること」**です。
そのために必要な三つの要素は、**「文法・単語・読解のルール（古文常識・作品常識含む）」**です。
三つの要素のうち、「文法」と「単語」が古文の土台となるところです。
「古文ができない」、「読めない」という人のほとんどは、この「文法」と「単語」がきちんとできていません。
この講座は、その土台の一つである**「文法」をしっかり身につけるための講座**です。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、実際の大学入試の文法問題も解ける力がつくように構成しています。

他レベルの『文法講座』との大きな違いは、

●各チャプター時間が短時間〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕
●用例ごとの例文が豊富〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕
●問題数が多い〔同じような問題でも、たくさん実施することにより、より記憶に定着させるため。〕
●大事なことは繰り返し説明〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕
●丁寧にじっくり解説〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「ゆっくりじっくり確実に！」**の姿勢で。〕

あとは、テキスト解説部分の文字も大きく読みやすくしています。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

他の文法講座より講数が多いのは、前述（例文・問題数が多いが、じっくり解説）の理由からです。
よって、身に着く内容は「ベーシックレベル」でも、他の文法講座となんら違いはありません。
全24講をきちんと仕上げたとき、大学入試文法問題を解く力はもとより、
大学入試レベルの文章を読むための土台の力も、十分についています！

現時点で「古文なんて、何書いているのかさっぱりわからないから大嫌いだ」という人は、なんの問題もありません。
一番恐ろしい勘違いは、「古文なんて日本語なんだから、勉強しなくてもどうにかなる」と思ってしまうことです。
断言しておきますが、勉強しておかないと、絶対にどうにもなりません。
「古文＝日本語」だと思っている人がいるならば、**「古文＝外国語」**だというくらいイメージを変えましょう。
ただし、**コツさえつかめば**、外国語を学習するよりも**ずっと簡単に、ずっと楽に「点取り科目」にすることができる。**
それが、古文のオイシイところです。

本講座で文法のコツをしっかりつかんで、是非、古文を得点源の科目にしましょう！

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

予習は一切不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に〈**例題**〉や「**問題**」がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、１日で１講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄に自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。

復習が終われば、各講の後ろにある「**復習問題**」を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　歴史的仮名づかい／品詞／活用形／係り結びの法則……p. 5
第二講　動詞(1)……p. 18
第三講　動詞(2)／形容詞……p. 32
第四講　語幹用法／形容動詞／音便／助動詞（活用）……p. 45
第五講　助動詞（接続）／「ず」……p. 56
第六講　「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」……p. 65
第七講　「ぬ」・「ね」の識別……p. 80
第八講　「る・らる」／「る」・「れ」の識別……p. 98
第九講　「す・さす・しむ」／「せ」の識別／「まし」……p. 114
第十講　「む・むず」／「らむ・けむ」……p. 128
第十一講　「らむ」の識別／「じ」／「べし・まじ」／「まほし・たし」／「ごとし」……p. 143
第十二講　２つの「なり」……p. 160
第十三講　「なり」の識別／「めり・らし」／推量・推定の助動詞のまとめ……p. 172

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　歴史的仮名づかい／品詞／活用形／係り結びの法則

★歴史的仮名づかい

●「あふみのうみ」「あうしうかいだう」とは何？

〈表記〉

（現代語→古文）

①　じ　→「ぢ」／　ず　→「づ」

（例）はぢ（恥）／　うなづく

②　促音「っ」→「つ」／　拗音「ゃ・ゅ・ょ」→「や・ゆ・よ」

（例）鳴つて（鳴って）／　大将（たいしやう）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈読み方〉

（古文→現代語）

① ゐ　→「　」

（例）ゐなか（【　】）

② ゑ　→「　」

（例）ゑし（【　】）

③ を　→「　」

（例）をさなき人（　人【　人】）

④ くゎ　→「　」／　ぐゎ　→「　」

（例）くゎんぱく（【　】）／　ぐゎんりき（【　】）

⑤ 語頭以外の「はひふへほ」→「　」

（例）かほ（【　】）／　＊月のひかり（月の【月の　】）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　a＋う　→「　　」

（例）あうむ（　　【鸚鵡】）

⑦　i＋う　→「　　」

（例）かなしう（　　【　　】）

⑧　e＋う　→「　　」

（例）せうそこ（　　【　　】）／けふ（　　【　　】）

⑨　o＋う　→「　　」

（例）きのふ（　　【　　】）

※「あふみのうみ」→「　　のうみ（【　　の海】）」＝「　　」

「あうしうかいだう」→「　　【　　】」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次のそれぞれの読み方を現代仮名遣いで書きなさい。

①　にほふ〔　　　　〕　②　ひとこゑ〔　　　　〕

③　をかし〔　　　　〕　④　ふさはし〔　　　　〕

⑤　とのゐ〔　　　　〕

問二　次のそれぞれの発音の仕方を、例にならってカタカナで書きなさい。

（例）　けふ　→　〔キョー〕

①　いふ〔　　　　〕　②　あふさか〔　　　　〕

③　てふてふ〔　　　　〕　④　しゃうじ〔　　　　〕

★歴史的仮名づかいにおける五十音図

ア行	あ		う		お
ヤ行	や		ゆ		よ
ワ行	わ		う		を

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**品詞**＝十個（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞）

〈自立語〉＝単独で文節を作ることができる語。

名詞…事物（人物・場所・物質など）の名前をあらわす語。➡「　　」

動詞…**動作**・**存在**をあらわす語。

形容詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「〜　　」で終わる。

形容動詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「〜　　」・「〜　　」で終わる。

} ➡「　　」

副詞…用言を修飾する語。

連体詞…体言を修飾する語。

接続詞…文と文をつなぐ語。前後の文脈の関係をあらわす語。

感動詞…感動・呼びかけ・応答・掛け声などをあらわす語。

〈付属語〉＝自立語（や助動詞）に付いて、文節の一部として用いられる語。

助動詞…用言や体言などに付いて、意味を加える語。

助詞…自立語（や助動詞）に付いて、意味を添えたり、ことばの働きをあらわしたりする語。

〈例〉　昔、男ありけり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用＝形が変わること

（例）「読む」を活用させて（　）を埋めなさい。

読（　）ない
読（　）ます
読（　）。
読（　）とき
読（　）ば
読（　）！

★活用する品詞＝「**動詞**」・「**形容詞**」・「**形容動詞**」・「**助動詞**」

★活用形＝「**未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形**」

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
読む	ま	み	む	む	め	め

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）次の傍線部の活用形は？

読み終わる

※活用形を考える時は「　　」を見る。

〔　　　〕⇐読み終わる

●（＝　　・　　・　　）の上は「　　形」！

〔　　　〕⇐読む人

●（＝　　）の上は「　　形」！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

活用形	下の語
未然形	**ず**（＝ない）
連用形	**用言・けり・たり**（完了）**・て・、**
終止形	**。・」**・引用の「と」
連体形	**体言**
已然形	**ど・ども**
命令形	**。・」**・引用の「と」

（例）

読まず。

読みけり。

読むと言ふ。

読みけれども…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の活用形をそれぞれ答えよ。

① 聞きしかど…

② まうけられたりけり。

③ 黄金ある竹を…

④ 竹取の翁と[a]いふ者[b]ありけり。

a＝

b＝

⑤ 「旅の心をよめ」と言ひければ…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★係り結びの法則

〈係助詞〉

ぞ
なむ
や
か
　｝〜「　　形」。

こそ　〜「　　形」。

（例）

名をば、さかきの造となむいひける。

あざ笑ひてこそ立てりけれ。

※まとめ

活用形を考えるときは「　　　」を見る。ただし、「。」や「**カッコとじ**」の場合は、ざっと「　　　」を確認して「　・　・　・　」があるかどうかを確認する。

あれば、**係り結びの法則**に気を付ける！　なければ、「終止形」か「命令形」。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部の活用形をそれぞれ答えよ。

①　いとどこそむつからめ。

②　塩尻のやうになむありける。

③　足ずりをして泣けども、かひなし。

④　恋ひつつぞ経る。

⑤　夜更くるまで寝ず。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講

①　歴史的仮名遣いの「ｅ＋う」の発音として、正しいものを次の中から選べ。

ア　「オー」　イ　「ユー」　ウ　「ヨー」　エ　「エー」

②　次の中から用言ではないものを選べ。

ア　動詞　イ　助動詞　ウ　形容詞　エ　形容動詞

③　体言の上は何形か。正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

④　「かはれども」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「心得て、…」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

⑥「花をのみこそ尋ねつれ。」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　動詞(1)

動詞

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
読む						
見る						
咲く						
着る						

★活用の種類

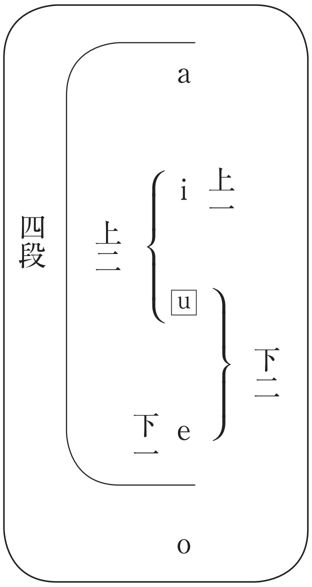
四段活用・上一段活用・上二段活用・下一段活用・下二段活用

カ行変格活用・サ行変格活用・ナ行変格活用・ラ行変格活用

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用の仕方　その①

活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
四段活用	a	i	u	u	e	e
上一段活用	i	i	iる	iる	iれ	iよ
下一段活用	け	け	ける	ける	けれ	けよ
上二段活用	i	i	u	uる	uれ	iよ
下二段活用	e	e	u	uる	uれ	eよ



上一→下一＝i→け
上二→下二＝i→e

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用の仕方　その②

活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
カ行変格活用	**こ**	**き**	**く**	**くる**	**くれ**	**こ(よ)**
サ行変格活用	**せ**	**し**	**す**	**する**	**すれ**	**せよ**
ナ行変格活用	**な**	**に**	**ぬ**	**ぬる**	**ぬれ**	**ね**
ラ行変格活用	**ら**	**り**	**り**	**る**	**れ**	**れ**

★活用の種類の見分け方　その①「覚えておくべきもの」

〔ハ行〕　〔　行〕　〔カ行〕　〔ナ行〕　〔マ行〕　〔　行〕

上一段活用＝「**干**(ひ)**る**」｛「**射る**」「**鋳**(い)**る**」｝「**着**(き)**る**」｛「**似**(に)**る**」「**煮**(に)**る**」｝「**見**(み)**る**」｛「**居る**」「**率る**」｝

※**上一**番の子ばかり「　　　＋　　　」

（「率**ゐる**」「顧**みる**」などもある。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

下一段活用＝「**蹴る**」

カ行変格活用＝「**来**(く)」・「**～来**」（→「まうで来」など。）

サ行変格活用＝「**す**」「**おはす**」「**ものす**」

※それ以外のサ変

●「**～す**」の「す」が「**する**」と訳せるもの

（例）「旅す」など

●「**漢字一字の音読み＋す**」

（例）「奏(そう)す」「具(ぐ)す」など

●「**～んず**」の形＝サ変が多い

（例）「信ず」「案ず」「論ず」など

ナ行変格活用＝「**死ぬ**」「**往**(い)**ぬ**」「**去**(い)**ぬ**」

ラ行変格活用＝「**あり**」「**居**(を)**り**」「**侍**(はべ)**り**」「**いまそかり**」

（「いまそがり・いますかり・いますがり」などもラ変。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「居る」の活用の種類を答えよ。

問二　次の動詞ａ・ｂの活用の種類と活用形として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

すでに死なんとす。（a：死な）

「射る事なかれ」（b：射る）

〔活用の種類〕

①　ナ行四段　②　ナ行上二段　③　ナ行変格

④　ラ行四段　⑤　ヤ行上一段　⑥　ワ行上一段

〔活用形〕

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

a＝　・

b＝　・

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部と活用の種類が同じ動詞を、後の中から一つ選べ。

いかにあらまほしく思し召し候ふこと侍るとも、…

ア　漏れ聞き候ふべく候ふ。

イ　嫌(もど)き誹(そし)りぬべからむこと、…

ウ　心のうちも推し測らるるものにて候ふ。

エ　また、知る人、すずろに…

オ　花のやうに春ある人は、一盛り映えあるやうに…

問四　「そこになむ市の立ちけるに［　　］。」の空欄に入る言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　侍り　　イ　あり　　ウ　侍る　　エ　侍れ　　オ　あれ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用の種類の見分け方　その②「覚えておくべきもの以外」

「**ず**（＝ない）」をつけて、**上の音で判断**する。

a＋ず→「　**段**」活用　（例）「咲く」→「咲**か**ず（咲**か**ない）」

i＋ず→「　**段**」活用　（例）「起く」→「起**き**ず（起**き**ない）」

e＋ず→「　**段**」活用　（例）「答ふ」→「答**へ**ず（答**へ**ない）」

★何行？

・**一段**活用は基本形の「**る**」の「**上**」の文字の行

（例）「**見**る」＝　行上一段活用
「**蹴**る」＝　行下一段活用

・一段活用以外は基本形の「**最後**」の文字の行

（例）「咲**く**」＝　行四段活用

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部ａ・ｂの、１　活用の行　２　活用の種類は何か。後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

いと多く[a]死にけるは。
君となりて[b]過ぎむ…

１　ア　ガ行　　イ　サ行　　ウ　タ行　　エ　ダ行　　オ　ナ行　　カ　ラ行

２　ア　四段活用　　イ　上一段活用　　ウ　上二段活用
　　エ　下一段活用　　オ　下二段活用　　カ　変格活用

ａ　１＝　　　２＝

ｂ　１＝　　　２＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部ａ・ｂの、１　活用の行　２　活用の種類　３　活用形は何か。後の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

人も見ず。（ａ＝見）
うち笑みて、…（ｂ＝笑み）

１　ア　ア行　イ　ハ行　ウ　マ行　エ　ヤ行　オ　ラ行　カ　ワ行

２　ア　四段活用　イ　上一段活用　ウ　上二段活用
　　エ　下一段活用　オ　下二段活用　カ　変格活用

３　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

ａ　１＝　２＝　３＝

ｂ　１＝　２＝　３＝

〔例題一〕　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

目に見ゆる物も、…（傍線部＝見ゆる）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★よく似た動詞

見る＝　　行　　　　活用
見す＝　　行　　　　活用
見ゆ＝　　行　　　　活用

〔例題二〕　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　鎧着て、…

②　竹の中におはするにて、…

③　鳶（とび）ゐさせじとて…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　京童部（きやうわらんべ）どもといさかひをしけり。

②　聞き[a]はべる[b]に、…

a＝

b＝

③　やすらかなるこそ、心にくしと見ゆれ[b]。

④　露の落つるに、…

⑤　人を遣りて見するに、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　かくまうで来[き]たるなり。

⑦　率[a]て　出[b]でて　いぬ[c]。

a＝

b＝

c＝

⑧　それを　見[a]れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうて　居[b]たり。

a＝

b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講

① 次のA～Iの傍線部の動詞の、１　活用の行・２　活用の種類・３　活用形は何か。該当するものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。（重複使用可）

「かすみて　[A]いにし」と　[B]言ひけるにこそ音も　[C]せずなりにけれ。
女の鬼に　[D]なりたるを　[E]率て　[F]上りたりと…
[G]行きて　[H]迎へ　[I]持て来（き）にける。

１　ア　カ行　イ　サ行　ウ　ナ行　エ　ハ行　オ　ラ行　カ　ワ行
２　ア　四段活用　イ　上一段活用　ウ　上二段活用　エ　下一段活用　オ　下二段活用　カ　変格活用
３　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

A　1＝　2＝　3＝
B　1＝　2＝　3＝
C　1＝　2＝　3＝
D　1＝　2＝　3＝
E　1＝　2＝　3＝
F　1＝　2＝　3＝
G　1＝　2＝　3＝
H　1＝　2＝　3＝
I　1＝　2＝　3＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 「ゐたりけり」の「ゐ」と活用の種類の同じ動詞を、次の中から一つ選べ。

ア　見ければ　　イ　飛び来て　　ウ　寝たる　　エ　しける

③ 「知綱のぬしの御母にていますがりしは、…」の「いますがり」と同じ活用をするものを、次の中から一つ選べ。

この帝、坎日（かんにち）〔＝万事に凶である日〕に（ア）生まれさせたまひたると…
また誠にや（イ）ありけむ、…
坎日に（ウ）まゐり始められたりけるとかや。
こちたくも（エ）造らせたまはず。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　動詞⑵／形容詞

★「基本形」と「語幹」

①基本形	②語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
咲く	咲	か	き	く	く	け	け	カ行四段活用
見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用

①「基本形」＝「ない」をつけて、**「ない」の上の音をU段**にする。（「上一段」と「ラ変」以外。）

（例）現代語では「受ける」。古語で「基本形」は？

②「語幹」＝「基本形」－「終止形」の文字

（例）「咲く」－「く」＝「咲」が語幹

「見る」－「みる」＝語幹なし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★終止形が一文字の動詞

来＝　　行　　活用

す＝　　行　　活用

得＝　　行　　活用

寝＝　　行　　活用

経＝　　行　　活用

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の漢字の振りがなの中に、不適切なものが一つあります。その記号を示して、正しい振りがなを書きなさい。

年ごろ ア経（へ）るほどに、…
君があたり見つつを イ居（を）らむ生駒山…
かの山の中に ウ居（ゐ）て、言ひいでて…

問二　次の傍線部の動詞の活用の種類として、最も適当なものを後の中から一つずつ選べ。

百年、千年を a経て見れども、…
いみじくあはれなるは bあれ。
末の世にとどまるばかりのふしを書き cとどむべき、とはおぼゆる。
いまだ宮仕へも dせで里にはべりける折、…
「〜」などこそ e見えてはべれ。

ア　ア行四段活用　　イ　マ行四段活用　　ウ　ラ行四段活用　　エ　カ行上一段活用
オ　タ行上二段活用　　カ　マ行下二段活用　　キ　ハ行下二段活用　　ク　ヤ行下二段活用
ケ　サ行変格活用　　コ　ラ行変格活用

a＝　　b＝　　c＝　　d＝　　e＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「活用の行」を覚えておくべき動詞九個

●射る・鋳る＝　　行上一段活用

●**得**（う）・心**得**（こころう）・所**得**（ところう）＝　　行下二段活用

●植う（う）・飢う（う）・据う（す）＝　　行下二段活用

●老ゆ（お）・悔ゆ（く）・報ゆ（むく）＝**ヤ行**上二段活用

植うず

老いず

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部ａ・ｂ・ｃ・ｄ・ｅの動詞の活用の種類として最も適切なものを、後の中から一つずつ選べ。

事あらむ人は、植[a]うべからぬ草なり。
一人ゐ[b]て、物を食ひ…
あちこちねぢむきて、人に見え[c]けり。
よき味方を得[d]たり。
「射[e]る事なかれ」

ア　ア行四段活用　　イ　ア行上二段活用　　ウ　ア行下二段活用　　エ　ハ行四段活用
オ　マ行上一段活用　　カ　マ行下二段活用　　キ　ヤ行上一段活用　　ク　ヤ行下二段活用
ケ　ワ行上一段活用　　コ　ワ行下二段活用

ａ＝　　ｂ＝　　ｃ＝　　ｄ＝　　ｅ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「この事を悔いて、死にたる…」の傍線部の活用の種類を答えよ。

問五　空欄［a］〜［c］は現代語では、aは「据える」、bは「出る」、cは「老いる」に相当する。それぞれ最も適当なひらがな一字で答えよ。（歴史的仮名遣いに注意すること。）

われをおとなにし す［a］て、
立ち出［b］るほどのここち、
日ぐらし、父の老［c］おとろへて、

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用の種類が「四段」と「下二段」の二種類ある動詞→「訳し方の違い」がある。

{ 四段＝そのまま訳す
{ 下二段＝四段の意味＋「　　　」

（例）

「入る」
　四段＝中にはいる
　下二段＝（中にはいらせる→）中に入れる

「立つ」
　四段＝
　下二段＝

「慰む」
　四段＝心が晴れる
　下二段＝（心を晴れさせる→）慰める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※特に大事な「二種類ある動詞」

「被く（かづ）」
四段＝かぶる・褒美をいただく
下二段＝かぶせる・褒美を与える

「頼む」
四段＝頼みにする・あてにする
下二段＝頼みに思わせる・あてにさせる

問六　「女房の装束一襲（かさね）かづけ給ひけり。」の傍線部の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　お与えになった　　イ　奪いなさった　　ウ　お作りになった
エ　奉納なさった　　オ　保管なさった

問七　「頼めて」の意味として最も適当と思われるものを、次の中から選べ。

ア　頼りにして　　イ　期待させておいて　　ウ　なんとかして　　エ　ひたすらお願いして

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

形容詞

性質や**状態**を表し、終止形が「～　　」となる。

★活用の種類

「ク活用・シク活用」

※見分け方＝「**なる**」をつける。「～**く**なる」＝**ク**活用、「～**しく**なる」＝**シク**活用。

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
活用	白し	白	から	かり	○	かる	○	かれ
活用	をかし	をか	しく しから	しく しかり	し ○	しき しかる	しけれ ○	○ しかれ

※「　　」には、基本**下に助動詞**がつく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　ましてやすからず。

②　はかばかしき後見しなければ、…

a＝

b＝

③　散ればこそいとど桜はめでたけれ。

④　この妻の心憂きこと多くて、…

⑤　いかばかりあやしかりけむを、…

⑥　いみじく心もとなきままに、…

a＝

b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の空欄A、Bそれぞれに、形容詞「いみじ」を最も適当な形にして入れよ。

「[A]牛の力かな」

「[B]求めさせ給へば、…」

A＝

B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

① 「神主も心得て、大土器をぞまゐらせしに、…」の動詞「心得」の、１ 活用の行・２ 活用の種類・３ 活用形は何か。該当するものを、次の中からそれぞれ選べ。

１ ア ア行　イ カ行　ウ ハ行　エ ヤ行　オ ラ行　カ ワ行
２ ア 四段活用　イ 上一段活用　ウ 上二段活用　エ 下一段活用　オ 下二段活用　カ 変格活用
３ ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形　オ 已然形　カ 命令形

１＝　　２＝　　３＝

② 「早苗を植□、水をせき入れ…」の空所に当てはまる動詞の活用語尾として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

ア え　イ ゐ　ウ へ　エ う　オ ふ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の空欄Ｘには「悲し」、空欄Ｙには「はかなし」が入る。それぞれ適切な形を後の中から一つずつ選べ。

起き別れなむことぞ［Ｘ］。

ア　かなし　イ　かなしき　ウ　かなしかる　エ　かなしかり　オ　かなしけれ

末までと契りおくこそ［Ｙ］。

ア　はかなし　イ　はかなき　ウ　はかなかる　エ　はかなかり　オ　はかなけれ

④　次の傍線部について、活用の種類・活用形として適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「せむ方<u>なかり</u>ければ、…」

〈活用の種類〉

a　四段活用　b　下一段活用　c　下二段活用　d　ラ行変格活用　e　ナ行変格活用

f　ク活用　g　シク活用

〈活用形〉

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　語幹用法／形容動詞／音便／助動詞（活用）

★形容詞の語幹用法→「訳し方」を覚える

●和歌中

A（を）Bみ　＝「AがBなので」

（例）瀬をはやみ＝川瀬の流れが速いので

●あな（「あら」もしくは「単独」）、語幹。＝「ああ、〜。」

（例）あな、かま。＝（ああ、やかましい。→）しぃっ、静かに。

※形容詞「かまし」（ク活用）はシク活用説もありますが、本講座では「あなかま」の「かま」はク活用の語幹説で説明しております。
二つある説ですから、ここでは「かまし」の活用の種類よりは、重要な「あなかま」の訳し方をおさえましょう。
そのときに、「かま」＝「かまし」がわかると、訳が思い出せるはずなので便利です。

●語幹＋の＋体言（や）。＝「〜の体言だなぁ。」

（例）をかしの御髪（みぐし）や。＝美しい御髪だなぁ。

問一　「空寒み花にまがへて散る雪に…」の傍線部を現代語訳せよ。

問二　「あな幼や。」を現代語訳せよ。

形容動詞

性質や**状態**を表し、終止形が「～　　」「～　　」となる。

★活用の種類

「ナリ活用・タリ活用」

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり		なら	なり ┊	なり	なる	なれ	なれ
タリ活用	堂々たり			┊				

※連用形「　　・　　」には、基本**下に助動詞**がつく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

① うつくしげなるかたちなり。

② 前栽どもいと心苦しげなり。

③ いみじく泣くを見給ふも、すずろに悲し。

④ 漫々たる海上を遠見して…

⑤ 日もいと長きに、つれづれなれば、夕暮の…

⑥ 契り深くあはれならめ。

⑦ 佳景（かけい）〔＝素晴らしい景色〕寂寞（じゃくまく）と〔＝静まり返っている様子〕して…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※「音便」

発音しやすいように、別の音に変化する現象のこと。

（例）書**き**て→書**い**て　＝「**イ**音便」という。

【動詞】

●イ音便「き・ぎ・し」→「い」

●ウ音便「ひ・び・み」→「う」（例）買**ひ**て→買**う**て

●**促音便**「ひ・ち・り」→「**っ**」（例）買**ひ**て→買**っ**て

●**撥音便**「に・み・び」→「**ん**」（例）飛**び**て→飛**ん**で

ラ行変格活用連体形活用語尾「**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）→「**ん**」

※この「ん」は省略されやすい。

（例）あ**る**なり→あ**ん**なり→あなり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【形容詞】

●イ音便　「き」→「い」　（例）　白**き**花→白**い**花

●ウ音便　「く」→「う」　（例）　苦し**く**て→苦し**う**て

●撥音便　「か＋ラ変」の連体形活用語尾「か**る**・しか**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）
→「か**ん**・しか**ん**」
※この「ん」は省略されやすい。

（例）　白か**る**なり→白か**ん**なり→白かなり

【形容動詞】

●撥音便　連体形活用語尾「な**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）→「な**ん**」
※この「ん」は省略されやすい。

（例）　静かな**る**めり→静かな**ん**めり→静かなめり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

助動詞

★助動詞とは？

用言や体言などに付いて、意味を加える語

（現代語）　（古文）

読まない。　➡　読ま**ず**。〔打消〕

読んだ。　➡　読み**けり**。〔過去〕

今、読んでいるだろう。　➡　読む**らむ**。〔現在推量〕

猫である。　➡　猫**なり**。〔断定〕

※助動詞を勉強する際の３つのポイント＝**「活用」「接続」「意味」**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★【活用】

下二段型	**る・らる・す・さす・しむ・つ**
ラ変型	けり・たり・なり・めり・り　※断定の「なり」・「たり」は**形容動詞型**
無変化型	じ・らし
形容詞型	まほし・たし・べし・まじ・ごとし　（※「じ・らし・まし」以外の「～し・～じ」）
（四段型）	**む・らむ・けむ**
サ変型	むず
ナ変型	**ぬ**
特殊型	**ず・き・まし**

（例）

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
る						
けり	けら	○	けり	ける	けれ	○
じ	○	○	じ	じ	じ	○

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★特殊型の助動詞の活用表

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
まほし	まほしく／まほしから	まほしく／まほしかり	まほし／○	まほしき／まほしかる	まほしけれ／○	○／○
む	○	○	む	む	め	○
むず	○	○	むず	むずる	むずれ	○

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ず	／ざら	／ざり	／○	／ざる	／ざれ	／ざれ
き						
まし						

↓下に「　　　」がつく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

（例）　名をば、さかきの造となむいひ（けり）。

①　こたへやはせ（ず）。

②　寝入りたまひ（ぬ）けり。

③　子になりたまふ（べし）人なめり。

④　先々も申さむと思ひ（き）ども、…

⑤　月も入ら（じ）を。

⑥　われこそすすみ仕（つか）うまつら（まし）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講

①「根を深み」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　根が深くなければ
イ　根を深く掘り
ウ　根を深くすれば
エ　根が深いだろう
オ　根が深いので

②次の傍線部について、活用の種類・活用形として適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「ある小家のあやしげなるに立ち寄りて、…」

〈活用の種類〉
a　四段活用　b　ナリ活用　c　タリ活用　d　ク活用　e　シク活用

〈活用形〉
ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「窓をへだててかくぞいひ［　　］。」の空所にあてはまる助動詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　き　　イ　しか　　ウ　たり　　エ　ける　　オ　けれ

④「子持ちてこそ、親の心ざしは思ひ知る［A］。」の空欄Aに入る語として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　なり　　イ　らむ　　ウ　なれ　　エ　べし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　助動詞（接続）／「ず」

★**【接続】**（＝何形にくっつくか。＝上が何形か。）

（例）次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

（答ふ）べし。

（例）次の傍線部の活用形は何形？

<u>読</u>むべし。

（例）次の現代語訳は？

くるべきものなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

接続	助動詞
未然形	る・らる・す・さす・しむ・む・ず・むず・じ・まし・まほし
連用形	けり・き・つ・たり（完了）・ぬ・けむ・たし
終止形 ※ラ変型＝連体形	めり・らむ・らし・まじ・なり（伝聞推定）・べし
サ変**未**然形 **四段已**然形	り
体言・連体形	なり（断定）
体言	たり（断定）
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題〕

① 次の「なり」の意味をそれぞれ答えよ。

男もすなる[a]日記といふものを、女もしてみむとて、するなり[b]。

a＝

b＝

② 次の傍線部の意味と活用形を答えよ。

御妻（みめ）たりき。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

①　御契りや（深し）けむ、…

②　人知れず、うち泣か（る）ぬ。

③　映ら（ず）まし。

④　世を思し召されける（なり）べし。

⑤　いと口惜しと（思ふ）り。

⑥　さるべきにこそ（あり）め。

⑦　これより（過ぐ）させおはしますめり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部ａ・ｂの「来」の読みとして、正しいものを後の中から選べ。

「ここに参り来べかりければこそと、…」

「参り来むことのわりなかるべきこと」

ア　こ　　イ　き　　ウ　く　　エ　くる　　オ　くれ

ａ＝　　ｂ＝

問三　「深く心得べきなり」の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ア行下二段活用動詞の連体形　　イ　ア行下二段活用動詞の終止形

ウ　ハ行下二段活用動詞の連体形　　エ　ハ行下二段活用動詞の終止形

オ　ワ行下二段活用動詞の連体形　　カ　ワ行下二段活用動詞の終止形

問四　「夫人の見けむ目のやうにはあらずとも…」の傍線部の活用の行、活用の種類、活用形をそれぞれ書け。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「山籠もりにて［　　］むを聞かむのみぞうれしかるべき。」の空欄に入る「おはす」の正しい活用形を、次の中から選べ。

ア　おはさ　　イ　おはし　　ウ　おはす　　エ　おはすれ　　オ　おはせ

問六　「大輔［　　］ましかば、恥がましかりける事かなとぞ、仰せられける。」の空欄には、「なし」の活用語が入る。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なし　　イ　なから　　ウ　なかり　　エ　なかる　　オ　なかれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ず

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	ず							特殊型
								＋　型

【意味】

①　打消（〜ない）

問七　「なかなか止まるべきにあらざれば、…」の傍線部の終止形を答えなさい。

問八　「忘れ［Ａ］けり」の空欄Ａにあてはまる「ず」の助動詞を、適切な活用形にして書きなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の空欄［A］・［B］には助動詞「ず」が入る。それぞれにふさわしい形を後の中から選べ。

「秀郷も後ろをかへりみ［A］、はるかに行き隔たりぬ。」
「夢も結ば［B］仮寝の枕、…」

ア　ず　　イ　ざり　　ウ　ぬ　　エ　ざれ　　オ　ね

A＝　　　B＝

問十　「心も又ひとしきものにあら［A］。」の空欄Aにあてはまる打ち消しの助動詞「ず」の活用形として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ず　　イ　じ　　ウ　ざり　　エ　ざらむ　　オ　ざる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

① 「さらに<u>来</u>じ」の傍線部の読みとして、正しいものを次の中から選べ。

ア　こ　　イ　き　　ウ　く　　エ　くる　　オ　くれ

② 「たち代はりて<u>参り来</u>べきを、…」の傍線部の、Ａ 活用の行、Ｂ 活用の種類、Ｃ 活用形 は何か。最も適当なものを次の中からそれぞれ選べ。

Ａ　ア　ア行　　イ　カ行　　ウ　マ行　　エ　ヤ行　　オ　ラ行

Ｂ　ア　四段活用　　イ　上一段活用　　ウ　上二段活用　　エ　下二段活用　　オ　変格活用

Ｃ　ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

Ａ＝　　　　Ｂ＝　　　　Ｃ＝

③ 「長々しき状までもいるべから［ａ］、これを持ちて近衛殿へ捧げよ」の空欄ａには助動詞「ず」が入る。正しく活用させた語を次の中から選べ。

ア　ざら　　イ　ず　　ウ　ざり　　エ　ぬ　　オ　ね

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」

き・けり

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	き							特殊型
形	けり		○				○	型

※「き」の接続＝　形。ただし、「き」の連体形「　」と已然形「　」は、**カ変・サ変の未然形**にも接続する。

	未然形	連用形
カ変動詞	**こ** → し / しか	き → し / しか
サ変動詞	**せ** → し / しか	（し―き）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】

● 「き」　①「　　」**過去**（～た）→「　　」の経験

● 「けり」　①「　　」**過去**（～た・～たそうだ）→「　　」の経験
②**詠嘆**（～よ・～なあ）

★「き」と「けり」の使い分け例

後徳大寺(ごとくだいじ)の大臣(おとど)の、寝殿に鳶(とび)ゐさせじとて縄を張られたり**ける**を、西行が見て、「～」とて、その後(のち)は参らざり**ける**と聞きはべるに、綾小路(あやのこうぢ)の宮のおはします小坂殿(こさかどの)の棟に、いつぞや縄を引かれたり**しかば**、かの例(ためし)思ひ出(い)でられはべり**し**に、まことや、「～」と人の語り**し**こそ、「～」とおぼえ**しか**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★詠嘆の「けり」

1　「　中」の「けり」

（例）見わたせば花も紅葉もなかり**けり**浦の苫屋（とまや）の秋の夕暮

2　「　**けり**」の「**けり**」

（例）（騙されていたことに気づき）「朕（われ）をば謀（はか）るなり**けり**。」

3　「べかり**けり**」の「**けり**」

（例）（星も出ていない暗い夜に）「（月の明るい夜はかえって良くなく）まばゆかりぬべかり**けり**。」

4　**会話文**中の「けり」（↓文脈判断。**まず詠嘆**で訳す。おかしければ過去。）

（例）（叔母の家に行ったところ、叔母からの言葉）「いとうつくしう、生ひなりに**けり**。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「合はせ［ a ］ども、…」の［ a ］に助動詞「き」を正しく活用させて入れよ。

問二　「いみじうおそろしうこそ侍り［　　］。」の空欄に、助動詞「き」を適切な活用形にして入れよ。

問三　「みづから浮世坊とぞ付きに［ A ］。」の空欄Aに該当する過去の助動詞の活用形をひらがな二文字で記しなさい。

問四　次の傍線部の中から「過去」の意味のものを一つ選べ。

ア　畢(は)てにければ
イ　聞こしめしてければ
ウ　来ざらむ所にて
エ　孫を見むと
オ　まかり返りね

問五　（薄情な人にむかって）「いみじうつらき御心なりけり」の傍線部「けり」の助動詞の意味は何か答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の文中での意味および活用形として最も適当なものを、後の中から選べ。

事の子細を尋ねければ、「さることはべりき。…」

ア　過去・未然形　　イ　過去・已然形　　ウ　詠嘆・未然形　　エ　詠嘆・已然形

問七　次の傍線部の文法的な説明として、最も適当なものを後の中から選べ。

秋やくるつゆやまがふと思ふまであるは涙のふるにぞありける

ア　過去の助動詞の連用形　　イ　詠嘆の助動詞の終止形
ウ　詠嘆の助動詞の連体形　　エ　過去の助動詞の已然形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

つ・ぬ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	つ							型
形	ぬ							型

【意味】

① **完了**（〜た）

② **強意**（きっと〜・必ず〜）（＝確述用法）

③ 並立（〜たり〜たり）
　※終止形を重ねて用いる

（例）白波の上に漂ひ、浮き**ぬ**沈み**ぬ**ゆられければ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）「風吹きぬべし。」の現代語訳として正しいものを次の中から選べ。

ア　風が吹いただろう。

イ　風がきっと吹くだろう。

ウ　風がきっと吹いただろう。

★〈「完了」と「強意」の見分け方〉＝「　　　　　　」を見る

強意になるとき

つ
ぬ

＋「　　　　」（系）

※次ページ参照

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

む む （てん） （なん） まし まし けむ けむ べし べし らむ らむ

（例）次の傍線部の助動詞の意味は？

日暮れになり<u>ぬ</u>。

月も隠れ<u>な</u>む。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題〕「風吹きぬべし。」の現代語訳として正しいものを次の中から選べ。

ア　風が吹いただろう。
イ　風がきっと吹くだろう。
ウ　風がきっと吹いただろう。

問八　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この使ひを失ひつらむ心憂さよ。
②　いふかひなくて、ともに帰りぬ。
③　こはいかなる物を食はせつるぞ。
④　今は世の花も、盛り過ぎぬらむ。
⑤　涙も落ちぬべければ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「置きて逃げて来ぬ。」の傍線部の読みを答えよ。

問十　次の傍線部のうち、助動詞「ぬ」はどれか。適切なものを選べ。

ア　いたう罪な作り給ひそ。

イ　まめまめしきものは、まさなかりなむ。

ウ　春を忘るな。

問十一　次の傍線部ａ・ｂの意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

とてもかくても過ぎ[a]なん。

恩所あれども生を変へ[b]ぬれば、…

ア　過去　　イ　完了　　ウ　強意　　エ　存続　　オ　打消推量

ａ＝　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　次の傍線部ａ・ｂの意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

横笛も様をかへたるよし聞こえ[a]しかば、滝口入道一首の歌を送りけり。

遂にはかなくなり[b]にけり。

ア　過去　　イ　完了　　ウ　強意　　エ　存続　　オ　過去推量

ａ＝　　　ｂ＝

問十三　次の傍線部ａ・ｂの説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

山野に迷はせたまはむことこそ悲し[a]けれ。

入道死に[b]なば、各々…

ア　過去　　イ　詠嘆　　ウ　完了　　エ　強意　　オ　存続

カ　動詞の活用語尾　　キ　形容詞の活用語尾　　ク　形容動詞の活用語尾

ａ＝　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

たり・り

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	たり							型
	り							型

【意味】

① **完了**（〜た）

② **存続**（〜ている・〜てある）

★〈「完了」と「存続」の見分け方〉

まず「　　　」で訳す。→おかしければ「　　　」。

（例）

あやしがりて寄りて見るに、筒の中光り**たり**。

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐ**たり**。

～～（かぐや姫が成長し、月に帰らなければいけないことを翁に打ち明ける。）

（翁）「（私があなたを）竹の中より見つけきこえ**たり**しかど、…」

『竹取物語』より

問十四　次の傍線部ａ・ｂの助動詞の意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

さすがに仏法を学びし（a）故に、論議問答するなり。

口惜しき道に入れり（b）。

ア　過去　イ　尊敬　ウ　自発　エ　完了　オ　強意

ａ＝　　ｂ＝

問十五　「いかなるすき者の居たるならん」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　イ　尊敬　ウ　自発
エ　断定　オ　使役　カ　完了（存続）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講

①「仰せ合せしかば、人の亡び失せし事、…」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　　イ　完了　　ウ　自発　　エ　使役　　オ　過去

②「鰐（わに）に食ひ切られたるなりけりと見る程に、…」の傍線部「けり」と同じ意味・用法の「けり」が使われている文を、次の中から選べ。

ア　身をえうなき物に思ひなして、京にはあらじ、東の方に住むべき国もとめにとて行きけり
イ　八重葎（むぐら）しげれる宿のさびしきに人こそ見えね秋は来にけり
ウ　野山にまじりて竹を取りつつよろづの事に使ひけり
エ　いとやむごとなききはにはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり

③「うせさせ給ひぬるやうなる。」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　　イ　断定　　ウ　完了　　エ　存続　　オ　強意

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「あまた年経ぬれば、…」の傍線部の活用の種類と活用形として正しいものを、次の中から選べ。

ア　四段活用・未然形
イ　四段活用・連用形
ウ　下二段活用・未然形
エ　下二段活用・連用形
オ　ラ行変格活用・未然形

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　「ぬ」・「ね」の識別

★「識別」とは？

認**識**して区**別**する。見分けること。

（例）

勉強す**なり**。

勉強する**なり**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ぬ」・「ね」の識別

【識別対象】

１　「　　」の助動詞「ず」
２　「　　」「　　」の助動詞「ぬ」
３　ナ変動詞「　　・　　」「　　」の活用語尾
４　ナ行下二段動詞「寝（ぬ）」の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	ず							特殊型
		ざら	ざり	○	ざる	ざれ	ざれ	ざ＋ラ変型
形	ぬ							型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３

ナ変動詞の活用語尾

ね　**ぬ**

（例）　雪のうへまで往**ぬ**べくは…

４

ナ行下二段動詞「**寝**（ぬ）」の一部➡「　　　　」と訳せる

（例）　一人**ぬ**る夜、…

〔例題〕　次の現代語訳は？

風吹きぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その①

「　　」（＝接続）確認

1　**未然形**＋ **ね　ぬ** ＝「　　　」

（例）深くはあら**ね**ど、…

2　**連用形**＋ **ね　ぬ** ＝「　　　」

（例）日暮れになり**ぬ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　時知らぬ山は…

②　駿河の国に至りぬ。

③　めづらしからぬ事のままに…

④　ことに思はねど、行けば…

⑤　とみなることにて、とどめはべりぬ。

⑥　もとの御かたちとなり給ひね。

⑦　我が心とせぬことにてはあれど、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「老い心地に惑ひたまひぬ。」の傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　完了　　イ　打消　　ウ　断定　　エ　存在　　オ　過去

問三　次の傍線部の説明として最も適当と思われるものを、後の中から選べ。

「今は帰りね」といひければ、帰りにけり。

ア　助動詞「ず」の已然形　　イ　助動詞「ず」の命令形
ウ　終助詞　　エ　助動詞「ぬ」の已然形
オ　助動詞「ぬ」の命令形

問四　「あしかりぬべし」の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は完了の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
イ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
ウ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は伝聞推定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
エ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は断定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
オ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その②

「　　」（＝活用形）確認

●『ぬ』

1　～ぬ＋連体形接続の語

→　**連体**形＝「　　　」

「　　　」→ぬ＋体言

（例）まだ見**ぬ**物語の一を見て、…

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

〜ぬ＋{「　」終止形接続の語}。

終止形＝「　　　」

※ただし、文末の「ぬ」の時、**係助詞**と**疑問副詞**に注意！

文中に **係助詞「ぞ・なむ・や・か」** **疑問副詞（「いか系」「な系」）** がある→文末の「ぬ」は「　　　」形→「　　　」

（例）

同じ所にゐ**ぬ**めり。

腰なむ動かれ**ぬ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

● 『ね』

1　～ね＋已然形接続の語

→ **已然形**＝「　　　」

ねば
ねど（も）
こそ～**ね**
｝**打消**「ず」の已然形

（例）　多く聞こえ**ね**ば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２

～ね＋{「　　」。 / 命令形接続の語}

命令形 ⟶ 「　　　」

※ただし、文末の「ね」の時、**係助詞「こそ」**に注意！

（例）

絶えなば絶え**ね**。

さらにこそ信ぜられ**ね**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　午の時の下がりまで見えねば、…

②　「心も得ぬことかな」

③　日ごろは何ともおぼえぬ鎧が、…

④　秋来ぬ[a]と目にはさやかに見えね[b]ども…

a ＝

b ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★確認は「上」からでも「下」からでも、わかる方からでOK！

（例）左記に「**問一・問五**」からいくつか抜粋しましたので、確認してみましょう。

①　時知ら（四段・㊍）ぬ山は…

②　駿河の国に至り（四段・㊊）ぬ。

③　ことに思は（四段・㊍）ねど、行けば…

④　午の時の下がりまで見え（下二段）ねば、…

⑤　「心も得（下二段）ぬことかな」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部ア・イの「ね」について、例にならって文法的に説明せよ。

（例）　尊敬の助動詞「る」の連体形

「とくとく帰りね」

「君がすみかをそこと知らねば…」

ア＝

イ＝

問七　「都の内とも見えぬ所のさまなり」の傍線部の動詞の活用の種類・活用形を答えよ。

問八　次の傍線部「ぬ」はいずれも助動詞であるが、一つだけ種類の異なるものを選べ。

ア　秋になりぬ。

イ　打松おどろおどろしからぬほどに置きて、…

ウ　うちとけぬさまにものをつつましと思したる気色、…

エ　恋の煙こそ世には絶えせぬほのほなりけれ

オ　酔泣きのついでに、忍ばぬこともこそ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の傍線部の中で、意味の異なるものを一つ選べ。

ア　覚え侍らねども　　イ　侍らぬ程に　　ウ　思はざるに

エ　失せ給ひぬ　　オ　変はらずぞ

問十　次の傍線部「ね」の説明として最も適切なものを、後の中から一つ選べ。

「下りね」と、しひてのたまへば、…

ア　打消助動詞「ず」の已然形

イ　ナ変動詞「往ぬ」の連体形

ウ　念押しの終助詞「ね」

エ　完了助動詞「ぬ」の命令形

オ　希望を表す終助詞「ね」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十一　次の傍線部の説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

①　「取りて参らむ」とて立ちぬ。

②　いま一声呼ばれていらへむと、念じて（＝我慢して）ねたるほどに、…

③　衣着（きぬ）ぬ妻子なども、さながら内にありけり。

④　させる能もおはせねば、ものをも惜しみたまへ。

⑤　頼まぬものの恋ひつつぞ経る。

⑥　ののしるうちに、夜更けぬ。

⑦　あはれ今年の秋もいぬめり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧　強からぬは女の歌なればなるべし。

⑨　吹き入れたるこそ、荒かりつる風のしわざとはおぼえね。

⑩　足音もせぬに、田畑は…

ア　打消の助動詞「ず」

イ　完了の助動詞「ぬ」

ウ　ナ行変格活用動詞の活用語尾

エ　ナ行下二段活用動詞「寝」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講

①　次の傍線部の説明として、最も適切なものを後の中からそれぞれ選べ。

かなはでやみ<u>ぬ</u>[a]と口惜しきに…
夜更くるまで<u>ね</u>[b]ず、いといたううち嘆きて…
男、わづらひて、心地死<u>ぬ</u>[c]べくおぼえければ、…
あき間を射<u>ね</u>[d]ば手も負はず。

ア　打消の助動詞「ず」
イ　完了の助動詞「ぬ」
ウ　ナ行変格活用動詞の活用語尾
エ　ナ行下二段活用動詞「寝」

a＝　　　b＝　　　c＝　　　d＝

②　「疾くまかり返り<u>ね</u>」の傍線部の活用形を、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ 「文字のみな消えうせぬとき、…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞　　イ　完了の助動詞
ウ　打消の助動詞　　エ　動詞の活用語尾

④ 次のｉ・ⅱの傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、後のａの中からそれぞれ選べ。また、その活用形として正しいものを、後のｂの中からそれぞれ選べ。

ｉ「今年はいまだ郭公こそ聞かね。」
ⅱ「さらばまことも汚れぬべしとて、…」

ａ　ア　過去　　イ　打消　　ウ　存続　　エ　完了　　オ　強意
ｂ　ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

ｉ　ａ＝　　ｂ＝
ⅱ　ａ＝　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講 「る・らる」／「る」・「れ」の識別

る・らる

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の　形	る							型
それ以外の　形	らる							型

（例）読ま ― る／らる

受け ― る／らる

※「　・　・　」の未然形＝「　」段＋る

それ以外の未然形＝「　」段＋らる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の二つのグループ（Ⅰ群、Ⅱ群）のうち、Ⅰ群からは、二重傍線部が助動詞「る」では**ない**もの、Ⅱ群からは、波線部が助動詞「らる」では**ない**ものを、それぞれア～エから一つ選べ。

Ⅰ　ア　たまへる　　イ　騒がれむ　　ウ　けしきどらるる　　エ　急がるる

Ⅱ　ア　ながめのみせられて　　イ　仰せられき

　　ウ　心もとながられ　　エ　仰せらるれど

【意味】

①　**受身**（～れる・～られる）

②　**可能**（～できる）

③　**自発**（自然と～される）

④　**尊敬**（～なさる・お～になる）

（例）　住みなれし故里（ふるさと）限りなく思ひ出で**らる**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈意味の見分け方〉

①　受身＝「〜に」がある。もしくは補える。

（例）ある人に誘は**れ**たてまつりて、…

②　可能＝る・らる＋「　　　」

（例）湯水飲ま**れ**ず、同じ心に嘆かしがりけり。

中世以降

冬はいかなる所にも住まる。『徒然草』

③　自発＝

「　　」動詞（＝　　・　　など）
又は
「　　」動詞（＝　　・　　など）

＋る・らる

（例）常に心づかいせ**らるる**もをかしきに…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　尊敬＝**主語が貴人**〜＋る・らる

（例）帝、「読め」と仰せ**られ**たりけれ ば、…

★覚えておくべきこと

●〜（ら）れ給ふ（尊敬語）＝「　　　」

●仰せらる＝「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　涙のみすすみてよよと泣かる。

②　さこそあらめなど、仰せらるれど、…

③　なかなかにいも寝られず、「これは夢か」とのみ…

④　人に知られたる聖ありき。

問三　次の傍線部ａ・ｂの文法上の意味は何か。最も適当なものを後の中からそれぞれ選べ。

この者どもに養はれ(a)て行きけるほどに、…
故なく心細く思ひ続けられ(b)て、…

ア　受身　　イ　可能　　ウ　完了　　エ　尊敬　　オ　自発

a＝　　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部の助動詞の意味として最も適当なものを、後の中から選べ。

「いかなるすき者の居たるならん」とうち微笑まれ給ひて、…

ア　受身　　イ　尊敬　　ウ　自発　　エ　断定　　オ　使役　　カ　完了（存続）

問五　「児のここにてなにとありしはやなど思ひ出でられて、いみじうかなしかりければ、…」の傍線部の文法的意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　受身　　イ　尊敬　　ウ　可能　　エ　自発

問六　「人のありさま、伝へ承るこそ、心も言葉も及ばれね。」の傍線部の文法上の意味を、次の中から選べ。

ア　受身　　イ　尊敬　　ウ　自発　　エ　可能　　オ　完了

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「る」・「れ」の識別

【識別対象】

１「　　」「　　」「　　」の助動詞「る」
２「　　」「　　」の助動詞「り」
３　活用語の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	る							型
	り							型

（例）読める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●四段・ナ変・ラ変の(未)

●サ変(未)・四段(已)

★〈「る」・「れ」の見分け方〉＝「　」の「　」

1　「　」＋る・れ↓助動詞「る」

（※「る」・「れ」の上が動詞になっているか要注意！）

（例）

いづくよりや帰ら**れ**たりけん、…

あやしきさまな**る**衣を着て、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　「　　」＋る・れ↓助動詞「り」

（※「る」・「れ」の上が動詞になっているか要注意！）

（例）　外に渡せ**る**ふみ見れば、…

生まれてはべ**れ**ば、…

３　「　　」＋る・れ↓活用語の一部

（例）　ゆかしくおぼゆ**る**ままに、…

〔練習〕　次の傍線部の「る」はそれぞれ何？

飲まる

飲める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

受くる

書ける

書きける

書きたる

問七　「口惜しき道に入れり」の傍線部の助動詞の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　　イ　完了　　ウ　受身　　エ　自発　　オ　可能

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部ａ・ｂの助動詞について、その終止形をそれぞれ答えよ。

弟殿には人柄・世おぼえの劣り給へ[a]ればにや、…

「そこは申さ[b]れぬか」とのたまはせければ…

ａ＝　　　　ｂ＝

問九　次の傍線部ａ・ｂの文法的説明として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

昔より、とく詠め[a]るにかしこき事なし。

ただにすぐ[b]るやうやあると、…

ア　動詞の活用語尾の一部

イ　受身の助動詞

ウ　自発の助動詞

エ　可能の助動詞

オ　完了の助動詞

ａ＝　　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線部のうち、活用形の相違を除き、文法的性格が異なるものはどれか。最も適切なものを選べ。

「とよかげ」となのらせたまへり（ア）。
なに事もあまりすぐれさせたまへれ（イ）ば、…
わかれの歌よませ給へる（ウ）、…
たちいりてみ給ふれ（エ）ば、…

問十一　「思へれど」の傍線部「れ」と同じ意味を持つものを、次の中から一つ選べ。

ア　食はれじ　　イ　たまはる　　ウ　聞き入るる
エ　申したれ　　オ　たまへれ

問十二　「文字みな消えてかたばかり見ゆるを、…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　受身の助動詞　　イ　自発の助動詞　　ウ　可能の助動詞
エ　完了の助動詞　　オ　動詞の活用語尾の一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十三　次の傍線部の助動詞の意味は何か。後の中からそれぞれ選べ。

抱きたてまつりてゐたまへれ[a]ば、…

「まろも大将に抱かれ[b]む」

ア　受身　　イ　可能　　ウ　完了　　エ　自発　　オ　推量　　カ　尊敬

a＝　　　　b＝

問十四　「心の苦しみを知れれば、…」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　　イ　自発　　ウ　可能　　エ　存続　　オ　推量

問十五　「木の枯れて朽ち残れるが立てる下に、…」の傍線「る」の文法的意味・用法と同じものを、次の中から選べ。

ア　うらうらに照れる春日にひばりあがり心悲しもひとりし思へば

イ　うつくしきもの、瓜にかきたるちごの顔

ウ　いかめしき御堂ども建てて、多くの人なむ造り営み侍るめる

エ　家の造りやうは夏をむねとすべし、冬はいかなる所にも住まる

オ　明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしきあさぼらけかな

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十六　次の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを後の中からそれぞれ選べ。

心とりどりに言ひあへるも、いとをかしければ、…

残るところなくはるかに思ひやらるることは、…

ア　受身の助動詞　　イ　尊敬の助動詞　　ウ　自発の助動詞

エ　存続の助動詞　　オ　動詞の活用語尾

a＝　　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講

①「思ひ知らるる事も侍り」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　尊敬　　イ　完了　　ウ　自発
エ　使役　　オ　可能　　カ　過去

②「あれとれと宮の仰せられければ、…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞　　イ　受身の助動詞　　ウ　自発の助動詞
エ　尊敬の助動詞　　オ　可能の助動詞

③次の傍線部の文法的意味の組み合わせとして、最も適当なものを後の中から一つ選べ。

身には心も添はずながめ[a]られて、…
今さらに面影添へ[b]るは、げにあぢきなき身の思ひなり。

ア　a　尊敬　　b　完了
イ　a　尊敬　　b　自発
ウ　a　自発　　b　完了
エ　a　自発　　b　自発

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「しばしはここかしこもとむれども、…」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

ア　動詞の活用語尾の一部
イ　受身の助動詞
ウ　自発の助動詞
エ　尊敬の助動詞
オ　完了の助動詞

⑤「生けるがごとし」の「る」と文法上同じものはどれか。最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　めづらしき事をきこゆるものかな
イ　なほ奥つ方に生ひ出でたる人
ウ　うらうらに照れる春日にひばり上がり
エ　我が身ひとつに限るべき事かな

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　「す・さす・しむ」／「せ」の識別／「まし」

す・さす・しむ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の　形	す							型
それ以外の　形	さす							型
形	しむ							型

※「四段・ナ変・ラ変」の未然形＝「　」段＋す
　それ以外の未然形　＝「　」段＋さす

問一　「歌よみてやら［　　］たまふ。」の空欄には助動詞「す」を活用させた語形が入る。最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　す　　イ　する　　ウ　せよ　　エ　すれ　　オ　せ

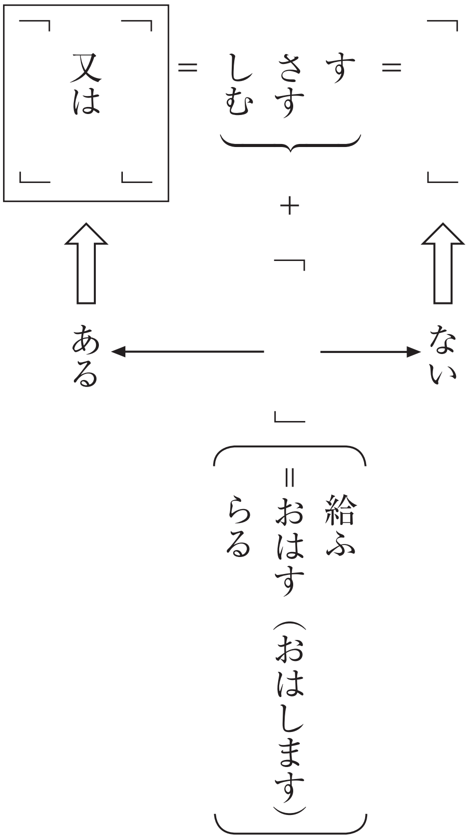
© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】

① **使役**（〜せる・〜させる）

② **尊敬**（〜なさる・お〜になる）

★**〈意味の見分け方〉**＝「　　」を見る。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

たよりごとに、ものも絶えず得**させ**たり。

（袖口から）さし出で**させ**給へる御手のはつかに見ゆるが、…

※真下に尊敬語がある場合→「　　」を確認

「人に」
「人をやりて」
「人を召して」
「人に命じて」
「人して（＝に命じて）」

がある→「　　」

「人に」が補える→「　　」

（例）随身に持た**せ**給ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 書きたるを御覧ありて、大いに笑は<u>せ</u>おはしまして、…

② それを、張ら<u>せ</u>てまゐらせむとするを、…

③ 御供なる右近大夫を召して、点しつけ<u>させ</u>たまふ。

④ 皇后宮聞か<u>せ</u>給ひて、いみじう喜ばせ給ふを、…

⑤ 心にくき限りの女房、四五人ばかり候は<u>せ</u>給ひて…

※候ふ＝お仕えする

★地の文（＝~~会話文~~）で**二重尊敬**の主語＝「　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「御随身に取らせて帰るを…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　イ　尊敬　ウ　自発　エ　断定　オ　使役　カ　完了（存続）

問四　「竟宴（きやうえん）といふこと、春日殿（かすがどの）にて行はせたまふ。」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

※春日殿…場所の名。

ア　可能　イ　受身　ウ　完了　エ　使役　オ　尊敬　カ　自発

問五　「言ひもよほして、せさするならむ」の傍線部の助動詞の意味、終止形、活用形をそれぞれ答えよ。

問六　「これはいかにせしめたまふぞ」の傍線部の文法的説明として適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「せしむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
イ　サ変動詞「す」の連用形＋尊敬の助動詞「しむ」の未然形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
ウ　サ変動詞「す」の連用形＋使役の助動詞「しむ」の連用形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形
エ　サ変動詞「す」の未然形＋尊敬の助動詞「しむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
オ　サ変動詞「す」の未然形＋使役の助動詞「しむ」の未然形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「せ」の識別

【識別対象】

１　使役・尊敬の助動詞「す」の「　　形」か「　　形」

２　「　」の助動詞「き」の「　　形」

３　サ変動詞「す」の「　　形」

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	す	**せ**	**せ**	す	する	すれ	せよ	下二型
形	き							特殊型
	動詞「す」							

〈見分け方〉

１　上が「　　形」（「　」段）＝助動詞「す」

（例）この大臣の作ら**せ**給ひける詩を、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　「（「　　形」＋）**せ**　〜　　」の「**せ**」＝助動詞「き」

（例）世の中にたえて桜のなかり**せ**ば春の心はのどけからまし

３　「　　」と訳せる「せ」＝サ変

（例）音**せ**ぬ暁に…

問七　次の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを後の選択肢の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

①　いかさまにせむと沈み臥したまへるに…

②　とらへてよませける。

③　夢と知りせば覚めざらましを

④　源氏の物語、人に読ませ給ひつつ…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ア　使役の助動詞「す」
イ　尊敬の助動詞「す」
ウ　過去の助動詞「き」
エ　サ行変格活用動詞「す」

問八　「思ふこと心にかなふ身なり<u>せ</u>ば秋の別れを深く知らまし」の傍線部の終止形を答えよ。

①＝　②＝　③＝　④＝

問九　次の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

清水寺の法師に養は<u>せ</u>けり。

ア　動詞
イ　使役の助動詞
ウ　尊敬の助動詞
エ　過去の助動詞
オ　動詞の活用語尾

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まし							特殊型

【意味】

① **反実仮想**（もしＡならばＢだろうに）
② **ためらいの意志**（～ようかしら・～たらよいだろう）
③ 仮想（～ならよかった）
④ 推量（～だろう）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈意味の見分け方〉

①　反実仮想

A ｛ **せ** ／ 「　　」／ 「　　」／ 「　　形」 ｝ ば　B　**まし**

※「～**せ**ば～まし」の「**せ**」は「　　　」の助動詞「　　　」の「　　　」形

（例）「やがてかけこもら**ましか**ば、口惜しから**まし**。」
（すぐに掛け金をかけて部屋の中にこもった　　　　、残念だった　　　　。）

★事実は？「　　　　」⇐「　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **ためらいの意志**

「　　　」＋～**まし**

（例）これになにを書か**まし**。

③ 仮想

（例）見る人もなき山里の桜花ほかの散りなむ後ぞ咲か**まし**

④ 推量

（例）花やこよひの主（あるじ）なら**まし**

問十　「見し人の松の千年に見〔まし〕ば遠く悲しき別れせましや」の〔まし〕部分を適切な形に活用させよ。

問十一　「いかにせまし。」を現代語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「名残なく燃ゆと知りせば皮衣思ひのほかにおきて見ましを」の傍線部の文法的意味を答えよ。

問十三　「居まし」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ア行上一段活用の動詞＋反実仮想の助動詞
イ　ア行上一段活用の動詞＋意志の助動詞
ウ　ワ行上一段活用の動詞＋反実仮想の助動詞
エ　ワ行上一段活用の動詞＋意志の助動詞

問十四　次の空欄に入る語として最も適当なものを、後の中から選べ。

「我、来ざらましかば、尼君の臨終はかくはなから［　　］。」

ア　む　　イ　ず　　ウ　じ　　エ　まし　　オ　ざり

問十五　「例の寸法にて立ちたらましかば、早く負けなまし。」の傍線部の文法的説明を答えよ。活用のある場合は、品詞、終止形、問題文中での活用形名、意味の順に記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講

①「この猫を北面にのみあらせて呼ばねば、…」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　断定　イ　尊敬　ウ　完了　エ　使役　オ　強意

②「僧達近う候ひて、御念仏をして聞かせ奉る。」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　自発　イ　断定　ウ　使役　エ　完了　オ　尊敬

③「地獄に落ちさせ給はん事こそ、あさましく侍れ」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

④「わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。」の傍線部の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　使役の助動詞「す」　イ　尊敬の助動詞「す」
ウ　過去の助動詞「き」　エ　サ行変格活用動詞「す」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　「思ふこと心にかなふ身なりせば秋の別れを深く知らまし」の傍線部ａの説明を、また、傍線部ｂの意味として、最も適切なものを次の中からそれぞれ選べ。

ａ　ア　サ変動詞「す」　イ　使役の助動詞「す」
　　ウ　尊敬の助動詞「す」　エ　過去の助動詞「き」

ｂ　ア　希望　イ　反実仮想
　　ウ　打消推量　エ　ためらいの意志

ａ＝　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　「む・むず」／「らむ・けむ」

む・むず（＝「　・　ず」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	む							（四段型）
形	むず							型

問一　「いとどこそむつからめ」の傍線部の終止形、ここでの活用形を答えよ。

問二　「さて鷹飼はではいかがしたまはむずる。」の傍線部分を例にならって品詞分解せよ。

（例）

書き	し	文
カ行四段活用・連用形	助動詞「き」・連体形	名詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】＝**「スイカかえて」**

①**推量**（〜だろう）
②**意志**（〜よう）
③**勧誘**（〜ませんか）
④**仮定**（〜としたら）
⑤**婉曲**（〜ような）
⑥**適当**（〜するのがよい）

★〈意味の見分け方〉＝「　　　　」か「　　　　」に分ける。

●「　　　　」＝「仮定」・「婉曲」

（例）恋しから**む**ことの堪へがたく、…

●「　　　　」＝「推量」・「意志」・「勧誘・適当」

（例）

「取りて参ら**ん**。」

この女をほかへ追いやら**む**とす。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「文中」の「む」の意味

●～む＋**体言**→「　　　」

（例）恋しから**む**ことの堪へがたく、…

●～む＋助詞→「　　　」

（例）ただ一度に答へ（いら）**む**も、…

★「文末」の「む」の意味→文脈判断。目安として**主語**確認。

●一人称→「　　　」

（例）「我こそ死な**め**。」

●二人称→「　　　」

（例）（ホトトギスに向かって）「今こそ鳴か**め**」

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●**三人称**→「　　　　」

（例）何人か迎へきこえ**む**。

※「**勧誘・適当**」の「む」の主語＝必ず「　　　　　　　」になる。

※「　　」**の上の「む」**→「　　　　　」が多い。

（例）翁の、孫を見**む**と思ひけむは理なり。

※「こそ～**め**」の「**め**」
「て**む**」の「**む**」
「な**む**」の「**む**」
→「　　　　・　　　　　」が多い。

（例）「花を見てこそ帰り給は**め**。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　「我もいかで、腰折れたらん雀見つけて、飼はん」と思ひて、…

②　海ならずたたへる水の底までもきよき心は月ぞ照らさむ

③　人の上に立たむこと、月を越ゆべからず。

④　「誰（たれ）ならむ」と言ふに、…

⑤　かまどなどは、歌に詠まむには卑しき詞なれど、…

⑥　「とくこそ試みさせ給はめ。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「我またよくその矢を取り得たらんには、何をか給はり候ふぞ」の傍線部の意味を、次の中から選べ。

ア　打消　　イ　推量　　ウ　意志
エ　仮定　　オ　婉曲

問五　「かかることにてこそあらめ。」の傍線部と文法的意味が同じものを、次の中から選べ。

ア　世の人の思はんことも候ふなれば…
イ　さあらんには、尊き僧たちの…
ウ　悩ませ給ふらんこそ心得られね。
エ　名告りをせんほどのしるしはありなん。

問六　「心澄まさむ人は見ぬべきさまなる」の傍線部の意味を答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「われ修復せん<u>ん</u>といへば、…」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　推量の助動詞
イ　意志の助動詞
ウ　適当の助動詞
エ　勧誘の助動詞
オ　仮定の助動詞

問八　次の傍線部のうち、助動詞「む」の婉曲用法と考えられるものはどれか。正しいものを後の中から選べ。

女君は、かくな[a]<u>む</u>とたしかに知らせたてまつり給はざりけるを、…
「二三日ははべりな[b]<u>む</u>」と聞こえ給ふ。
若君を見給ふもいかが浅く思され[c]<u>む</u>。
何も、書きたら[d]<u>む</u>ものは、読みてむや。
いと里離れて渡ら[e]<u>む</u>ことも難きを、…

ア　aとb　　イ　bとc　　ウ　cとd
エ　dとe　　オ　aとe

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

らむ・けむ（＝「ら　　・け　　」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	らむ							（四段型）
形	けむ							（四段型）

問九　「作りごとせんずらん、…」の傍線部を単語ごとに分けるとすると、どのように分けられるか。最も適切なものを次の中から選べ。（「／」は区切りを示す）

ア　せんず／らん　　イ　せん／ずらん
ウ　せ／んずらん　　エ　せ／んず／らん
オ　せ／ん／ずらん　　カ　せ／ん／ずら／ん

【意味】

〈違い〉＝「時制」
「らむ」＝「　　　　　」
「けむ」＝「　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈共通〉

①　推量（〜だろう）
②　原因推量（どうして〜だろう）
③　伝聞（〜とかいう）
④　婉曲（〜ような）

※〈共通〉の意味の上にそれぞれ「時制」を全て付け足す。訳もそれぞれ時制を加えて訳すこと。

★〈意味の見分け方〉＝「　　　　」か「　　　　」に分ける。

●「　　　　」＝時制＋「推量」・「原因推量」

●「　　　　」＝時制＋「伝聞」・「婉曲」

★「　　　　」の意味の見分け方

●「　　　　」→推量

（例）また異所(ことどころ)にかぐや姫と申す人ぞおはします**らむ**。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「　　　　」↓原因推量

（例）桜の花の散るを見て詠める。
久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散る**らむ**

※あくまで目安で、文脈判断が必要。

（例）老いたる母など、（頭に鼎をかぶり抜けなくなった者の）枕上に寄りゐて泣き悲しめども、聞く**らむ**ともおぼえず。

●文中に、**「どうして～」と訳せる疑問語、係助詞「や」・「か」**がある場合↓「　　　　」が多い。

（例）「我に、などかいささかのたまふ（おっしゃる）ことのなかり**けむ**」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　涙さへなどとまらざるらむ

②　駒並べていざ見に行かむ古里は雪とのみこそ花は散るらめ

③　人違へにてぞあるらむ。

④　見渡せば山もとかすむ水無瀬川夕べは秋と何思ひけむ

問十一　「あらざりけん」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　現在の推量　　イ　過去の推量　　ウ　適当

エ　断定　　オ　伝聞推定

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「この翁、年は八、九十にもなりぬらんと見えて、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　打消推量　　イ　現在推量　　ウ　過去推量　　エ　存続　　オ　過去

問十三　「年月をいかでわが身に送りけむ昨日見し人今日はなき世に」の傍線部の説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　過去にあったことを詠嘆を込めて述べる時に用いる助動詞
イ　過去のことを推量する時に用いる助動詞
ウ　過去に体験したことを述べる時に用いる助動詞
エ　詠嘆をあらわす間投助詞
オ　助動詞「けり」の連体形の音便

問十四　「抑（そもそも）いかなる御事にて、かく親しくなりまゐらせつらむ」の傍線部と同じ意味を表しているものを、次の中から選べ。

ア　御前に候ふ人々も、をこがましく思ふらん
イ　鸚鵡いとあはれなり。人の言ふらんことをまねぶらんよ
ウ　などや苦しきめを見るらむ
エ　おぼすらむこと、何事ぞ
オ　これや我が求むる山ならむと思ひて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十五　次の空欄Ａ、Ｂには助動詞「らむ」または「けむ」が入る。それぞれに合う助動詞を適切な形にして、記せ。

「かかる所にながめたまふ［Ａ］心の中のあはれに、…」

一つ橋危がりて帰り来たり［Ｂ］者のやうに、わびしくおぼゆ。

Ａ＝

Ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講

①「当たらんずる」を品詞ごとに区切ったものとして最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　当た・らん・ずる　　イ　当たら・ん・ず・る　　ウ　当たら・んずる

エ　当たら・んず・る　　オ　当たら・ん・ずる

②次の傍線部の意味として、最も適当なものを後の中から選べ。

もろこしからのことばにて、長きことなど物語りするをわきより見たらむは、この国のことばにてこの国の人と物語りするに、違ひはなからむと思ふなめれど、…

ア　意志　　イ　推量　　ウ　命令　　エ　仮定　　オ　勧誘

③「我が行ひを五つ、六つ重ねたらんほどに行ふ者ありけり。」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　婉曲　　イ　意志　　ウ　尊敬　　エ　打消　　オ　存続

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「一方ならぬ哀れさも、誰ゆゑとこそ思ひけめ。」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　婉曲　　イ　過去　　ウ　過去推量　　エ　強意　　オ　推量

⑤「さて都にも心安くておはすらんと思はば、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　可能　　イ　自発　　ウ　打消推量　　エ　過去推量　　オ　現在推量

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　「らむ」の識別／「じ」／「べし・まじ」／「まほし・たし」／「ごとし」

「らむ」の識別

【識別対象】
1　「　　　」の助動詞「らむ」
2　「　　　」の助動詞「り」の「　　　形」＋推量の助動詞「む」
3　「〜ら」となる活用語の未然形＋推量の助動詞「む」

★**〈見分け方〉**＝「　　　」の「　　　」

1　上が「　　　」段＝現在推量「らむ」
（例）読む**らむ**

2　上が「　　　」段＝完了「り」＋推量「む」
（例）読め**らむ**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　上が「　　」段＝活用語の未然形＋推量「む」

（例）　深き故あ**らむ**

※「はべらむ」や「けづらむ」などの例外にも注意！

はべ|らむ

けづ|らむ

たてまつ|らむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部「らむ」の文法的説明として、最も適当なものを後の中からそれぞれ選べ。

①　ふるさとの見ざらむ人に…

②　人をまつらむ。

③　何をかたてまつらむ。

④　「～思ひはべらむこと」とわびたまへば…

⑤　なほその境に至らで詠めらむは無念なりとて、…

ア　助動詞「らむ」

イ　助動詞「り」＋助動詞「む」

ウ　活用語の未然形の活用語尾＋助動詞「む」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「流れのままに十余町もや行くらむ。」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　現在推量の助動詞「らむ」の終止形
イ　現在推量の助動詞「らむ」の連体形
ウ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形
エ　完了の助動詞「り」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形

問三　「いかがなりぬらん。」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　心あてに折らばや折らん初霜の置きまどはせる白菊の花
イ　吹くからに秋の草木のしをるればむべ山風をあらしといふらん
ウ　あらざらんこの世のほかの思ひ出にいまひとたびの逢ふこともがな
エ　ながからん心も知らず黒髪の乱れてけさはものをこそ思へ

問四　「いかでかその由を知らざらむ」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形
イ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「む」の終止形
ウ　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「らむ」の連体形
エ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「らむ」の終止形
オ　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋詠嘆の助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、後の中から選べ。

「ここにありし人はまだやながむ[a]らむ。」
「人違へしてはをこな[b]らむ」

ア　現在推量の助動詞　　イ　形容詞の一部＋推量の助動詞
ウ　完了の助動詞＋推量の助動詞　　エ　形容動詞の一部＋推量の助動詞

a＝　　　b＝

問六　「いかなる事をせんずらん」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
イ　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
ウ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
エ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
オ　動詞「せんず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

じ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	じ	○	○				○	型

【意味】＝「　」の打消

①　打消推量（〜ないだろう）

②　打消意志（〜ないつもりだ）

★**〈意味の見分け方〉＝主語**確認

●一人称　→「　　　　」

（例）　我は申さ**じ**。

●それ以外→「　　　　」

（例）　人の心にはつゆをかしから**じ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「これ程の事はよもあらじとて…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　推量　　イ　自発　　ウ　打消推量
エ　可能　　オ　現在推量

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

べし・まじ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	べし			○		○	○　○	型
	まじ			○		○	○　○	型

【「べし」の意味】＝「スイカとめて」

①　**推量**（～だろう）
②　**意志**（～よう）
③　**可能**（～できる）
④　**当然**（当然～はずだ）
⑤　**命令**（～せよ）
⑥　**適当**（～するのがよい）

【「まじ」の意味】＝「　　　」の打消

①　打消推量（～ないだろう）
②　打消意志（～ないつもりだ）
③　不可能（～できない）
④　打消当然（～はずがない）
⑤　禁止（～するな）
⑥　不適当（～ないほうがよい）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「べし」の意味の見分け方〉＝文脈判断。目安として主語確認。

●一人称→「　　　　　　　」

●二人称→「　　　・　　　」

●三人称→「　　　　　　　」

※打消・反語の文脈→「　　　　　」

※比較・選択の文脈→「　　　　　」

（例）家の作りやうは、夏を旨とすべし。

※「べき由（よし）」の「べき」→「　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この人々の深き心ざしは、この海にも劣らざるべし。

②　東の方に住むべき国求めにとて行きけり。

③　わが身は女（をうな）なりとも、敵の手にはかかるまじ。

④　藤波の咲き行く見ればほととぎす鳴くべき時に近づきにけり

⑤　「人に聞かすな。人に漏らすまじ」と口固めけり。

⑥　二条殿へきと参るべきよし、仰せごととて、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「この人にまさるべからず。」の傍線部の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　受身　イ　可能　ウ　尊敬　エ　打消
オ　存続　カ　意志　キ　婉曲　ク　命令

問十　「因果の道理、違(たが)ふべからず、慎むべし、慎むべし。」の傍線部の助動詞の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　過去　イ　完了　ウ　受身　エ　自発
オ　可能　カ　尊敬　キ　使役　ク　当然

問十一　次の傍線部ａ・ｂの文法的説明として適当なものを、後の中から選べ。

何事もせむに、いと便なかるべ[a]ければ、…
「やみなむと思ふこそ、いみじ[b]けれ」

ア　ａは推量の助動詞の一部で、ｂは過去の助動詞
イ　ａは形容詞の一部で、ｂは過去の助動詞
ウ　ａは過去の助動詞で、ｂは形容詞の一部
エ　ａは推量の助動詞の一部で、ｂは形容詞の一部
オ　ａは形容詞の一部で、ｂは推量の助動詞の一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まほし・たし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まほし			○		○	○　○	型
形	たし			○		○	○　○	型

【意味】

①　希望（～たい）

（例）　下り**まほしう**なりにたらむ。
家にあり**たき**木は、松・桜。

問十二　「またまたも見まほしきに、ありもつかぬ…」の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十三　「なほ童（わらは）にてあらせまほしきさまを、…」の傍線部の文法的意味として適当なものを、次の中から選べ。

ア　反実仮想の助動詞　　イ　断定の助動詞　　ウ　伝聞の助動詞
エ　現在推量の助動詞　　オ　希望の助動詞　　カ　願望の終助詞

ごとし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし	**ごとく**	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	形容詞型

※助詞「の・が」に付く場合

●体言＋の＋**ごとし**

（例）ただ春の夜の夢の**ごとし**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●連体形＋が＋**ごとし**

（例）過ぎたるは猶及ばざるが**ごとし**。

【意味】

①　比況（〜**ようだ**）
②　例示（〜**ようだ**）

（例）

扇を広げたるが**ごとく**末広になりぬ。

和歌・管弦・往生要集**ごとき**の抄物を入れたり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講

①「戒（いまし）められむずらむ」を単語に分けた場合、どのような分け方になるか。最適なものを次の中から選べ。

ア　戒め／られ／むず／ら／む
イ　戒めら／れ／む／ず／らむ
ウ　戒め／られ／むず／らむ
エ　戒め／られ／む／ず／らむ

②Ａ「侍るらむ」とＢ「敷けらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

ア　四段動詞＋助動詞
イ　四段動詞＋助動詞＋助動詞
ウ　ラ変動詞＋助動詞
エ　ラ変動詞＋助動詞＋助動詞
オ　下二段動詞＋助動詞
カ　下二段動詞＋助動詞＋助動詞

Ａ＝　　　Ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「死後なほあしくは報い候はじ」の傍線部の助動詞の意味について、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　打消推量　イ　完了　ウ　命令　エ　仮定　オ　受身

④「いかが他の力を借る□。」の空欄には「べし」を活用させたものが入る。(1)　空欄に入れるのに最も適当な語形と、(2)　その活用形の種類を、次の中からそれぞれ選べ。

(1)　ア　べし　イ　べけれ　ウ　べき
　　エ　べく　オ　べかる　カ　べかれ

(2)　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
　　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

(1)＝　(2)＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「便なくや候ふべからん」の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　形容詞「便なし」の連用形＋間投助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の連体形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の終止形

イ　形容詞「便なし」の連用形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の終止形

ウ　形容詞「便なし」の連用形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の連体形

エ　形容詞「便なし」の未然形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の連体形＋助動詞「べし」の連用形＋助動詞「む」の連体形

オ　形容詞「便なし」の未然形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の連用形＋助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　２つの「なり」

２つの「なり」

（例）この男は王**なり**けり。

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	なり **（断定・存在）**							型
	なり **（伝聞・推定）**	○					○	型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★断定の接続に関して

●形容詞型に接続する場合

「～**き**＋なり」となる。

（例）　申すべき**なら**ねど、…

●一部の副詞や助詞にも接続する。

「ばかり**なり**」
「～ば**なり**」
「かく**なり**」
「さ**なり**」
「しか**なり**」
の「**なり**」など。

（例）　七里ばかり**なり**。　／　わざと**なら**ぬにほひ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「断定・存在」の「なり」の語源と見分け方〉

語源＝「　　」＋あり

① **存在**（～にある・～にいる）

※「　　」**（方角）**＋**なり**

（例）

駿河**なる**宇津の山べの…

壺**なる**御薬…

② **断定**（～である）

※①以外

（例）　行きかふ年もまた旅人**なり**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「伝聞・推定」の「なり」の語源と見分け方〉

語源＝「　　」＋あり

①　**伝聞**（～とかいうそうだ）

※人から聞いた噂などの場合

（例）　また聞けば、侍従の大納言の御娘なくなり給ひぬ**なり**。

②　**推定**（～ようだ）

※「音」に関わる言葉がある場合

（例）　松虫の声す**なり**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　今年蔵司の小使にてまかり渡り候ひつるなり。

②　舟の内なる者ども、これが仕業を見るに、…

③　人々あまた声して来なり。

④　親の為思はぬなり。

問二　「仙人などもかくこそすなれ。」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　断定の助動詞「なり」の連体形
イ　伝聞の助動詞「なり」の連用形
ウ　断定の助動詞「なり」の連用形
エ　伝聞の助動詞「なり」の已然形
オ　断定の助動詞「なり」の已然形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「中ならん物はさながら取れ」の「なら」と同じ意味で用いられているものとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。（『竹取物語』）
イ　この西なる家はなに人の住むぞ、問ひ聞きたりや。（『源氏物語』）
ウ　三条の宮に、親族（しぞく）なる人の衛門の命婦とてさぶらひけるたづねて文やりたれば、（『更級日記』）
エ　都へと思ふをものの悲しきは帰らぬ人のあればなりけり（『土佐日記』）
オ　物思へば雲居に見ゆる雁（かりがね）の耳に近くも聞こゆなるかな（『和泉式部集』）

★ラ変型につく「なり」

（例）　ある**なり**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題〉　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

「最期に口惜しと思ひし一念によりて、かくまうで来たるなり。」と言ひける。

★ラ変型「撥音便」につく「なり」

（例）　あ **なり** ↓ [　　　]

（　　）
なり ↓「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

物語といふもののあん**なる**を、…

「今は。」とて見えざ**なる**を、…

罪重か**なり**。

問四　次の傍線部の助動詞「なり」のうち、一つだけ他と意味の異なるものを選べ。

ア　祈るなり

イ　所なり

ウ　あなれ

エ　来たるなり

オ　親なり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★四段動詞につく「なり」

（例）　しるしを示す**なり**けり。

*音声動詞＋**なり**↓［　　　　］

*言ふ
泣く
鳴く
打つ
叩く
…　　など

問五　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

夕されば野辺の秋風身にしみてうづら鳴くなり深草の里

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の助動詞の意味を、後の中からそれぞれ選べ。

①　冬の夜ならぬ真木の戸を…

②　まもらるるなりけり、と思ふにも…

③　くらげのなり。

④　道も恐ろしかんなるを…

⑤　袖湿（ひ）ぢてしぼるばかりなり。

⑥　寺に尊きわざすなる、見せたてまつらむ。

⑦　あひ思さぬなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧　言ひ使ふ者にもあらざなり。

⑨　端の方(かた)なりし畳〔＝敷き物〕をさし出でしものは、…

⑩　かひありとこそ鹿も鳴くなれ。

⑪　人の程に合はねば、とがむるなり。

⑫　（簾の）内なる人、一人柱に少しゐ隠れて、…

ア　断定

イ　存在

ウ　伝聞推定

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講

①「若君、姫君とぞ聞こゆなる。」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　現在の推量　イ　過去の推量　ウ　適当　エ　断定　オ　伝聞推定

②「しかしか、いと興ある事なり。」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　完了　イ　推定　ウ　断定　エ　伝聞　オ　尊敬

③　次の傍線部のうち、伝聞の意味を表す助動詞を一つ選べ。

ア　須磨になりぬ。
イ　家どもの、物はかなげなるに、柴垣うちしつつ、…
ウ　旅人の舟どもうかがふなる白波の寄り来る舟など繁しなど…
エ　慌しく急ぎ過ぐるなるべし。
オ　緑の松の年深くて、浜風になびきなれたる枝に、…

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　「なり」の識別／「めり・らし」／推量・推定の助動詞のまとめ

「なり」の識別

【識別対象】

1　「　　」・**存在の助動詞**「なり」
2　「　　」・「　　」**の助動詞**「なり」
3　「　　」の「なる」
4　「　　」ナリ活用の活用語尾

★**〈見分け方〉**＝「　　　」

1　「　　」か「　　形」＋なり＝**断定・存在の助動詞**「なり」

（例）
今宵は十五夜**なり**けり。
成就する**なり**。
西の京のそこそこ**なる**家に…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　「　　形」（ラ変型＝「　　形」）＋なり＝**伝聞・推定の助動詞「なり」**

（例）もの思ひにあくがる**なる**魂は、…

※撥音便に付く「なり」

（　　）**なり＝伝聞・推定**

（例）いとよきことにこそあ**なれ**。

絶えざ**なれ**ば…

※四段活用音声動詞に付く「なり」

（例）世をうぢ山と人はいふ**なり**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３

「　　」と訳せる＝ラ行四段活用**動詞**「なる」

「　　」「　　」「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

〜

なり＝**動詞**「なる」

（例）

九月（ながつき）ばかりに**なり**て、…

河内へも行かず**なり**にけり。

うとましう**なり**ぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

４

「　　・　　」＋なり＝**形容動詞**ナリ活用の活用語尾

「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

「　　＝　　」
〜　　なり

＝形容動詞

あはれなり

貴（あて）なり

優（いう）なり

つれづれなり

様子

※〜か**なり**→**伝聞・推定**

（例）読むべか**なり**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

みやびやか**なる**を、あはれと思ひたまふ。

御心のうち、苦しげ**なり**。

この児のかたち、けうら**なる**こと世になく、…

定めたまふまじか**なる**を…

問一　次の傍線「なり」を文法的に分類した組み合わせとして、最も適当なものを後の中から選べ。

はかなく①なりし人の領ずる所にて、…
ある聖の物に②なりてと聞きしを、…
さまざま思ひ出づることなど、言ふもなかなか③なり。
露消えし跡は野原と④なりはててありしにも似ず荒れはてにけり

ア　①と②③④　　イ　①②と③④
ウ　①②③と④　　エ　①②④と③
オ　①③④と②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の中から品詞の異なるものを一つ選べ。

ア　孝養の心なき者なり。
イ　その人の心になりて思へば、…
ウ　世をば行なはまほしきなり。
エ　不便のわざなり。

問三　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

須磨に[a]なりぬ。
家どもの、物はかなげ[b]なるに、柴垣うちしつつ、…
慌しく急ぎ過ぐる[c]なるべし。

ア　ラ行四段動詞
イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞
エ　伝聞の助動詞

a＝　　　　b＝　　　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「事悪しく[a]なりなんかし」と思ふに、…
命も延びぬべき様し給へる人[b]なり。
聞き入れさせ給はざん[c]なりと承るを、…

ア　ラ行四段動詞　　イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞　　エ　伝聞の助動詞

a＝　　b＝　　c＝

問五　次の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

髪長くをかしげ[a]なれば、…
蔵人（くらうど）の少将の御方[b]なる小帯刀（こたちはき）とて、いとされたる者…
＊わかうどほり腹[c]なりかし。

＊わかうどほり腹…皇族の女性から生まれてきたことをいう。

ア　動詞「成る」　　イ　形容動詞の活用語尾
ウ　断定の助動詞「なり」　　エ　伝聞推定の助動詞「なり」

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★補足事項

〜 あ／か／ざ／た／な （ん） なり

〜ざんなり

〜ななり

※「**ななり**」「**なめり**」＝「　　」

（訳）「　　　　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「仏、あはれとおぼしめしたりけるなめり（a）」とぞ人言ふなる（b）。

ア　当然　　イ　伝聞　　ウ　完了　　エ　回想
オ　詠嘆　　カ　断定　　キ　婉曲　　ク　反実仮想

a＝　　　b＝

問七　次の傍線部a・bと文法的に最も近いものを、後の中からそれぞれ選べ。

この里にすみふりし飛驒人（びと）（＝大工）なり（a）。
やや寒うなり（b）はべるには、…

ア　かたはらいたければ書かぬなり。
イ　「静まりぬなり。入りて、さらば、たばかれ」とのたまふ。
ウ　長押（なげし）の下（しも）に人々臥して答（いら）へすなり。
エ　「出でずなりぬ」と聞こえたまへば、慰みて起きたまへり。
オ　をかしき節もなくのみぞあなりし。

a＝　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　「みな人は花の衣になりぬなり。」の傍線部「なり」の文法的説明をそれぞれせよ。
（傍線部：a＝なり　b＝なり）

a＝

b＝

問九　「かしこにはしはべるなるに、…」の傍線部と文法的に同じ意味の「なる」「なり」を含む和歌を、次の中から一つ選べ。

ア　厚氷くだきし跡の見ゆるなり山下清水くむ人やたれ
イ　世の中のあはれなるには大空の雲も涙を惜しまざりけり
ウ　嘆けとて月やはものを思はするかこち顔なる我が涙かな
エ　世にふれば又もこえけり鈴鹿山昔の今になるにやあるらん
オ　あしびきの片山きぎすうちはぶき妻ごひすなり春のあけぼの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線「なり」と文法的意味・用法が同じものを、後の中から一つ選べ。

船人の見るに、海のなかに浮きて漂ふ者あり。これを引き上げて見れば、縛られたる僧なり。船人、大きにあやしみて、「何人ぞ、かくは縛られたるは」と問へば、「われはしかじかの者なり。盗人にあひて縛られて落とし入れられたるなり」と答ふ。

（一部省略）

ア　太政大臣になりたまふ
イ　容体ほそやかにあてなりければ
ウ　おのづから宿世宿世に人となりたちぬれば
エ　侍従の大納言の御女、なくなりたまひぬなり
オ　またなくあはれなるものは、かかる所の秋なりけり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

めり・らし

基本形	接続	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
めり		○					○	型
らし		○	○				○	型

【「めり」の意味】

① （「　　　」判断による）**推定**（**～ようだ**）

※語源＝「　　　」＋あり

（例）人待つな**めり**と見るに、…

② **婉曲**（**～ような**）

（例）人ごとに言ふ**めれ**ど、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【「らし」の意味】

① 推定（～らしい）

（例）深山（みやま）には霰（あられ）降る**らし**外山（とやま）なるまさきのかづら色づきにけり

問十一　「言ふ<u>め</u>れば、…」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　完了　　イ　推定　　ウ　断定　　エ　伝聞　　オ　尊敬

問十二　「さなめり」を現代語訳せよ。

問十三　「あやしきさまにぞ言ふべか［X］。」の空欄Xに入る語として、最適なものを次の中から選べ。

ア　り　　イ　れ　　ウ　めり　　エ　める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈推量・推定の助動詞のまとめ〉

けむ〔　　〕←らむ〔　　〕←む〔　　〕（むず）　じ

べし　まじ

推定
- なり〔　　〕
- めり〔　　〕
- らし（和歌中）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講

① 次の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを後の中から選べ。

身の上に [a]なりぬれば、…
姉[b]なる人の…
遥か[c]なる道を妻子を引き具して、…
呼ばすれど、答へざ[d]なり。

ア　断定　イ　伝聞　ウ　動詞　エ　形容詞の活用語尾　オ　形容動詞の活用語尾

a＝　b＝　c＝　d＝

② 「思ひをなすべきなめり」の傍線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　断定　イ　完了　ウ　推量　エ　打消　オ　強意

③ 「中将などはすきぬべかるめり」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　適当　イ　伝聞　ウ　完了　エ　反実仮想　オ　推定　カ　打消

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　模範解答

問一　①　におう　②　ひとこえ　③　おかし　④　ふさわし　⑤　とのい

問二　①　ユー　②　オーサカ　③　チョーチョー　④　ショージ

問三　①　已然形　②　連用形　③　連体形
④　a　連体形　b　連用形　⑤　命令形

問四　①　已然形　②　連体形　③　已然形
④　連体形　⑤　未然形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　模範解答

〔例題一〕　ヤ行下二段活用・連体形

〔例題二〕
①　カ行上一段活用・連用形
②　サ行変格活用・連体形
③　ワ行上一段活用・（未然形）

問一　ワ行上一段活用

問二　a　③・ア
b　⑤・エ

問三　オ

問四　ウ

問五　a　1　オ　　2　カ
b　1　ア　　2　ウ

問六　a　1　ウ　　2　イ　　3　ア
b　1　ウ　　2　ア　　3　イ

問七
①　サ行変格活用・連用形
②　a　カ行四段活用・連用形　　b　ラ行変格活用・連体形
③　ヤ行下二段活用・已然形
④　タ行上二段活用・連体形
⑤　サ行下二段活用・連体形
⑥　カ行変格活用・連用形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦　a　ワ行上一段活用・連用形　b　ダ行下二段活用・連用形　c　ナ行変格活用・終止形

⑧　a　マ行上一段活用・已然形　b　ワ行上一段活用・連用形

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　模範解答

問一　ア／ふ（る）

問二　a キ　b コ　c カ　d ケ　e ク

問三　a コ　b ケ　c ク　d ウ　e キ

問四　ヤ行上二段活用

問五　a ゑ　b づ　c い

問六　ア

問七　イ

問八　① ク活用・未然形　② a シク活用・連体形　b ク活用・已然形
③ ク活用・已然形　④ ク活用・連体形　⑤ シク活用・連用形
⑥ a シク活用・連用形　b ク活用・連体形

問九　A いみじき　B いみじく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　模範解答

問一　空が寒いので

問二　ああ、幼いなあ。

問三　①　ナリ活用・連体形　②　ナリ活用・終止形　③　ナリ活用・連用形　④　タリ活用・連体形

⑤　ナリ活用・已然形　⑥　ナリ活用・未然形　⑦　タリ活用・連用形

問四　①　ぬ　②　に　③　べき　④　しか　⑤　じ　⑥　ましか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　模範解答

〔例題〕　①　ａ　伝聞推定　ｂ　断定　②　断定・連用形

問一　①　深かり　②　れ　③　ざら　④　なる
⑤　思へ　⑥　あら　⑦　過ぎ

問二　ａ　ウ　ｂ　ア

問三　イ

問四　マ行・上一段活用・連用形

問五　オ

問六　イ

問七　ず

問八　ざり

問九　Ａ　ア　Ｂ　ウ

問十　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　模範解答

〔例題〕　イ

問一　しか
問二　しか
問三　ける
問四　ア
問五　詠嘆
問六　イ
問七　ウ
問八　①　強意　②　完了　③　完了　④　強意　⑤　強意
問九　き
問十　イ
問十一　a　ウ　b　イ
問十二　a　ア　b　イ
問十三　a　キ　b　ウ
問十四　a　ア　b　エ
問十五　カ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　模範解答

〔例題〕　風が吹いた。

問一　①　打消　②　完了　③　打消　④　打消
⑤　完了　⑥　完了　⑦　打消

問二　ア

問三　オ

問四　ア

問五　①　打消　②　打消　③　打消　④　a　完了　b　打消

問六　ア　完了の助動詞「ぬ」の命令形
イ　打消の助動詞「ず」の已然形

問七　ヤ行下二段活用・未然形

問八　ア

問九　エ

問十　エ

問十一　①　イ　②　エ　③　ア　④　ア　⑤　ア
⑥　イ　⑦　ウ　⑧　ア　⑨　ア　⑩　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　模範解答

問一　Ⅰ　ア　Ⅱ　ウ
問二　①　自発　②　尊敬　③　可能　④　受身
問三　a　ア　b　オ
問四　ウ
問五　エ
問六　エ
問七　イ
問八　a　り　b　る
問九　a　オ　b　ア
問十　エ
問十一　オ
問十二　オ
問十三　a　ウ　b　ア
問十四　エ
問十五　ア
問十六　a　エ　b　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　模範解答

問一　オ

問二　①　尊敬　②　使役　③　使役　④　尊敬　⑤　使役

問三　オ

問四　オ

問五　使役・さす・連体形

問六　エ

問七　①　エ　②　ア　③　ウ　④　ア

問八　き

問九　イ

問十　ましか　※文法的には「ませ」でも間違いではありませんが、和歌の音の数で「ましか」を正答とします。

問十一　どのようにしようかしら〔どのようにしたらよいだろう〕。

問十二　反実仮想

問十三　ウ

問十四　エ

問十五　助動詞・まし・未然形・反実仮想

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　模範解答

問一　む・已然形

問二

サ行変格活用・連用形	ハ行四段活用・未然形	助動詞「むず」・連体形
し	たまは	むずる

問三　①　意志　②　推量　③　婉曲　④　推量　⑤　仮定　⑥　適当（勧誘）

問四　エ

問五　エ

問六　婉曲

問七　イ

問八　エ

問九　エ

問十　①　現在原因推量　②　現在推量　③　現在推量　④　過去原因推量

問十一　イ

問十二　イ

問十三　イ

問十四　ウ

問十五　A　らむ　B　けむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　模範解答

問一　①ウ　②ア　③ウ　④ウ　⑤イ

問二　イ

問三　イ

問四　ア

問五　a ア　b エ

問六　イ

問七　ウ

問八　①推量　②適当　③打消意志　④当然　⑤禁止　⑥命令

問九　イ

問十　ク

問十一　エ

問十二　マ行上一段活用・未然形

問十三　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　模範解答

〔例題〕　断定

問一　①　断定　②　存在　③　（伝聞）推定　④　断定

問二　エ

問三　イ

問四　ウ

問五　（伝聞）推定

問六　①　ア　②　ア　③　ウ　④　ウ　⑤　ア　⑥　ウ
⑦　ア　⑧　ウ　⑨　イ　⑩　ウ　⑪　ア　⑫　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　模範解答

問一　エ
問二　イ
問三　a　ア　b　イ　c　ウ
問四　a　ア　b　ウ　c　エ
問五　a　イ　b　ウ　c　エ
問六　a　カ　b　イ
問七　a　ア　b　エ
問八　a　ラ行四段活用動詞「なる」の連用形
b　伝聞推定の助動詞「なり」の終止形
問九　オ
問十　オ
問十一　イ
問十二　そうであるようだ
問十三　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　模範解答・解説

〔解説〕

①「e＋う」の発音は「ヨー」。よって、正解はウ。ちなみに、「a＋う」と「o＋う」が「オー」、「i＋う」が「ユー」。

②用言＝動詞・形容詞・形容動詞。助動詞は用言ではない。よって、正解はイ。

③「体言」の上は「連体形」。よって、正解はエ。

④活用形を問われたら、まず下を確認する。「ども」の上は「已然形」。よって、正解はオ。

⑤④と同様に下を確認すると「て」。「て」の上は「連用形」。よって、正解はイ。

⑥活用形を問われた傍線部が文末の場合は、ざっと上を確認して係助詞の有無を確認する。「こそ」があるので「已然形」。よって、正解はオ。

〔解答〕

①ウ　②イ　③エ　④オ　⑤イ　⑥オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　模範解答・解説

〔解説〕

①

A　基本形は「いぬ」。よって、ナ行変格活用。活用形はまず下を見るが、この「し」は未学習のため、現段階ではナ変の「活用の仕方」で考える。「な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね」なので、「いに」は連用形。

B　「ない」をつけると「言**は**ない」となるので、ハ行四段活用。活用形は下を見ると「ける」。「ける」は「けり」が活用した形であるので、連用形。ただし、助動詞は未学習のため、「ける」＝「けり」とわからなかった場合は、四段活用の「活用の仕方」で考えることができる問題。「は・ひ・ふ・ふ・へ・へ」なので、「言ひ」は連用形。

C　「音もせず」＝「音もしない」。「する」か「しない」かの「しない」なので、この「せ」だけだと「する」と考えられる（「ず」＝「ない」）。よって、基本形は「す」のサ行変格活用。活用形は、下を見ると「ず」なので未然形。

D　「ない」をつけると「な**ら**ない」となるので、ラ行四段活用。下の「たる」は「たり」が活用した形であるので、連用形。が、こちらも「たる」＝「たり」がわからなかったのであれば、四段活用の「活用の仕方」から考えられる問題。

E　基本形は「率る」＝「**ゐ**る」で、ワ行上一段活用。「て」の上は連用形。

F　「ない」をつけると「上**ら**ない」となるので、ラ行四段活用。「たり」の上は連用形。

G　「ない」をつけると「行**か**ない」となるので、カ行四段活用。「て」の上は連用形。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

H　「ない」をつけると「迎へない」となるので、ハ行下二段活用。下が「持て来」で用言のため、連用形。

I　基本形は「持て来（く）」でカ行変格活用。下の「に」が未学習のため、現段階ではカ変の「活用の仕方」で考える。「こ・き・く・くる・くれ・こ（よ）」なので、連用形。

②　「ゐ」＝「ゐる」＝上一段活用。選択肢の中で上一段活用はアの「見る」。よって、正解はア。ちなみに他の終止形と活用の種類は、イ「来（く）」＝カ変、ウ「寝（ぬ）」＝下二段活用、エ「す」＝サ変である。

③　「いますがり」はラ行変格活用。ラ変動詞は「あり」「居（を）り」「侍（はべ）り」「いますがり」。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　A　1＝ウ　2＝カ　3＝イ　　B　1＝エ　2＝ア　3＝イ
　　C　1＝イ　2＝カ　3＝ア　　D　1＝オ　2＝ア　3＝イ
　　E　1＝カ　2＝イ　3＝イ　　F　1＝オ　2＝ア　3＝イ
　　G　1＝ア　2＝ア　3＝イ　　H　1＝エ　2＝オ　3＝イ
　　I　1＝ア　2＝カ　3＝イ

②　ア

③　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　模範解答・解説

〔解説〕

① 「心得」は、活用の行（**ア行**）を覚えておくべき動詞。「心**え**ず」＝下二段活用。「て」の上は連用形。

② 空欄の上が「植」なので、終止形＝「植う」の動詞。活用語尾＝活用形を考える。下を見ると「、」なので連用形にする。「植う」も、活用の行（**ワ行**）を覚えておくべき動詞。「植**ゑ**ず」＝下二段活用。よって、連用形は「ゑ」なので、正解はイ。

③ X　文末なので、上をざっと見て係助詞の有無を確認。「ぞ」があるので連体形にする。選択肢の中で連体形は、イかウ。下が助動詞ではないため、正解はイ。

Y　Xと同様に上を確認すると、「こそ」があるので已然形にする。よって、正解はオ。

④ 「ない」という状態で、現代語で「～い」で終わるから形容詞。古語での基本形は「なし」。「なくなる」となるので、ク活用。「けれ」＝「けり」だが、未学習のため「活用の仕方」で考える。「～かり」は連用形。

〔解答〕

① 1　ア　2　オ　3　イ

② イ

③ X　イ　Y　オ

④ f・イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　模範解答・解説

〔解説〕

① 「A〔＝体言〕をB〔＝語幹〕み」は「AがBなので」と訳す。よって、正解はオ。

② 「あやしげなる」は様子であり、「〜なる」なのでナリ活用の形容動詞。下の「に」が未学習のため、「活用の仕方」で考えると「〜なる」は連体形。

③ 文末の空欄補充の問題は係助詞が絡んでいるものが多い。本設問では空欄が「。」の上なので、活用形を素直に考えれば「終止形」か「命令形」になるが、入試問題で活用形を考えるときに文末であれば、「係り結びの法則」が絡んでいることがほとんどである。よって、上をざっと見て「ぞ・なむ・や・か・こそ」の有無を確認してみると「ぞ」がある。したがって、文末は連体形となる。選択肢の中で連体形になっているものはエのみ。よって、正解はエ。

④ ③と同様に上を確認すると、「こそ」があるので文末は已然形となる。選択肢の中で已然形はウのみ。よって、正解はウ。

〔解答〕

① オ
② b・エ
③ エ
④ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　模範解答・解説

〔解説〕

①　「じ」の上は未然形。「来」はカ変動詞。カ変は「こ・き・く・くる・くれ・こ（よ）」と活用するので、正解はア。

②　「～来」はカ変動詞。傍線部下の「べき」＝「べし」で、「べし」の上は終止形である。

③　空欄ａの下が「、」なので連用形にする。選択肢の中で連用形はイかウ。下が助動詞ではないから、正解はイ。

〔解答〕

①　ア

②　Ａ　イ　Ｂ　オ　Ｃ　ウ

③　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　模範解答・解説

〔解説〕

① 上が連用形で、「しか」と活用するのは、過去の助動詞「き」（已然形）。よって、正解はオ。

② 設問は「なりけり」の「けり」なので詠嘆。選択肢イが和歌だと気づけば解けたはず。

③ 上が連用形で、「ぬる」と活用するのは、助動詞「ぬ」（連体形）。下が推量系ではないので、完了のウが正解。

④ 「経（ふ）」は終止形が一文字の動詞、ハ行下二段活用動詞。活用形は下確認。「ぬれ」＝助動詞「ぬ」の已然形。助動詞「ぬ」の接続は連用形なので、傍線部は連用形。よって、正解はエ。

〔解答〕

① オ
② イ
③ ウ
④ エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　模範解答・解説

〔解説〕

① a　上が「やみ」でマ行四段活用の連用形、もしくは下が「と」で上にも係助詞がないことから終止形の「ぬ」。どちらから考えても完了の「ぬ」。よって、イが正解。

b　「ねず」＝「寝ない」。したがって、「寝る」と訳せる「ね」なので、エが正解。

c　「死ぬ」の一部分。よって、ウが正解。

d　上がヤ行上一段活用「射る」なので、未然形か連用形かここだけでは不明。よって、下を確認すると「〜ねば」の形から打消と判断できる。よって、アが正解（したがって、上の「射」は未然形である）。

② 文末で、上に係助詞や疑問副詞がないので、終止形か命令形。上が「返り」でラ行四段活用の連用形であることから、傍線部は完了の助動詞「ぬ」の命令形。よって、正解はカ。

③ 下が「とき」と体言なので、この「ぬ」は連体形。したがって、打消の助動詞「ず」である。よって、正解はウ。

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　i　上が「聞か」でカ行四段活用の未然形なので、打消「ず」の已然形。もしくは、下を確認すると「。」なので、係助詞の有無を上をざっと見て確認。「こそ」があるので、打消「ず」の已然形。

ii　上が「汚れ」でラ行下二段活用のため、未然形か連用形かはここだけでは不明。よって、下を確認する。「べし」なので接続を考えると、この「ぬ」は終止形だとわかる。よって、完了の助動詞「ぬ」だが、さらに細かく意味を考えると、下に推量系「べし」がくっついているので、この「ぬ」は強意のほうがよい。選択肢を見ると強意があるので、これが正解（選択肢に「強意」がなく、「完了」しかなければ、完了が正解になる）。

〔解答〕

①　a　イ　b　エ　c　ウ　d　ア

②　カ

③　ウ

④　i　a　イ　b　オ　ii　a　オ　b　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講　模範解答・解説

〔解説〕

① 助動詞「る」の連体形。上が「思ひ知ら」で心情・知覚動詞なので自発。よって、正解はウ。

② 「仰せらる」の「らる」は尊敬の意味の助動詞（設問では「らる」の連用形）。よって、正解はエ。

③ ａは助動詞「らる」の連用形。上に「ながむ（＝物思いにふける）」と心情動詞があるので、自発。ｂは、上がｅ段で「添ふ」という動詞なので、完了の助動詞「り」。よって、正解はウ。

④ 上がｕ段なので、上からの一語（活用語尾）のはず。下が「ども」なので、傍線部は已然形（の一部）。マ行下二段活用動詞「もとむ」の已然形は「もとむれ」。よって、正解はア。

⑤ 上がｅ段で「生く」という動詞なので、設問の「る」は完了「り」。選択肢で上がｅ段になっているのはウのみ。よって、正解はウ。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ウ　④ ア　⑤ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講　模範解答・解説

〔解説〕

①　上がラ変動詞「あり」の未然形。未然形〔a段〕に付いている「せ」は助動詞「す」。真下が「て」で尊敬語ではないので使役。よって、正解はエ。

②　上が四段活用「聞く」の未然形。未然形〔a段〕に付いている「せ」は助動詞「す」。真下が「奉る」で尊敬語ではないので使役。よって、正解はウ。

③　助動詞「さす」の連用形。下が「給ふ」で尊敬語なので、上もざっと確認。「人に」がないので尊敬。よって、正解はア。

④　「おろかにする」のように「する」と訳せるので、サ変動詞「す」の未然形。よって、正解はエ。

⑤　a　「連用形＋せば〜まし」の「せ」は、過去の助動詞「き」の未然形。よって、正解はエ。

b　「〜せば〜まし」の「まし」は反実仮想。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　エ　②　ウ　③　ア　④　エ　⑤　a　エ　b　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講　模範解答・解説

〔解説〕

① この「ん」＝「む」で「当たらむずる」。「むず」は「む」と「ず」に切らない（助動詞「ず」の上は未然形だが、「む」は未然形ではない）。「むずる」の「る」は、「る」の識別の復習。「る」の上の音がｕ段なので、上からの一語と考えられる。したがって、「むずる」で一語である（助動詞「むず」の連体形）。「当たら」と四段活用の未然形に接続もしているので、「当たら」＋「むずる」である。よって、正解はウ。

② 文中の「む」＝「仮定」か「婉曲」。下が体言ではないので「仮定」から考える。選択肢に「婉曲」がないことからも「仮定」と判断できる。よって、エが正解。

③ この「ん」＝「む」。②同様、文中で下が「ほど」＝体言なので、婉曲。よって、正解はア。

④ 「けめ」＝助動詞「けむ」の已然形（上が「思ひ」でハ行四段活用の連用形。文中に「こそ」があるので、文末は已然形）。よって、過去推量のウが正解。

⑤ 「らん」＝助動詞「らむ」の終止形（上が「おはす」でサ変の終止形。「と」の上で係助詞もなく、傍線部は終止形か命令形。命令形の「らん」など存在しないため、終止形である）。よって、現在推量のオが正解。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ ウ　⑤ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講　模範解答・解説

〔解説〕

①「むずらむ」の品詞分解は頻出。「らむ」がｕ段についているので「らむ」で一語の現在推量の助動詞。「むず」が「むず」で一語か、「む」と「ず」に分かれるかは、講義中にも説明したように、「ず」ならば上が未然形になるが、「む」に未然形は存在しないため「むず」で一語。よって、正解はウ。

②Ａ「らむ」の上がｕ段なので、「らむ」は現在推量の助動詞。「侍る」はラ変の連体形。よって、正解はウ。

Ｂ「らむ」の上がｅ段なので、「らむ」は完了の助動詞「り」＋推量系の助動詞「む」。完了「り」の上にある「敷け」は「り」の接続を考えると、サ変か四段のどちらかで、「敷かない」の四段活用である。よって、正解はイ。

③助動詞「じ」の意味は、打消推量か打消意志。このうち、選択肢には打消推量しかないので、アが正解。

④空欄補充の問題は係助詞絡みが多い。文末なので上を見て係助詞の有無を確認すると、係助詞ではないが、疑問語「いかが」がある。よって、文末は連体形に活用させる。選択肢の中で連体形はウかオ。下が助動詞ではないので、補助活用ではない「べき」になる。よって、⑴はウ、⑵はエ。

⑤選択肢を横に見比べて違いを探し、わかりやすいところから解く。この場合は「べし」（と「む」）の接続と、係り結びの「結びの形」を使うと解きやすい。「候ふ」の活用形が、「連体形」と「終止形」に分かれているが、助動詞「べし」の上は終止形。よって、アとエは削る。（次に、「べし」の活用形が、「未然形」と「連用形」に分かれている。「ん」（＝選択肢から助動詞「む」）の上は未然形。よって、オも削る。）「む」の活用形が、「終止形」と「連体形」に分かれているが、係助詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「や」があるので文末は連体形。よって、正解はウ。ちなみに、解説（　）部分の「む」の接続は飛ばして、「べし」の接続と「結びの形」だけでも正解にたどり着ける。

〔解答〕

①　ウ
②　A　ウ　　B　イ
③　ア
④　(1)　ウ　　(2)　エ
⑤　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講　模範解答・解説

〔解説〕

① 傍線部は、助動詞「なり」の連体形（「ぞ」の結び）。「なる」の上が「聞こゆ」。「聞こゆ」はヤ行下二段活用の終止形。よって、正解はオ。

② 「なり」なので、イ・ウ・エのどれかになる。「なり」の上が「事」＝体言。よって、正解はウ。

③ 伝聞の「なり」＝上が終止形（もしくは、ラ変の連体形）になっているものを探す。そうすると、ウ「うかがふ」が四段活用なので、「終止形」か「連体形」。他の選択肢に「終止形」が明らかにないため、これが正解になる。もちろん文脈判断をしなければいけない時もあるが、いかに早く正解を出すかがポイントなので、焦って文脈判断をする前に、まずは他の選択肢を確認してみることも大事。ちなみに、他の「なり」の詳細は次の講で学習するので、今回は「正解はウ」だとわかればよい。

〔解答〕

① オ
② ウ
③ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十三講　模範解答・解説

〔解説〕

①　a　上が「～に」で「なる」と訳せるので動詞「なる」の連用形。よって、ウが正解。

b　上が「姉」＝体言。よって、断定のアが正解。

c　上が「～か」で「遥か」＝様子・状態。よって、形容動詞「遥かなり」の連体形の活用語尾。オが正解。

d　「～ざなり」の「なり」は伝聞推定の助動詞。よって、イが正解。

②　「なめり」の「な」は断定（連体形「なる」の撥音便無表記）。よって、アが正解。

③　「めり」は推定・婉曲の助動詞。選択肢には婉曲がないので、オの推定が正解。

〔解答〕

①　a　ウ　b　ア　c　オ　d　イ

②　ア

③　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はじめに

「受験古文」の最終目標は、**「初見の古文の文章を辞書なしで読めて、問題が解けること」**です。
そのために必要な三つの要素は、**「文法・単語・読解のルール（古文常識・作品常識含む）」**です。
三つの要素のうち、「文法」と「単語」が古文の土台となるところです。
「古文ができない」、「読めない」という人のほとんどは、この「文法」と「単語」がきちんとできていません。
この講座は、その土台の一つである**「文法」をしっかり身につけるための講座**です。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、実際の大学入試の文法問題も解ける力がつくように構成しています。

他レベルの『文法講座』との大きな違いは、

●各チャプター時間が短時間〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕
●用例ごとの例文が豊富〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕
●問題数が多い〔同じような問題でも、たくさん実施することにより、より記憶に定着させるため。〕
●大事なことは繰り返し説明〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕
●丁寧にじっくり解説〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「じっくり確実に！」**の姿勢で。〕

あとは、テキスト解説部分の文字も大きく読みやすくしています。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

他の文法講座より講数が多いのは、前述（例文・問題数が多いが、じっくり解説）の理由からです。
よって、身に付く内容は「ベーシックレベル」でも、他の文法講座となんら違いはありません。
全24講をきちんと仕上げたとき、大学入試文法問題を解く力はもとより、
大学入試レベルの文章を読むための土台の力も、十分についています！

現時点で「古文なんて、何書いているのかさっぱりわからないから大嫌いだ」という人は、なんの問題もありません。
一番恐ろしい勘違いは、「古文なんて日本語なんだから、勉強しなくてもどうにかなる」と思ってしまうことです。
断言しておきますが、勉強しておかないと、絶対にどうにもなりません。
「古文＝日本語」だと思っている人がいるならば、**「古文＝外国語」**だというくらいイメージを変えましょう。
ただし、**コツさえつかめば**、外国語を学習するよりも**ずっと簡単に、ずっと楽に「点取り科目」にすることができる。**
それが、古文のオイシイところです。

本講座で文法のコツをしっかりをつかんで、是非、古文を得点源の科目にしましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

予習は一切不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に〔**例題**〕や「**問題**」がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、１日で１講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄に自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。

復習が終われば、各講の後ろにある「**復習問題**」を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第十四講　係助詞／間投助詞……p. 5
第十五講　接続助詞／「て」の識別……p. 22
第十六講　格助詞(1)……p. 36
第十七講　格助詞(2)／終助詞……p. 46
第十八講　「ばや」の識別／副助詞……p. 59
第十九講　「し」の識別／「なむ」の識別……p. 69
第二十講　「に」の識別……p. 81
第二十一講　呼応の副詞……p. 92
第二十二講　敬語の種類／(敬語)「本動詞」と「補助動詞」……p. 106
第二十三講　２種類ある「敬語」……p. 121
第二十四講　３種類の「聞こゆ」／敬意の方向……p. 133

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　係助詞／間投助詞

係助詞（ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も）

★係り結びの法則

●ぞ・なむ・や・か↓「　　」形

●こそ↓「　　」形

※「結びの語」＝形を変える部分＝文末

⇩

係助詞の上を確認↓「　　」又は「　　」の部分

その部分が複数の単語で構成されている場合は、

品詞分解をして活用する「　　」の**一単語**のみ。

（例）

夜半（よは）にや君がひとり越ゆらむ

男はこの女をこそ得めと思ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部の係助詞に対応する結びの語を抜き出し、その終止形を書け。

①　さることやありし。

②　ことば多からぬこそ、飽かず向かはまほしけれ。

③　心なむまさりたりける。

④　花こそ咲けれ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「かひ屋が下も蛙（かはづ）鳴くなり」の「『も』の字」とは何助詞か。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　格助詞
イ　間投助詞
ウ　係助詞
エ　接続助詞
オ　副助詞

問三　次の空欄ａ・ｂ・ｃには係助詞が入る。ａ・ｂ・ｃをうめる組合せとして最も適当なものを、後の中から選べ。

起きておさへたる［ａ］、少しやすまる心地する。
「今宵ばかりにて［ｂ］あれ。」
さもあることと［ｃ］思ひけむ。

ア　ａ　こそ　　ｂ　や　　ｃ　か
イ　ａ　こそ　　ｂ　ぞ　　ｃ　や
ウ　ａ　や　　ｂ　ぞ　　ｃ　こそ
エ　ａ　なむ　　ｂ　こそ　　ｃ　や
オ　ａ　なむ　　ｂ　や　　ｃ　か

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　空欄［A］・［B］に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを後の中から選べ。

にほひ［A］少なかりし。

「ここにと［B］は書きたまはめ」

ア　A　ぞ　　B　や
イ　A　ぞ　　B　こそ
ウ　A　こそ　B　こそ
エ　A　こそ　B　や

問五　「これや夢ときの女のもと［A］。」の空欄Aに入る語として適当なものを、次の中から選べ。

ア　なら　イ　なり　ウ　に　エ　なる　オ　なれ

問六　「隆家こそいみじき骨を得て［A］。」の空欄Aに入る最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　はべら　イ　はべり　ウ　はべれ　エ　はべる　オ　はべろ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「学文して花実ならび進まんこそよかる［A］」の空欄Aにふさわしいように、助動詞「べし」を正しい活用形にして記せ。

問八　次の空欄Aには「あり」、空欄Bには「む」を活用させた語が入る。それぞれ適切に活用させて、記せ。

清水に二千度参りたることのみなむ［A］。

「書きて渡さばこそ、受け取ら［B］」と…

A＝　　　　B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「**意味**」

●ぞ・なむ・こそ→「　　　」

※訳出不要

（例）鳥こそ鳴け。

〈訳〉「鳥　　　」

●や・か→「　　　（＝〜か）」もしくは、「　　　（＝〜か、いや、〜ない）」

※「疑問」か「反語」のどちらかは、**文脈判断**が必要。

目安として、
後ろに答えが**有**＝「　　　」
後ろに答えが**無**＝「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）（羽根という場所に来たときに、幼い子供が）「羽根といふ所は、鳥の羽のやうにやある。」と言ふ。
まだをさなき童の言なれば、人々笑ふ…

※「　　・　　」＝**反語**が多い。

（例）（かぐや姫が月に帰り、会えなくなってしまった帝が詠んだ和歌の下の句）
死なぬ薬も何にかはせむ

※「　　語」＋「や・か」＝**反語**が多い。

（例）憂き世に何か久しかるべき。

※「〜　　」・「〜　　」＝**反語**。（**和歌**で多用）

（例）わが恋を人知るらめや。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「春来てぞ人も訪ひける」の傍線部は助詞だが、その文法的意味として正しいものを次の中から選べ。

ア　断定　　イ　強意　　ウ　禁止　　エ　疑問　　オ　反語

問十　「いづこの御いらへかはあらむ」の現代語訳として正しいものを、次の中から選べ。

ア　どのように御返事申し上げようか
イ　どなたに御返事したらよいか
ウ　もちろん御返事などあるわけがない
エ　どうしてこんな御返事をなさるのだろう

問十一　「落とさせたまはんやは」とは、どのような意味か。最適なものを次の中から選べ。

ア　お落としになりそうだった。
イ　お落としになるはずがあろうか。
ウ　お落としにならないのであろうか。
エ　お落としになるのはよくないことだ。
オ　お落としになってもよかったのではないか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「結びの省略」→係助詞の「　　」の**一文字**確認

●**に**＋{ぞ／なむ}、。→「　　」を補う

●**に**＋{や／か}、。→「　　」を補う

●**に**＋こそ、。→「　・　」を補う

●**と**＋係助詞、。→「（　）・（　）」を補う

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「参ればにや」の後に補う語句として最適なものを、次の中から選べ。

ア　あらむ　　イ　あらめ　　ウ　ありけり　　エ　ありけれ

問十三　「いづくにか」の後に省略されているものを、次の中から選べ。

ア　来める　　イ　あらん　　ウ　参らばや　　エ　あらじ　　オ　多かりし

問十四　「昔の契りも深くこそ。」の後に語を補う場合、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あり　　イ　ある　　ウ　あらむ　　エ　あらめ　　オ　ありけり

★「結びの流れ（消失・消滅）」

本来結びとなる語に、接続助詞などが付いて、結びがなくなり先へ続いていくこと。

（例）たとひ耳鼻**こそ**切れ失すとも、命ばかりはなどて生きざらむ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十五　次の各傍線部「こそ」の説明として、最も適当と思われるものを、後の中からそれぞれ選べ。

「よろづのこと、さまに従ひて こそ[1] めやすけれ。〈中略〉御声 こそ[2] 惜しみ給ふとも、少しけ近くだに「こそ[3]」などいさめ聞こえ給へど…

ア　係りに対して正しく結ばれ、強調文として終止する。
イ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として逆接的に下に続く。
ウ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として反語の表現となる。
エ　係りに対して結びが流れ、強調文として終止する。
オ　係りに対して結びが流れ、強調文として逆接的に下に続く。
カ　係りに対して結びが流れ、強調文として反語の表現となる。
キ　係りだけで、その部分を強調提示する。
ク　係りだけで、言外に逆接的な意味を暗示する。

1 ＝
2 ＝
3 ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十六　次のＡ～Ｄの傍線部「こそ」の結びの説明として、最も適当と思われるものを、後の中からそれぞれ選べ。同じ記号を複数回使ってもよい。

さしむかひたる歌ども取る こそ（Ａ）、かへすがへすさまあしく候へ。
（当世の歌を〈まねて言葉を〉取るのは、本当にみっともないことです。）

ことばをやさしくとりなしてよめと こそ（Ｂ）候ひしを、口にまかせて、人まねうちして、…
（言葉を優美に取り扱って詠めとございましたのに、口にまかせて、人真似などをして、…）

歌のすがたもみな変り候ふに こそ（Ｃ）。
（歌の姿もみな変わっていくのです。）

やさしき心ことばを こそ（Ｄ）、今の世にも上手とおぼゆる人々は、このみよみあはれ候ふめれば、むかし今、かはるべきにもあらず。
（優雅な心や言葉を、現代でも歌の名人と思われる人々は、好んで詠みあっていらっしゃるようですので、昔も今も、変わるはずのものではない。）

ア　活用する語の終止形で終止している。
イ　活用する語の連体形で終止している。
ウ　活用する語の已然形で終止している。
エ　結びの語、あるいはそれを含む文節全体が、文中にあらわれていない（結びの省略）
オ　結びの語で文が終わらず、接続助詞を伴って続いているため、係り結びが成立していない（結びの流れ）

Ａ＝　　Ｂ＝　　Ｃ＝　　Ｄ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「逆接強調法」

「**文中**」の「こそ…已然形、〜」→　訳出の時に「…　　　　　　、〜」などの「　　　　　　」を補う。

（例）中垣**こそ**あれ、一つ家のやうなれば、…
（仕切りの垣根はある　　　　　、一つの家のようであるので、…）

★「危惧の用法」

●**もぞ**
●**もこそ**
｝＝「〜したら　　　　・　　　　」と訳す

（例）雨も**ぞ**降る。
（　　　　　　　　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十七　「顕証にて出でひろめかばこそはあらめ、さるべきかくれ…」の傍線部の解釈として、最適なものを次の中から選べ。

ア　人目に付くほど出歩いたりすることもあるだろうし
イ　人目に付くほど出歩いたりすれば差し障りがあろうが
ウ　人目に付くほど出歩いたりすれば困ったことになるので
エ　人目に付くほど出歩いたりすることはないだろうから

問十八　「人もこそ聞け」の解釈として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　人に聞かれたら困ったことだ
イ　人に聞かれてしまうかもしれない
ウ　人に聞かれることはあるまい
エ　人に聞かれてもかまうことはない
オ　人に聞かれるとどうしようもない

問十九　「けしからぬ者などはのぞきもぞする。」の傍線部の現代語訳として最もふさわしいものを、次の中から選べ。

ア　排除しかねます
イ　のぞくこともあります
ウ　排除などできるでしょうか
エ　のぞき見したら困る
オ　排除するでしょうか、いやしません

間投助詞（や・よ・を・こそ）

★「こそ」の意味

①　呼びかけ（～さん）
「人物**こそ**。」

（例）「右近の君**こそ**、まづ物見給へ。」

★「や」・「よ」・「を」の意味

①　詠嘆（～なあ）
②　強調（訳出不要）
③　呼びかけ（～よ）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講

①「子持ちてこそ、親の心ざしは思ひ知る［A］。」の空欄Aに入る語として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　なり　　イ　らむ　　ウ　なれ　　エ　べし

②次の空欄［A］に当てはまる語として最も適当なものを、後の中から選べ。

世人、「長面進士」とぞいひ［A］。

ア　けり　　イ　ける　　ウ　けれ　　エ　き

③「劣りてやはある」の「や」の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　当然　　イ　推量　　ウ　強意　　エ　反語

④「左衛門の陣などの方にや」の後に補う言葉として最適なものを、次の中から選べ。

ア　ありけむ　　イ　ありけめ　　ウ　あるべし　　エ　あれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「袖をひろぐるわざをし侍るにこそとうち思ひて…」の傍線の係助詞「こそ」は結びが省略されている。補うべき語句として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　あらめ　　イ　あはれめ　　ウ　つつめ　　エ　ながめ　　オ　ならめ

⑥「殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ、ただひとところ帰りたまふに、…」の傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるので
イ　屋敷の中までも人を大勢連れてお歩きになれば
ウ　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きにならなければ
エ　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに
オ　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きください

⑦「思ひもぞつくとて、この女を…」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　女は一途な思いなど実はないのだろうと
イ　親の思いも無視するだろうと
ウ　若い男の思いもその時かぎりだろうと
エ　きっと女の策略だと思って
オ　女に対する思いが強くなると困ると思って

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　接続助詞／「て」の識別

接続助詞（ば・とも・ど・ども・て・で・つつ・に・を・ながら・ものの・ものから・ものゆゑ・ものを・が・して）

★**順接**＝前に述べたことが、予想通りに後ろの内容に続いていく表現形式。

（例）熱がある**ので**、学校を休んだ。

★**逆接**＝前に述べたことに対して、予想外の結果がくる表現形式。

（例）熱がある**けれど**、学校に行く。

★**確定**条件＝既に成立していること。
「順接」＝～ので・～ところ・～といつも
「逆接」＝～けれど

★**仮定**条件＝「仮に成立したら」と決めて、後ろに続ける。
「順接」＝もし～ならば
「逆接」＝たとえ～としても

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「**ば**」**の用法**＝「　接」

●「　形」＋ば＝　条件

（　　〜　　）

（例）出でていな**ば**誰(たれ)か別れの難(かた)からむ

●「　形」＋ば＝　条件

- 原因・理由＝（　・　）
- 偶然＝（　・　）
- 恒常＝（　）

（例）時世(ときよ)経て久しくなりにけれ**ば**、その人の名忘れにけり。

天の原ふりさけ見れ**ば**春日なる三笠の山に出でし月かも

翁、心地あしく苦しき時も、この子を見れ**ば**苦しきこともやみぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「あればこそ」の文法的説明として適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「あり」の未然形＋逆接確定を表す接続助詞「ば」＋詠嘆の間投助詞「こそ」
イ　動詞「あり」の未然形＋順接仮定条件を表す接続助詞「ば」＋強意の係助詞「こそ」
ウ　動詞「あり」の已然形＋順接仮定条件を表す接続助詞「ば」＋強意の係助詞「こそ」
エ　動詞「あり」の已然形＋順接確定条件を表す接続助詞「ば」＋強意の係助詞「こそ」
オ　動詞「あり」の未然形＋順接確定条件を表す接続助詞「ば」＋強意の副助詞「こそ」

問二　「知らぬどちも、心静かに求(と)めゆかば、…」の傍線部の意味として、最適なものを次の中から選べ。

ア　知らない者同士であっても、心静かに互いを理解したので
イ　教養がない人たちでも、落ち着いて物事を考えたので
ウ　無知な人たちでも、もし冷静に道を求めてゆくならば

問三　「人げなくおぼえなどせしかば、いかにせましと思ふ折々もあれど」の解釈として、最適なものを次の中から選べ。

ア　もし自分が相手にされていなかったら、どうしようかと考えたことも時々ありましたが
イ　もし自分が相手にされていなかったとしても、何とかしたいと考えたことが時々ありましたが
ウ　自分が相手にされていないように思われたりしたので、どうしようかと考えたことも時々ありましたが
エ　自分が相手にされていないように思われたりして、何とかしなければと考えたことも時々ありましたが

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部「ば」の文法的説明として、最も適当なものを後の中から選べ。

「いづらやいづら」とてはしり出でて見給へば、藍摺（あゐずり）の直垂（ひたたれ）に折烏帽子（えぼし）着たる男、縁（えん）に寄りゐたる…

ア　確定条件で、「ば」の前後の事態が偶然の関係で結ばれている。
イ　仮定条件で、「ば」の前後の事態が偶然の関係で結ばれている。
ウ　確定条件で、「ば」の前後の事態が原因・理由と結果の関係で結ばれている。
エ　仮定条件で、「ば」の前後の事態が原因・理由と結果の関係で結ばれている。
オ　仮定条件で、「ば」の前後の事態が常にそうなる関係で結ばれている。

問五　次の傍線部「ば」と意味用法が同じものを、後の中から選べ。

大江山いくのの道の遠ければまだふみも見ず天の橋立

ア　柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺
イ　いと幼ければ籠に入れて養ふ
ウ　そのこと果てなばとく帰るべし
エ　名をばさぬきのみやつことなむ言ひける
オ　花咲かばうれしからまし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「とも」の用法＝「　　接」

「　　形」＋とも＝　　条件（　　　〜　　　）

（例）今は逃ぐ**とも**、よも逃がさじ。

★「ど・ども」の用法＝「　　接」

「　　形」＋ど・ども＝　　条件

（例）（男は、自分の両親が女を追い出すので）血の涙を流せ**ども**、とどむるよしなし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　「尋ぬともあらじ」の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　ナ行下二段活用動詞の終止形＋順接の接続助詞＋ラ行変格活用動詞の連用形＋過去推量の助動詞の終止形
イ　ナ行下二段活用動詞の終止形＋逆接の接続助詞＋ラ行変格活用動詞の連用形＋打消意志の助動詞の終止形
ウ　ナ行下二段活用動詞の終止形＋逆接の接続助詞＋ラ行変格活用動詞の未然形＋打消推量の助動詞の終止形
エ　ナ行下二段活用動詞の連体形＋順接の接続助詞＋ラ行変格活用動詞の未然形＋禁止の助動詞の終止形
オ　ナ行下二段活用動詞の連体形＋逆接の接続助詞＋ラ行変格活用動詞の連用形＋打消当然の助動詞の終止形

問七　次の空欄Ａ・Ｂには接続助詞が入る。Ａ・Ｂをうめる組合せとして最も適当なものを、後の中から選べ。

「大弐（だいに）の居所ははるかなれ［Ａ］、楼の上の瓦などの、心にもあらず御覧じやられけるに、またいと近く観音寺といふ寺のありけれ［Ｂ］、鐘の声を聞こしめして、…」

ア　ども・ば
イ　ば・ども
ウ　ども・とも
エ　ば・とも
オ　とも・ば

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「て」の用法＝単純接続

「　形」＋て

★「で」の用法＝「　」接続（～　）

「　形」＋で

（例）鬼ある所とも知らで、…

問八　次の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、後の中から選べ。

御心にも入らせ給はで、かの女のかたをしきりに御覧ずれば、…

ア　動詞の活用語尾　　イ　打消の助動詞　　ウ　打消の接続助詞

エ　順接の接続助詞　　オ　同格の格助詞

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「見せで」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　見せて　　イ　見せられて　　ウ　見えず
エ　見せないで　　オ　見えて

★「つつ」の用法＝①反復（〜ては）　②継続（〜し続けて）

「　　形」＋つつ

（例）女はこの男をと思ひ**つつ**、親のあはすれども、聞かでなむありける。
（親が他の人と結婚させる）

問十　「物入れつ、参らするを」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　何か物を入れては差し上げていますのに
イ　何か物を入れて召し上がっていますのに
ウ　何か物を入れながら参上なさいますのに
エ　何か物をお入れしながら伺わせますのに
オ　何か物をお入れ申し上げなさいますのに

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「に」・「を」の用法**＝①**順接**（**～ので・から**）
②**逆接**（**～のに・けれど**）
③**単純接続**（**～ところ・と**）

「　　形」＋に・を

（例）
あやしがりて寄りて見る**に**、筒の中光りたり。
このことを嘆く**に**、ひげも白く、腰もかがまり…
人も手を触れぬ**に**、ふと上ざまへ上がりたるも、いみじうをかし。

★**「ながら」の用法**＝①逆接（～**のに**）
②同時（～**ながら**）
③**そのまま**
④**全部、～中**　※「数量＋**ながら**」の形が多い

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十一　次の傍線部の訳を、後の中からそれぞれ選べ。

①　身はいやしながら、母なむ宮（＝皇族）なりける。

②　すべて折につけつつ一年ながらをかし。

③　涙にむせびながら申すやう…

④　「こなたに入り給へ」と、御簾の内ながらのたまふ。

ア　～のに
イ　～ながら
ウ　～のまま
エ　全部、～中

①＝　②＝　③＝　④＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**もの**系〈＝ものの・ものから・ものゆゑ・ものを〉＝「　　接」

「　　形」＋もの系

＊「ものの」以外は順接の働きもある。

＊「ものを」＝**文末**にあれば、**詠嘆の終助詞**として「**〜のになあ**」と訳す。

（例）

口惜しく心憂き**ものから**、すこしほほ笑まれて…

白玉か何ぞと人の問ひしとき露と答へて消えなまし**ものを**

（「真珠ですか、何ですか」とあの人が尋ねたときに、「露です」と答えて、消えて〔＝死んで〕しまったならばよかった　　）

問十二　「木の皮、苔の衣を着て、言ふばかりなきものから、ただの人に見えず。」の傍線部の解釈として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　言葉で説明するまでもない簡素な装いだったので
イ　言葉にできないくらいひどい身なりであったが
ウ　言葉に表せないくらい高貴な雰囲気があったので

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「て」の識別

【識別対象】

１　接続助詞「て」
２　完了の助動詞「つ」の「　　形」か「　　形」

★〈見分け方〉＝「　　」に「　　」が**有る**か**無い**かを確認。
（＊**１、２**ともに、上は必ず「　　形」である）

１　「　　」＝接続助詞「て」
（例）置き**て**逃げ**て**来ぬ。

２　「　　」＝完了の助動詞「つ」
※例外　「**て**ば」「**て**ばや」の「**て**」は「　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

大井河にながしてけり。

信濃なる筑摩(ちぐま)の川の細石(さざれし)も君し踏みてば玉と拾はむ

問十三　「御覧じてけり。」の品詞構成の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞＋助動詞＋助動詞
イ　動詞＋助動詞＋助詞
ウ　動詞＋助詞＋助動詞
エ　名詞＋動詞＋助動詞＋助動詞
オ　名詞＋動詞＋助詞＋助動詞
カ　名詞＋動詞＋助動詞＋助詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十五講

①　次のア～オに含まれる「ば」の中で、他と異なる用法のものを一つ選べ。

ア　のたまはすれば　　イ　明けぬれば　　ウ　近ければ　　エ　あらば　　オ　聞こゆれば

②　「ものも言ふで帰りぬ。」の「言ふ」の活用形として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　言は　　イ　言ひ　　ウ　言ふ　　エ　言へ

③　「（銀貨を）六つながら夫妻に給はりけり」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ずつ　　イ　ならば　　ウ　だとしても　　エ　すべて

④　次の傍線部の中から、他と異なるものを一つ選べ。

ア　みそかに姉君をかたらひてむと思ひ…

イ　突き殺してば、いかがせまし。

ウ　へそのしもを突きてけり。

エ　うれしき心地して歩むに、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　格助詞(1)

格助詞（が・の・を・に・へ・と・より・から・して・にて）

★接続

「　　」もしくは「　　形」に付く

★働き

格助詞が付いている語（上の語）が、他（下）の語とどんな関係になるかを示す。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「の」の用法

① **主格**（＝〜　　）

体言の…用言

（例）僧**の**言ふ。

② **連体（修飾）格**（＝〜　　）

体言の…体言

（例）月**の**光、風**の**音、…

③ **同格**（＝〜　　）

体言の……［　　形］〜〜〜　。

（例）白き花**の**小さきあり。

いと清げなる僧**の**、黄なる地の袈裟着たるが来て、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　**準体格**（＝〜　　　　）

（例）四条大納言**の**はめでたく、…

⑤　**連用（修飾）格**（＝〜　　　　）

●「　　」中の「の」で「〜　　　　」と訳せる。

（例）山鳥の尾のしだり尾**の**ながながし夜(よ)を…

●「　　」の「の」　　＊ただし、例の体言

（例）例**の**集まりぬ。

＊例の人

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「が」の用法

「の」と同じ。ただし、**「が」には「連用（修飾）格」の用法はない。**

（例）　我**が**庵(いほ)は…

いかなれば、四条大納言のはめでたく、兼久**が**は悪かるべきぞ。

※同格の「が」

[連体形]**が**……[連体形]〜〜〜。　→　各[連体形]の下に**同じ体言**が補えて文意が通じる。

（例）　いとやむごとなき際にはあら[ぬ]**が**、すぐれて時めき[給ふ]ありけり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

①　草の花はなでしこ。唐（から）のはさらなり、大和のはいとめでたし。
②　いかなる人の御馬ぞ。
③　瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ
④　人の描かする仏もおはしけり。
⑤　中頃、年高き尼の、さすがに人に知られて乞食（こつじき）しありくあり。

ア　主格　　イ　連体格　　ウ　同格　　エ　準体格　　オ　連用格

①＝　　②＝　　③＝　　④＝　　⑤＝

問二　「十六七ばかりなる小童（こわらは）のいとさかしきが侍りけり。」の傍線部と文法的に同じ用法のものを、次の中から選べ。

ア　男の着たりける狩衣（かりぎぬ）の裾（すそ）を切りて、歌を書きてやる。
イ　女の＊え得まじかりけるを、年をへて、夜這（よば）ひわたりける…
ウ　日暮るるほど、例の集まりぬ。
エ　業平の歌は、その心あまりて詞たらず。
オ　万葉集に入らぬ歌、みづからのをも奉らしめ給ひて、

注　え～まじかり＝～できない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部Ａ～Ｅの「の」の意味・用法として、最も適切なものを後の中から一つ選べ。

官めきたる女房のＡおとなしきが所作するあり。
よに御輿（みこし）のＢさま気高くて、宝前へ入らせおはします。
太政入道殿のＣ左衛門督など申ししころのＤ面影も通ひ給ふ心地して…
「奈良のＥ方よりにてさぶらふ」と申す。

ア　Ａ　同格　　Ｂ　連体修飾格　　Ｃ　連体修飾格　　Ｄ　主格　　Ｅ　連体修飾格
イ　Ａ　同格　　Ｂ　連体修飾格　　Ｃ　主格　　Ｄ　連体修飾格　　Ｅ　連体修飾格
ウ　Ａ　連体修飾格　　Ｂ　連体修飾格　　Ｃ　主格　　Ｄ　同格　　Ｅ　主格
エ　Ａ　同格　　Ｂ　連体修飾格　　Ｃ　連体修飾格　　Ｄ　連体修飾格　　Ｅ　主格
オ　Ａ　連体修飾格　　Ｂ　同格　　Ｃ　主格　　Ｄ　連体修飾格　　Ｅ　連体修飾格

問四　次の傍線部と同じ用法として最も適当なものを、後の中から選べ。

かたくなる人の、その道知らぬは、そぞろに神のごとくに言へども、道知れる人は更に信もおこさず。

ア　おほくの工の心をつくしてみがきたて…
イ　老いたる尼の、行きつれたりけるが、道すがら「くさめくさめ」と言ひもてゆきければ…
ウ　此の国の博士どものかける物も、いにしへのあはれなる事おほかり。
エ　北の方の日ごろはそら知らずして、この夜中ばかり、「～」とむつかり給ひつれば、…

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部ａ～ｃの「の」の用法として最も適当なものを、それぞれ後の中から一つずつ選べ。

こ[a]の歌また、万葉集の第十二巻の歌なり。
「をかしくいはむとて、万葉集の歌[b]のさもありぬべきをいはせたるにもやあらむ」と…
大納言なりける人[c]の帝に*奉らむとて*かしづきける女を、…

注　奉らむ…ここでは「差し上げよう」の意味。
かしづく…大切に育てる。

ア　主格　　イ　連体格　　ウ　同格　　エ　準体格　　オ　連用格

ａ＝　　ｂ＝　　ｃ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部「が」と同じ用法の「が」を含む文を、後の中から選べ。

＊僧坊ども多し。かの室（しつ）へ入（い）りて、「ここにて法師が様（やう）見給へ」と云ふ。

　注　僧坊…寺院に付属して建てられている、僧侶が住む建物。

ア　親、はらからの中にても、思はるる思はれぬがあるぞいとわびしきや。

イ　この歌はある人のいはく、大友の黒主がなり。

ウ　めでたくは書きて候ふが、難少々候ふ。

エ　わが庵（いほ）は都のたつみしかぞ住む世を宇治山と人はいふなり

オ　いとやむごとなき際（きは）にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講

① 「よろづの虫の、恐ろしげなるを取り集めて、…」の傍線部の格助詞「の」と同じ用法の「の」を、次の中から一つ選べ。

ア　この姫君ののたまふこと

イ　男の童の、ものおぢせず、いふかひなきを召し寄せて、

ウ　箱の虫どもを取らせ、

エ　よろづのもとどもをたづねて、

② 次の傍線部の「の」の用法を、後の中からそれぞれ選べ（同じ記号を何度用いてもよい）。

a　怪（け）と人の申すことどもの、…

b　前（さき）の一条院の御即位の日、…

c　髪つきたるものの頭（かしら）の、血うちつきたるを見つけたりける、あさましく、…

d　かばかりのことを隠すべきかとて、…

ア　主格　　イ　連体格　　ウ　同格　　エ　準体格　　オ　連用格

a＝　　b＝　　c＝　　d＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、後の中から選べ。

世をすてたる人のよろづに＊するすみなるが、＊ほだし多かる人の望みふかきを見て、むげに＊思ひくたすは＊ひがことなり。

注　するすみ…無一物の身。
　　ほだし多かる人…ここでは「家族が多い人」の意味。
　　思ひくたす…軽蔑する。
　　ひがこと…間違い。

ア　主格　　イ　同格　　ウ　連体修飾格　　エ　体言の代用

④　次の傍線部の用法として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

青き織物の衣を着て、錦を頭にもかづき、足にもはいたる僧のａ、別当とおぼしきが寄り来て、「…女はこの男をと思ひつつ、親のｂあはすれども聞かでなむありける。

惟喬の親王例のｃ狩しにおはします供に、馬の頭なるおきな仕うまつれり。

ア　主格　　イ　連体格　　ウ　同格　　エ　準体格　　オ　連用格

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　格助詞(2)／終助詞

★「して」の重要な３つの訳

①　手段（＝～　　　　　）

（例）　筆**して**書く。

②　共同（＝～　　　　　）

（例）　友とする人、ひとりふたり**して**行きけり。

③　使役の対象（＝～　　　　　）

（例）　人**して**、惟光召させて…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

①　御使ひ<u>して</u>申させ給ふ。

②　長き爪<u>して</u>眼をつかみつぶさむ。

③　むつまじき四五人ばかり<u>して</u>、まだ暁におはす。

ア　手段　　イ　共同　　ウ　使役の対象

①＝　　②＝　　③＝

★「より」の重要な3つの訳

①　経由（＝～　　　　）

起点（＝～から）で訳せた時、注意！

（例）　木(こ)の間**より**洩り来る月の影

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②　即時（＝〜　　　・〜　　　）

「　　形」＋より→「即時」から考える。

（例）名を聞く**より**、やがて面影は推しはからるる心地するを…。

③　手段・方法（＝〜　　　）

「　　手段・　　手段」が多い。

※「かちより【　　より】」（＝徒歩　　）

（例）ただ一人、かち**より**、詣でけり。

問二　「『切り殺さるるか』と思ふより、手足もなえてはふはふ逃げて…」の傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　思い始めると　　イ　思ったとたんに　　ウ　思うどころではなく　　エ　思いに増して

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「にて」の用法

①場所
②時刻・年齢
③手段・方法
④原因・理由
⑤材料
⑥**資格・状態（～として・～で）**

（例）ただ人**にて**おほやけの御後ろ見をするなむ、行くさきも頼もしげなること…

★「にて」の識別

体言・連体形＋にて
＝「～であって」→断定「なり」㊐＋接続助詞「て」
＝「~~～であって~~」→格助詞「にて」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

終助詞

【　　　】**ばや・てしがな・にしがな／なむ**／もが・**もがな**・がな
【　　　】**かし**
【　　　】**そ・な**
【　　　】**かも・かな**・か・も・な・は・**や**

★「願望」

〈　　　願望〉＝～たい
「　　　形」＋**ばや**
（例）ちと承ら**ばや**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「形」＋{てしがな／にしがな}

（例）かぐや姫を得**てしがな**、見**てしがな**。

〈願望（＝**あつらえ**）〉＝〜てほしい

「形」＋**なむ**

（例）雨も降ら**なむ**。

〈**状態願望**〉＝〜があればなあ・〜がいればなあ・〜であればなあ

種々の語＋{もが／**もがな**／がな}

（例）心あらん友**もがな**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「はぎ取らばや」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　はぎ取ってやろう　　　イ　はぎ取りたいものだ
ウ　はぎ取れるだろうか　　エ　はぎ取れるはずがない

問四　次の傍線部の解釈として最も適当なものを、後の中から選べ。

すみぞめのくらまの山に入る人はたどるたどる<u>もかへり来ななむ</u>

ア　どうにかして帰ってこられないものでしょうか
イ　帰ってこないのが無性に悲しいのです
ウ　どうして帰ってこないのでしょうか
エ　ぜひ帰ってきてほしいのです
オ　なんとかして帰ってきなさい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、後の中から選べ。

「大納言殿に知らせたてまつらばや」と言ひかくれば…

ア　お知らせしたい
イ　お知らせしたら
ウ　知っていただきたい
エ　知らせて差し上げてよ
オ　知らせなさったとしたら

問六　「この人の御ために残しおく魂もがな。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　魂を留め置いてもなあ
イ　魂を留め置けたらなあ
ウ　魂を留め置いてやろうかなあ
エ　魂を留め置けるはずもないよなあ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「念押し」＝「　　・　　」

※「**ぞかし**」（＝〜だよ・〜だね）の形で多く用いる。

（例）

いま一度起こせ**かし**。

なかりし**ぞかし**。

問七　「別なるぞかし」の傍線部の意味は何ですか。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　同意　　イ　疑問　　ウ　念押し　　エ　反語　　オ　伝聞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「禁止」**＝～するな

※「　　」～**そ**（＝～してくれるな）

（例）な起こし**そ**。

問八　「もの知らぬこと［x］のたまひ［y］」が禁止を意味するように、［x］と［y］に適切なひらがなを一字ずつ書け。

x＝

y＝

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十七講

① 「返りごとは、おとなしき人して書かせてあり」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　手段（～で）
イ　共同（～と共に）
ウ　使役の対象（～に命じて）
エ　即時（～がすぐに）

② 「徒歩よりまうでけり。」の傍線部と同じ用法のものを次の中から選べ。

ア　神代より　吉野の宮に　あり通ひ
イ　つぎねふ　山城路を　人夫の　馬より行くに
ウ　我よりも　貧しき人の　父母は　飢ゑ寒ゆらむ
エ　家づとに　貝を拾ふと　沖辺より　寄せ来る波に　衣手ぬれぬ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部の解釈として最も適当なものを、後の中から選べ。

「妾（わらは）が兄弟どもを集めて搦（から）めばや」とぞ申しける。

ア　捕らえたいものです
イ　捕らえられるものではありません
ウ　捕らえられないことがあります
エ　捕らえてほしいものです
オ　捕らえることはできませんか

④　「いつしか梅咲かなむ」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　早く梅の花が咲いてほしい
イ　いつになったら梅の花が咲くのだろうか
ウ　いつかはきっと梅の花が咲くだろう
エ　梅の花は毎年咲くに違いない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　「ひとことなおとし［A］」の空欄Ａには、禁止の意味を表す終助詞が入る。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　ばや　　イ　そ　　ウ　なむ

エ　かし　　オ　ぞ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　「ばや」の識別／副助詞

「ばや」の識別

【識別対象】

１「　　　　」の終助詞「ばや」

２　接続助詞「ば」＋係助詞「や」

★**〈見分け方〉**

１「　　形」＋ばや（　　　）＝自己願望の終助詞「ばや」

（例）いましばしもあら**ばや**。

２「　　形」＋㋩㋳（　　　）＝接続助詞「ば」**仮定**条件＋係助詞「や」

（例）八千夜し寝**ばや**あく時のあらむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　「形」＋ばや＝接続助詞「ば」**確定**条件＋係助詞「や」

（例）　月の桂も秋はなほもみぢすれば**ばや**照りまさるらむ

問一　次の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

①　思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを

②　この精進のついでに賀茂へも参らばやと思ふに、かやうにくたびれ…

③　心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花

ア　自己願望の終助詞

イ　順接仮定条件の接続助詞＋係助詞

ウ　順接確定条件の接続助詞＋係助詞

①＝　　　②＝　　　③＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

副助詞（だに・すら・さへ・し・のみ・ばかり・など・まで）

★「だに・すら・さへ」の用法

副助詞	用法
※だに すら	類推（〜　　　）
さへ	添加（〜　　　）

※**「だに」**には**限定用法**（＝　　　〜　　　）もある。

（例）

（帥殿〔＝伊周(これちか)〕は）的のあたりに**だに**近く寄らず、無辺世界を射給へるに…。

鬼ある所とも知らで、神〔＝雷〕**さへ**いといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「類推」の構文

A	（サエ）**だに** **すら**	B
「（　　）」		
C	はなおさら	

（例）ここぞ関屋の跡とばかりいへど、
この頃は、荒れたる板屋**だに**なく、まいて守る人もなかりき。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「だに」の意味の見分け方〉＝「　　」を見る。

だに＋～「　　　　」・「　　　　」・「　　　　」・「　　　　」

⇨ **限定用法**

（例）

苔の袂よかわき**だに**せよ。

見てけりと**だに**知られむと思ひて、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の解釈として最も適当なものを、後の中から選べ。

あはれなる御遺言ども多かりけれど、女のまねぶべき事にしあらねば、この片端だにかたはら痛し。

ア　遺言は、女の私が理解することができない内容だったので、少し聞いただけで興味を失ってしまった

イ　遺言が、女が聞いて人に伝えてよい性質のものであったならば、全てを詳しく書けたのにと残念に思う

ウ　女の私は、これまで漢字を学ぶ機会がなかったので、遺言の一部分しか理解できなかったのが悔しい

エ　遺言は、女の私が聞いて人に伝えるようなものではないので、こうして少し書くことさえも気がとがめる

オ　仮に私が女で、漢字を学んでいなかったならば、遺言がわからないふりができたのにと悔やまれる

問三　「今日だに日もとく暮れなむ」の現代語訳として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　きっと今日だけは日も早く暮れるだろう

イ　おそらく今日は日も早く暮れるだろう

ウ　その上今日までも日も早く暮れてほしい

エ　せめて今日だけでも日も早く暮れてほしい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「もの一言をだに言はむ」の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　さらに何か一言を言わせてください
イ　今ごろ何か一言を言っているだろう
ウ　せめて何か一言だけでも言ってやろう
エ　かつて何か一言だけ言ったことがあった
オ　そのうち何か一言を言うことがあるだろう

問五　「とぶらはむと言ひし人さへ、かのわたり近く来ゐて待つなれば」の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　お見舞いしますと伝えた人なのに、病気をおしてこちらに近い所に来て待つということなので、
イ　弔問に行くだろうと伝えてきた人でさえ、まだ桂の近くで待っている状態であるから、
ウ　桂の邸に来たいと言っていた人が、そのすぐ近くに来るので滞在して待つ予定だから、
エ　こちらから訪ねようと言っておいた人まで、桂の邸の近くまで来て待っているそうなので、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「し」の用法＝「　　」⬇訳不要！

①「**し**　　」・「**し**　　」

（例）さびしさはその色と**し**もなかりけり

②「A**し**Bば」

（例）名に**し**負はばいざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと

③「Vと**し**V」　※同じV

（例）ありと**し**ある人はみな…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十八講

①「父母のために諸国の観音にも参詣（さんけい）せばやと存ずるなり。」の傍線部の助詞の種類を、次の中から選べ。

ア　格助詞　　イ　接続助詞＋係助詞
ウ　係助詞　　エ　副助詞＋係助詞
オ　終助詞

②「もとよりあやしきものの影だに見えず」の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　以前から不思議な者の姿だけは見えない
イ　もちろん不審な者の姿さえ見えない
ウ　最初からおかしなことに何も見えない
エ　もともと灯火のぼんやりした明かりしか見えない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「いとどかきくらす涙の雨さへ降り添ひて、…」の傍線部に関する説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　最低限、涙の雨だけでもということを意味する。
イ　雨よりも涙の雨をいっそう強調する。
ウ　涙の雨に限定することによって雨を否定する。
エ　雨と涙の雨とを並べて対比する。
オ　雨のほかに涙の雨まで加わることを意味する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　「し」の識別／「なむ」の識別

「し」の識別

【識別対象】

１　サ変動詞「　　」の「　　形」
２　過去の助動詞「　　」の「　　形」
３　「　　」の副助詞「し」

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	サ変「す」							
形	き							特殊型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈見分け方〉

１　「　　　」と訳せる＝サ変動詞

（例）物語**し**て、…

２　「　　形」＋**し**＝過去の助動詞「き」

（例）思はざり**し**を

３　「し」を省いても文意が通じる＝副助詞　※副助詞「し」の用法①～③参照（66ページ）

（例）唐衣きつつなれにし妻**し**あれば…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

①　先追ふ声々など<u>し</u>て、上達部など…

②　いと嘆か<u>し</u>と思へり。

③　観念のたよりなきに<u>し</u>もあらず。

④　みなかねて思ひ<u>し</u>ことなれど、…

ア　副助詞

イ　過去の助動詞「き」の連体形

ウ　サ行変格活用動詞の連用形

エ　形容詞の活用語尾

①＝　　②＝　　③＝　　④＝

問二　次の傍線部「し」の文法的説明をそれぞれせよ。

歌など学問<u>し</u>[a]けるとぞ聞こえ<u>し</u>[b]。

a＝

b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「なむ」の識別

【識別対象】

１「　　」の終助詞「なむ」
２「　　・　　」の助動詞「ぬ」の「　　形」＋推量の助動詞「む」
３ナ行変格活用動詞の未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」
４「　　」の係助詞「なむ」

★〈見分け方〉＝「　　」

１「　　形」＋なむ＝他者願望〔あつらえ〕の終助詞「なむ」

（例）峰も平らになりな**なむ**。

２「　　形」＋ⓝⓜ＝完了・強意の助動詞「ぬ」＋推量の助動詞「む」

（例）わろかり**なむ**と思ひて、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　「なむ」・「なむ」・「なむ」＝ナ変動詞未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」

（例）出でていなむと思ひて、…

４　**１〜３**以外＝強意の係助詞「なむ」

（例）かき抱きてなむ寝にける。

問三　「風より先にまたも訪はなむ」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　終助詞
イ　係助詞
ウ　助動詞と助動詞
エ　動詞の一部と助動詞
オ　助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「我、人に劣りなむや」の傍線部の文法的な説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　係助詞
イ　終助詞
ウ　副助詞
エ　完了の助動詞＋推量の助動詞
オ　断定の助動詞＋推量の助動詞

問五　「君が宿にてかへらざらなむ」の現代語訳として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　あなたの所へ帰っていきたい。
イ　あなたの所へ帰っていくだろう。
ウ　あなたの所へ帰らないでいたい。
エ　あなたの家で孵化（ふか）してほしい。
オ　あなたの家で孵化するだろう。
カ　あなたの家で孵化しないでほしい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　「かはれる事もありなむ」の傍線部と同じ用法の「なむ」として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　うぐひすは植ゑ木の木の間を鳴き渡らなむ
イ　かの草をもみてつけぬれば、すなはち癒ゆとなむ
ウ　容貌もかぎりなくよく、髪もいみじく長くなりなむ
エ　わびぬれば身を浮き草の根を絶えて誘ふ水あらばいなむとぞ思ふ

問七　次の傍線部の「なむ」の文法的説明として適当なものを、後の中から選べ。

①　かしこ〔＝ここでは「自邸」〕へものしなむ。
②　いくばくもあらぬ心地なむするなむ、いとわりなき。
③　また対面せでや、やみなむと思ふこそ、いみじけれ。
④　はや奉りなむ。

ア　①のみが係助詞で、他は助動詞「ぬ」に助動詞「む」が接続したもの
イ　②のみが係助詞で、他は助動詞「ぬ」に助動詞「む」が接続したもの
ウ　③のみが係助詞で、他は助動詞「ぬ」に助動詞「む」が接続したもの
エ　④のみが係助詞で、他は助動詞「ぬ」に助動詞「む」が接続したもの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　「見てだに帰りなむ」を単語にくぎったとき、各単語の品詞として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　動詞・助詞・助動詞・助動詞・動詞・助詞
イ　動詞・助詞・助詞・動詞・助詞
ウ　動詞・助動詞・助動詞・動詞・助動詞・助動詞
エ　動詞・助動詞・助詞・動詞・助詞
オ　動詞・助詞・助詞・動詞・助動詞・助動詞
カ　動詞・助動詞・助動詞・助詞・動詞・助動詞

問九　「我が玉の緒は尽きななむ」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　私の琴の絃はきっと切れてしまうだろう
イ　私の琴の絃は切れたりしないだろう
ウ　私とあなたの絆を終わりにしたくない
エ　私の命はきっとなくなってしまうだろう
オ　私の命はなくなってしまってほしい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★注意すべき「なむ」

（例）受け**なむ**

●「未然形」と「連用形」が同じ形の場合→**文脈判断**

まず「　　　　　　」と訳してみる。

○→他者願望の終助詞

×→完了の助動詞＋推量の助動詞

※ただし、「　　　　」にあれば「完了の助動詞＋推量の助動詞」である。

（例）親王（みこ）、酔ひて（寝所に）入りなむとす。月も隠れ**なむ**とすれば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「しなむ」の場合

「し」が「　　　」と訳せる＝サ変「す」連用形＋「　　　」＋「　　　」

「し」が「　　　」の意味＝ナ変動詞未然形＋推量の助動詞

（例）連歌し**なむ**。

●「連用形＋なむ」が「係助詞」である場合

（例）いと恥ずかしく**なむ**。

連用形
〜
〜
〜
｝＋ **なむ** ＝ **係助詞**

●「てなむ」＝**接続助詞**「て」＋**係助詞**「なむ」

（例）一筋に通ひて**なむ**ありける。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十九講

①　次の傍線部についての文法的説明として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

恋 a し や慣れし里のあま人
磯越す風は聞く心地 b し て
この人も安嘉門院（あんかもんゐん）に候（さぶら）ひ c し なり。

ア　名詞の一部　　イ　サ行変格活用動詞　　ウ　四段活用動詞の活用語尾
エ　形容詞の活用語尾　　オ　助動詞　　カ　助詞

a＝　　b＝　　c＝

②　「集などにも入りなむ。」の傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　係助詞　　イ　終助詞
ウ　動詞の一部＋推量の助動詞　　エ　強意の助動詞＋推量の助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「～よきは短くてあらなん。」の傍線部の文法的解説として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　詠嘆の終助詞
イ　ナ変動詞＋推量の助動詞
ウ　他者願望の終助詞
エ　強意の係助詞
オ　強意の助動詞＋推量の助動詞

④　「良かりなむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　形容詞「良し」の命令形＋終助詞「なむ」
イ　形容詞「良し」の連体形＋係助詞「なむ」
ウ　形容詞「良し」の未然形＋完了の助動詞「り」の連用形＋終助詞「なむ」
エ　形容詞「良し」の連用形＋禁止の終助詞「な」＋推量の助動詞「む」の終止形
オ　形容詞「良し」の連用形＋完了の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　「に」の識別

「に」の識別

【識別対象】

1　**形容動詞**ナリ活用の連用形の活用語尾
2　**ナ行変格活用動詞**「死ぬ」・「往ぬ」・「去ぬ」の連用形の活用語尾
3　**完了の助動詞「ぬ」**の連用形
4　**断定の助動詞「なり」**の連用形
5　**格助詞**の「に」
6　**接続助詞**の「に」
7　**副詞・副助詞**の一部　→「さら**に**」「まさ**に**」「げ**に**」「だ**に**」など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈見分け方〉＝「　　」→「　　」

1　「　　・　　」＋**に**＝**形容動詞**

～「　　」
～「　　」
～「　　」
＋**に**　の形が多い。

（例）にはか**に**、親この女を追ひうつ。
あはれ**に**見給ふ。

2　＿＿＿＿＿ **にの「に」**＝**ナ変動詞**連用形の活用語尾

（例）狩りにい**に**けり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

「　　形」＋に＝**完了の助動詞**「ぬ」の連用形

※　**に**＋{　　}の形が多い。

（例）事なくてやみ**に**けり。

4

「　　」＋**に**
{
断定の助動詞　　※次ページ「断定」参照
格助詞　（「である」と訳せない）
}

（例）天の川といふ所**に**至りぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※断定

● **に**＋（助詞）＋

（例）いかなる天魔（てんま）の仕業（しわざ）**に**てありけむ、…

〔注〕女、野にありて…

● **に**

（例）同じこと**に**や。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　「　　形」＋**に**
- **断定**の助動詞　※前ページ「断定」参照
- **格助詞**
- **接続助詞**

※断定

（例）　さるべき**に**やありけむ、…

※格助詞

連体形＋**に**　述部

（例）　尼君の見上げたる**に**、少しおぼえたるところあれば、（少女は尼君の）子なめりと見給ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※接続助詞

連体形＋**に**、〜　⇒　｛「　　」「　　」「　　」｝で訳せる。

（例）（女房が格子を）上げちらしたる**に**、雪降りにけり。

問一　「この猫の声にてありつるが、…」の傍線部の助動詞の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　断定　　イ　尊敬　　ウ　完了　　エ　使役　　オ　強意

問二　「ひきはり逃げにけり。」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　断定の助動詞　　イ　完了の助動詞　　ウ　打消の助動詞

エ　助詞　　オ　形容動詞の活用語尾

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の文法的説明としても適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

あざやか にa なさんはなにの難かあらん。
これはただ事 にb あらず。

ア　助詞　　イ　完了の助動詞　　ウ　断定の助動詞
エ　打消の助動詞　　オ　形容動詞の活用語尾

a＝　　　b＝

問四　「明けなんとするにや」の傍線部の文法的説明として適切なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「似る」の連用形　　イ　完了の助動詞「ぬ」の連用形
ウ　断定の助動詞「なり」の連用形　　エ　格助詞「に」　　オ　接続助詞「に」

問五　「誰も制せずになりにけり。」の傍線部と文法的に同じ働きをするものを、次の中から選べ。

ア　用ゐられたる者になんありける。
イ　失せにし児なり。
ウ　便り悪しき事になりて、…
エ　夜あけてこれを見るに、ありし琵琶なり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部の説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「この所を見る a に、憂き世ながらかかる所もありけりと、…」
手毎（てごと）に拭（ふ）きて膳棚（ぜんだな）b に重ねける。
実（まめ）やか c に約（ちぎ）りつつも、…
さらぬことだ d におぼし寄らぬことなく仕うまつりたまふを、…
「ありぬべき身 e にこそあめれ」など、…
尼になり f にけり。

ア　完了の助動詞「ぬ」の連用形　　イ　接続助詞　　ウ　形容動詞の活用語尾
エ　断定の助動詞「なり」の連用形　　オ　格助詞　　カ　副助詞の一部

a＝　　b＝　　c＝　　d＝　　e＝　　f＝

問七　「いかにすることにかあらむ」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　年にそへ日にそへては、…
イ　道理もあはれにおぼえて…
ウ　すでに残り少なく、…
エ　人も申し置かぬにやと、…
オ　衰へにたることはり、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【識別総合練習問題】

問八　次の傍線部について、文法的に正しい組み合わせを後の中から選べ。

人がらなりければ[a]にや、…
女はえ詠ま[b]ぬにや、
なかなか[c]に、半ばなる月を見る心地するに、…
この花やがてにほは[d]なむ。
皇子出で給ひ[e]ぬれば、…
見ずなり[f]なむこそあはれなれと、…

ア　a「に」とc「に」が同じ。
イ　b「ぬ」とd「な」が同じ。
ウ　b「ぬ」とe「ぬれ」が同じ。
エ　d「な」とf「な」が同じ。
オ　e「ぬれ」とf「な」が同じ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講

①　「思ひなしにや、〜」の傍線部と文法的意味・用法が同じものを、次の中から選べ。

ア　みな人ものわびしくて、京に思ふ人なきにしもあらず

イ　ここだくも狂ひに狂ひ思ほゆるかも

ウ　火の中にうちくべて焼かせたまふに、めらめらと焼けぬ

エ　鬢は失せにたれば、ひたぶるになし

②　次の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

景時にあづけられ[a]にけり。
まこと[b]に大きにたかくして、…
存知したりける[c]にや、…

ア　格助詞　　イ　接続助詞　　ウ　動詞の活用語尾　　エ　形容動詞の活用語尾

オ　完了の助動詞　　カ　断定の助動詞　　キ　副詞の一部

a＝　　b＝　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部の中から、一つだけ品詞が異なるものを選べ。

ア「～御心も通ひぬべきを…」
イ「～老人御方に入りたまひにけり。」
ウ「男の艶だちゐたまへる方に帰り往にけり。」
エ「中将、言ひわづらひて帰りにければ、…」

④　次の傍線部ａ・ｂの文法的説明として最適なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「元の帯[a]にはあらねども、むなしく失ひて…」
「手をすりて、とりてまかり[b]にけり。」

ア　断定の助動詞の連用形　　イ　接続助詞　　ウ　格助詞　　エ　動詞の連用形活用語尾
オ　完了の助動詞の連用形　　カ　形容動詞の連用形活用語尾　　キ　副詞の一部

ａ＝　　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　呼応の副詞

呼応（陳述）の副詞

★「禁止」

「　」～そ＝～するな（～してくれるな）

→「　形」

（例）な射そ。

※ただし、カ変・サ変のときは未然形。

（例）なこそ。＝来るな（来てくれるな）。
なせそ。＝するな（してくれるな）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「　　」
かまへて
あなかしこ
～
そ
な
べからず
＝決して～するな

（例）あなかしこあなかしこ、人に語り給ふな。

★「不可能」

「　　」～打消＝～できない

※打消＝ず・じ・まじ・なし・で

（例）返しえし給はず。
おぼろけの紙はえ張るまじければ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「沈みはべりてなむ、えきこえぬ」の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　名詞＋動詞の未然形＋完了の助動詞の終止形
イ　名詞＋動詞の連用形＋完了の助動詞の終止形
ウ　副詞＋動詞の連用形＋完了の助動詞の終止形
エ　副詞＋動詞の未然形＋打消の助動詞の連体形
オ　副詞＋動詞の連用形＋打消の助動詞の連体形

問二　下の打ち消しの語と呼応して不可能の意味を表す副詞の言葉として、最適なものを次の中から選べ。

ア　さらに　　イ　よも　　ウ　な　　エ　え

問三　「な泣きたまひそ」の口語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　泣くかもしれない
イ　お泣きなさるな
ウ　泣くだろうな
エ　お泣きなさるだろう

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「花ならばしばし［　］散りそ木の下を」の空欄には、ひらがな一字が入る。最も適切な語を記せ。

問五　「え参り来まじきを」の解釈として最適なものを、次の中から選べ。

ア　お訪ねするべきではないのに
イ　お訪ねしたいわけでもないのに
ウ　お訪ねしないつもりでいるのに
エ　お訪ねすることもできないのに

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「全否定」

「おほかた」
「たえて」
「つやつや」
「かけて」
「あへて」

～打消＝全く～ない／全然～ない／決して～ない

（例）

さらにこそ信ぜられね。

ほかへもさらに行かで、…

世の中にたえて桜のなかりせば…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「弱い否定」

いと／いたく ～打消＝**たいして**～ない

（例）いたう罪な作り給ひそ。

「　　　　」～打消＝めったに～ない／ほとんど～ない

（例）山はすべて若木の細枝原にて、年ふりたる木などは、をさをさ見えず。

★「その他の打消系統」

「　　　　」知ら**ず**＝さあ、どうだかわからない

（例）行疫神〔＝疫病神〕はいさ知らず、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「　」～「　」＝まさか～ないだろう

（例）さまざまの歌の道をば、よも知らじ。

問六　「さらにそのほかのものも食はずありければ、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ますます
イ　まったく
ウ　たいてい
エ　ふつうは
オ　ほとんど

問七　「さらにあるまじ」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　それ以上しなかった
イ　おそらくしないだろう
ウ　確かにあり得なかった
エ　決してあるはずがない
オ　ますますあり得ないだろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　「をさをさ違ふことなし」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　めったに外れることはない
イ　そうやたらと間違ってはいけない
ウ　ややもすると違いがみえなくなる
エ　思惑が外れてしまうこともないわけではない

問九　「左府の乗らせたまひたるにはよもあらじ。」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　係助詞で「あるまい」の意。反語の用法。
イ　副助詞で「まったく」の意。多く打消の意で用いる。
ウ　副詞で「まさか」の意。多く打消を伴う。
エ　連語で「よもや」の意。反語の用法。
オ　連語で「決して」の意。強意の用法。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

● **いかで（か）〜**

推量＝【疑問】「どうして〜だろうか」
【反語】「どうして〜だろうか、いや、〜でない」

願望・意志＝「〜したい・しよう」

（例）

いかで見ばやと思ひつつ、…

いかでこのかぐや姫を得てしがな。

いかでとく京へもがな。

（客を見送った後、すぐに部屋にもどらずに月を見ている女性を、作者は物陰から見ていた。）あとまで見る人ありとは、**いかでか**知らん。かやうのことは、ただ朝夕の心づかひによるべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　「今はいかで見聞かずだにありにしがな」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　今は何とかしてせめてあの人に関するうわさだけでも聞きたい
イ　今ではどんなに小さなことでもあの人について知らないことはない
ウ　今までどうしてあの人のうわさを耳にもせず過ごしてきたのだろう
エ　今はどうにかしてあの人のことを見たり聞いたりもせず過ごしたい
オ　今までどうしてあの人のことを見聞きせずにいられたのかわからない

問十一　「いかで思ふやうならむ人に盗ませたてまつらむと、明け暮れ『あたらもの』と言ひ思ふ。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんとしてでも理想的な男君に落窪の君をお盗ませ申し上げたい。
イ　どういう手段で理想的な男君に落窪の君をお盗ませ申し上げるのか分からない。
ウ　なぜか北の方の思惑通りになるので、誰かに落窪の君をお盗ませ申し上げたい。
エ　思い通りの男君に落窪の君をお盗ませ申し上げることはどうやってもかなうまい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

● **いつしか～願望**＝「　　～したい・してほしい」

（例）**いつしか**聞かまほしく、…

● **かまへて～**
- 禁止＝「　　～するな」
- 命令・意志＝「　　～せよ・しよう」

（例）**かまへて**、念仏おこたるな。
かまへて参り給へ。

● **はやく～けり**＝「なんと実は～だったよ」

（例）**早う**、翁の籠の瓜を取り出だし**ける**を…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「いつしか梅咲かなむ」の「いつしか」の意味として適切なものを、次の中から選べ。

ア　いつの間にか　　イ　はやく　　ウ　もはや　　エ　いったいいつか

問十三　「構へて見えさせたまふな」の口語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつでも会えるように心構えをしておいてください
イ　用心して外を見ないようにしてください
ウ　けっしてお姿をお見せにならないでください
エ　用心している気配が分からないようにしてください

問十四　「はやく違ひたりけり」の現代語訳として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　わずかながら違っているのです
イ　そもそもが違っていたのでした
ウ　すぐに違うことに気づきました
エ　手早いものの違っていたのです
オ　なんとまあ違っているのでした

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十一講

① 次の空欄Ａ・Ｂに入る最も適切な平仮名一字を、後の中からそれぞれ選べ。なお、Ａは不可能を、Ｂは禁止を表すために用いられている。

声だに［Ａ］揚げず。
いたく［Ｂ］叱りそ。

ア　え　　イ　そ　　ウ　な　　エ　に　　オ　を

Ａ＝　　　Ｂ＝

② 「さらにえ見いでず」の語句の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　ますます見つからなくなってしまった
イ　まったく見つけ出すことができなかった
ウ　もう世話をする気持ちも失せてしまった
エ　あれ以上に良いものはもう見出せなかった

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「構へて鶏などに合はせらるまじき」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　わざわざ他の鶏と闘わせない
イ　よく気をつけて他の鶏と闘わせる
ウ　決して他の鶏と闘わせない
エ　よく準備をして他の鶏と闘わせる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十二講　敬語の種類／（敬語）「本動詞」と「補助動詞」

★敬語の種類＝「　　語」・「　　語」・「　　語」

★「本動詞」と「補助動詞」

本動詞…動詞本来の意味・用法がある動詞。

補助動詞…動詞本来の意味・用法が薄れ、他の語に付いて意味を添える動詞。

（例）「ございます」

おめでと<u>うございます</u>。

お釣りが<u>ございます</u>。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★補助動詞の型　※「　　」確認

①「　　」＋Ⓥ

（例）書き**奉る**

※形容詞・形容動詞＋ⓋのⓋは、「あり」の意味の動詞

②「　　」＋「　　」＋Ⓥ

（例）書きて**侍り**

③「　　」＋「　（　）」＋

「　　」の意味の動詞
おはす
おはします
侍り
候ふ

（例）女房に（て）**候ふ**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★それぞれの種類の補助動詞と訳

●＝給ふ（　　　）
おはす
おはします

（訳）「〜　　」・「　　〜　　」

●＝奉る
申す
聞こゆ
参らす
給ふ（　　　）

（訳）「（お）〜（し）　　」・「　　〜　　」

●＝侍り
候ふ

（訳）「〜　　」・「〜　　」・「〜　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★補助動詞と本動詞の見分け方

補助動詞の型と単語を満たせば、基本「補助動詞」。

（例）

聞き侍り。

木が侍り。

聞き笑ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「恥ぢられたてまつる人」について、空欄ａ・ｂに入る最も適切な語を、後の中からそれぞれ選べ。

「たてまつる」は（　ａ　）といわれるもので、文法的意味は、（　ｂ　）を表す。

ア　動詞　　イ　助動詞　　ウ　補助動詞
エ　尊敬　　オ　丁寧　　カ　謙譲

ａ＝　　　ｂ＝

問二　「心地し①はべるに、…」「～いかに見②たてまつり③たまはん」の傍線部の敬語の種類を、次の中からそれぞれ選べ。

ア　尊敬語
イ　謙譲語
ウ　丁寧語

①＝　　②＝　　③＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「本動詞」

（例）　のたまふ＝おっしゃる　（「言ふ」の尊敬語）

尊敬語	通常語	謙譲語
おっしゃる	言う	申し上げる
お聞きになる	聞く	伺う
ご覧になる	見る	拝見する
いらっしゃる	行く・来る	伺う・参る
召し上がる	食べる・飲む	いただく
なさる	する	いたす

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「覚えておくべき**尊敬語**」

※**太字**の敬語動詞は**最高敬語**

敬語動詞	訳	通常語
あそばす	なさる	す
います いまそがり おはす **おはします** ます **まします**	いらっしゃる	あり・居り 行く・来
仰す のたまふ **のたまはす**	おっしゃる	言ふ
思す 思ほす **思しめす**	お思いになる	思ふ
大殿ごもる	おやすみになる	寝
聞こす **聞こしめす**	お聞きになる	聞く

敬語動詞	訳	通常語
御覧ず	ご覧になる	見る
給ふ たぶ **たまはす**	お与えになる	与ふ
しろしめす	お治めになる	治む
	知っていらっしゃる	知る
召す （※食（を）す）	御覧になる	見る
	※お治めになる	治む
	お呼びになる	呼ぶ
	※召し上がる	食ふ・飲む
	※お召しになる	着る
	お乗りになる	乗る
参る 奉る	お召しになる	着る
	召し上がる	食ふ・飲む
	お乗りになる	乗る

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「覚えておくべき**謙譲語**」

敬語動詞	訳	通常語
承る	うかがう	聞く
聞こゆ	申し上げる	言ふ
聞こえさす		
申す		
奏す	「　・　」に申し上げる	
啓す	「　・　」に申し上げる	
奉る	差し上げる	与ふ
参る		
参らす		
賜（たまは）る	いただく	受く

敬語動詞	訳	通常語
参る	参上する	行く・来
まうづ		
まかる	退出する	行く・来
まかづ		
つかまつる	お仕えする	仕ふ
つかうまつる		
侍り		
候ふ		

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「覚えておくべき丁寧語」

敬語動詞	訳	通常語
侍り 候ふ	あります・おります	あり・居り

問三　「あな苦しと思して、…」の傍線部のよみがなを記せ。

問四　「大殿籠り入りたるに」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　姫君たちが部屋にお入りになったところ
イ　源氏の大殿が部屋にお入りになったところ
ウ　源氏の大殿が琴をお仕舞いになったところ
エ　姫君たちがすっかりお休みになったところ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「つらしとなおぼしそ」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　あなたを家に帰すことを、意地が悪いと思わないでおくれ
イ　病でつらいから、私に冷たくしないでください
ウ　私のすることを、ひどい仕打ちとお思いにならないでおくれ
エ　病でつらいときに、私に心配をかけないでください
オ　女房達に、ひどい仕打ちをしてやろうなどと思わないでおくれ

問六　「なのたまひそ」を現代語訳せよ。

問七　「奏す」の一般的な特徴を説明した次の文において、空欄［a］と［b］に当てはまる語を、後の中からそれぞれ選べ。なお、解答の順序は問わない。

「奏す」は、［a］や［b］に対して言うときに限って用いられる。

ア　関白　　イ　天皇　　ウ　中宮　　エ　皇后　　オ　皇太子　　カ　上皇

a＝　　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次のうち、謙譲の意味を持つものを一つ選べ。

ア　空也上人、山の中におはしけるが、…
イ　「あなものさわがしや」とのたまひければ、…
ウ　かきくらし給ひてし後は、…
エ　そこたちを育み聞こえんとて、…
オ　さこそはと思ひやられ侍り。

問九　次の傍線部の敬語の種類を、後の中からそれぞれ選べ。

「心もとながり[a]聞こえさせ給へれど、…」
「いまはと[b]思しなしたる御心…」

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線部について、敬語の種類によって二つのグループに分けたものとして適切なものを、後の中から一つ選べ。

ただまもり<u>参らせ</u>[A]て、…
もの恐ろしくぞ<u>思し召す</u>[B]。
「〜」と<u>申せ</u>[C]ど、…
「〜」と<u>仰せられ</u>[D]て、…
すこし<u>召し</u>[E]、また<u>大殿ごもり</u>[F]ぬ。

ア　ＡＢＥ／ＣＤＦ　　イ　ＡＤ／ＢＣＥＦ　　ウ　ＡＣ／ＢＤＥＦ
エ　ＡＣＥ／ＢＤＦ　　オ　ＡＢＤＦ／ＣＥ

問十一　次の傍線部と敬語の種類が同じものはどれか、適当なものを後の中から選べ。

「わたらせたまへ」と<u>申</u>させたまへば

「〜」と<u>仰せられ</u>[ア]て…
おそろしくいとほしく思し召して、<u>おはしまし</u>[イ]けるに、…
この人々をば<u>思しゆるす</u>[ウ]べきなり。
「〜」と<u>聞こえ</u>[エ]させたまひけるを…
「ただこなたにてを<u>召せ</u>[オ]」とて…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「いかに心もとなくおぼすらむ」の傍線部を文法的に説明するとどうなるか。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　「思ふ」の尊敬語「おぼす」の終止形
イ　「思ふ」の尊敬語「おぼす」の連体形
ウ　「思ふ」の謙譲語「おぼす」の終止形
エ　「思ふ」の謙譲語「おぼす」の連体形
オ　「思ふ」の丁寧語「おぼす」の連体形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十二講

①「とどめ奉り[a]」「思し[b]」は、どの種類の敬語か。最も適当と思われるものを、次の中からそれぞれ選べ。

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　　b＝

②「いますかり」の文法上の説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬の助動詞　　イ　謙譲の助動詞　　ウ　丁寧の助動詞
エ　尊敬の動詞　　オ　謙譲の動詞　　カ　丁寧の動詞

③「おろかになおぼしそ」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　私をないがしろにしようとお思いですね
イ　私を馬鹿者だとお思いではありませんか
ウ　私のしたことを迷惑だとお思いでしょう
エ　私のことを真剣に愛してください
オ　私を冷淡だとお思いにならないでください

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　「不覚におほとのごもりぬ。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　不意にお隠れになった
イ　正体なくお眠りになった
ウ　なかなか寝つけなかった
エ　気づかずにお帰りになった
オ　突然意識をお失いになった

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講　２種類ある「敬語」

★補助動詞　２つの「給ふ」

敬語の種類	活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	四段活用						
	下二段活用						

●「給へ」の場合→「　　」（＝活用形）確認。

（例）

思ひ**給へ**ず。

渡らせ**給へ**れば、…

「忠度。」と名のり**給へ**ば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★謙譲の補助動詞「給ふ」の特徴

①「　　」・「　　」で使用。

（例）「忠度」と名のり**給へ**ば、…

「この際まで立ち寄らせ**給へ**。」とのたまへば、…

②「　　」・「　　」・「　　」・「　　」にしか付かない。

（例）「この際まで立ち寄らせ**給へ**。」とのたまへば、…

「～聞き**たまへ**て…」

③主語は「　　」（＝　　）

④訳は「～　　」・（「～　　」）

⑤敬意の方向＝聞き手に対する敬意

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の敬語の種類として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「思う<u>たまへ</u>[a]られし…」

「習ひ<u>たまへ</u>[b]る…」

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　　b＝

問二　「今宵、夜ひと夜思し騒ぐを<u>見給へ</u>つれば、…」の傍線部の活用の種類と敬語の種類について答えよ。

問三　次の傍線部のうち、敬語の種類の異なるものを一つ選べ。

「～なほたち返り紅葉もいかにと思ひ<u>たまへ</u>[ア]てなむ。旅寝もしつべき木のもとにこそ」とて、見出だし<u>たまへ</u>[イ]り。〈中略〉「さま変り<u>たまへ</u>[ウ]らんさまを、いささか見せよ」と、少将の尼にのたまふ。「それをだに、契りしるしにせよ」と責め<u>たまへ</u>[エ]ば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「憚りあるまじうなん見給ふる。」の「給ふる」と敬語の種類が同じものを、次の中から選べ。

ア　聞えさせ給ひて…
イ　思ひ給へしなり。
ウ　違へさせ給ふな。
エ　ねびまさらせ給へるを…
オ　見奉り給ふ御気色…

問五　次の傍線部の中には、敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）が他と異なるものが一つ含まれている。その語を選べ。

「〜われよりほかのとのみ、思ひたまへ(ア)つつ過ぐしはべる…」
「ただいかにも のたまは(イ)するままにと 思ひたまふる(ウ)を、…」
「見苦しきことに 聞こえ(エ)さすらむ。」

問六　「まかり出でて見給へむと思ひ給へしに、年はまかり老いにたり、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（陽成院が）御覧になると思いましたが
イ　（陽成院が）御覧になるはずがないと思いましたので
ウ　拝見しようと思いましたが
エ　見るのを諦めようと思ったのですが
オ　孫が姿を現すのを期待していたのですが

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★『２種類ある敬語本動詞』

●「覚えておくべき**尊敬語**」

敬語動詞	訳	通常語
参る・奉る	お召しになる	着る
	召しあがる	食ふ・飲む
	お乗りになる	乗る

●「覚えておくべき**謙譲語**」

敬語動詞	訳	通常語
奉る	差し上げる	与ふ
（参る）	（参上する）	（行く・来）
侍り・候ふ	お仕えする	仕ふ

●「覚えておくべき**丁寧語**」

敬語動詞	訳	通常語
侍り・候ふ	あります・おります	あり・居り

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★本動詞の「奉る」と「参る」→「　　」か「　　」

「　　」
「　　」お召しになる
「　　」召しあがる
「　　」お乗りになる

（例）
宮は、白き御衣どもに紅の唐綾をぞ上に**奉り**たる。
（体調が悪くて）物もつゆばかり**参ら**ず。
御車に**奉り**て…

「　　」＝「　　」「　　（「参る」のみ）」

（例）
「（銀の軟挺〔＝銀貨〕）三つをば**奉ら**ん。」と言ひて、…
宮〔＝中宮様のもと〕に初めて**参り**たるころ、…

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　次の傍線部を現代語訳せよ。

① 御文奉りたまふ。

② 右大弁の子のやうに思はせて率て奉る。

③ ほかにて酒など参り、酔ひて…。

④ 親王(みこ)に馬頭(うまのかみ)〔＝馬寮(めれう)の長官〕、大御酒(おほみき)参る。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部Ａ・Ｂについて。傍線部Ａを七字以内の現代語で言い換えよ。また、傍線部Ｂは、ここではどういう意味の語の尊敬語か。後の中から最も適切なものを選べ。

「壺なる御薬<u>たてまつれ</u>[A]。穢き所の物<u>きこしめし</u>[B]たれば、御心地悪しからむものぞ」とて、持て寄りたれば、いささかなめたまひて、…

Ａ＝

Ｂ　ア　聞く　　イ　触る　　ウ　嗅ぐ
　　エ　食ふ　　オ　着る　　カ　見る

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★本動詞の「**侍り**」と「**候ふ**」→「　　」か「　　」

「　　」＝あります・おります

（例）何の悔いか**はべら**む。

「　　」＝「　　」

※貴人に
　貴人がいる場所に ｝＋｛ 侍り
　　　　　　　　　　　　　候ふ ＝「　　」の本動詞

（例）後一条院の中宮に**侍り**ける出雲の御（ご）といふが…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の傍線部の意味として最適なものを、後の中から選べ。

「悦[*1]は、近衛殿（このゑどの）[*2]（応山公）に<u>侍りて</u>、筆法を学び奉りけり。」

＊１　悦＝本阿弥光悦（こうえつ）。安土桃山時代から江戸時代初期の書家・工芸家。

＊２　近衛殿＝江戸時代初期の公家・近衛信尋（のぶひろ）。後陽成（ごようぜい）天皇の皇子で、近衛家を継ぎ関白となる。優れた書を残す。

ア　取り入って　　イ　警護を任されて　　ウ　気に入られて

エ　お仕えして　　オ　期待されて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講

①　次の「たまふ」に関する説明文の空欄［A］～［F］に入る最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

「たまふ」は、四段活用の場合は［A］の意味で、下二段活用の場合は［B］の意味となる。四段活用の場合は動詞としても［C］としても自由に用い、地の文、［D］ともに無関係に用いる。下二段活用の場合は多くは「思ふ」「見る」「聞く」に続く［E］としての用法にほぼ限られ、［F］に集中して用いられる。

ア　謙譲　イ　尊敬　ウ　補助動詞　エ　会話文　オ　地の文　カ　助動詞

A＝　B＝　C＝　D＝　E＝　F＝

②　次の傍線部の説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「いとありがたく[a]侍りけれ。」
「よき歌[b]つかうまつれ」とおほせらるる…

ア　尊敬の本動詞　イ　謙譲の本動詞　ウ　丁寧の補助動詞
エ　丁寧の本動詞　オ　謙譲の補助動詞

a＝　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③

次の傍線部の敬語の種類として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

涙ぐませ たまへる[a]、…

涙にむせびて、え 聞こえやらず[b]。

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　b＝

④

次の傍線部は、この場合どのような意味に使われているか。最も適当なものを後の中から選べ。（本文中略あり）

車さし寄せて乗らむとて、…このせうとなる人なむ、「はや奉りなむ」とて、やがて乗りて、抱へてものしぬ。

ア　差し上げる　　イ　お乗りになる　　ウ　乗らせる

エ　お召しになる　　オ　お食べになる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十四講　３種類の「聞こゆ」／敬意の方向

★３種類の「聞こゆ」

●「　　」の補助動詞

（例）恋ひ**聞こゆ**。

●「　　」の敬語動詞（本動詞）

（例）上〔＝帝〕に「かく」と**聞こゆれ**ば、…

●普通動詞

①聞こえる　（例）箏の琴の音ほのぼの**聞こゆ**。

②うわさされる・世に知られる　（例）人々は、世に**聞こゆる**こととて、…

③理解される・わけがわかる　（例）**聞こえ**ぬことども言ひつつ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★敬意の方向

「誰から誰に対する敬意か」「誰への敬意か」

（例）帝、少将に聞き奉り給ひ侍り。

★「誰から」→敬語の「　　」確認。

●地の文＝「　　」から。

●会話文＝「　　」から。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「誰へ」↓敬語の「　　　」確認。

●**尊敬語**＝**主体**（〜　・　）へ

●**謙譲語**＝**客体**（〜　・　）へ

●**丁寧語**　↓　敬語の「　　　」確認。

地の文＝「　　　」へ
会話文＝「　　　」へ

★敬語の重なる順番＝

（例）　女御、更衣あまた**候ひ**給ひける中に、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部に用いられている敬語の説明として、最も適当なものを後の中から選べ。

重景（しげかげ）かしこまつて、「何の御慎みか候ふべき。上人をば生身の仏と承る。〜」など、こざかしく申しければ、…

ア　語り手から法然上人への敬意を表す謙譲語
イ　語り手から三位中将への敬意を表す謙譲語
ウ　重景から法然上人への敬意を表す謙譲語
エ　重景から三位中将への敬意を表す丁寧語
オ　法然上人から三位中将への敬意を表す謙譲語
カ　法然上人から三位中将への敬意を表す丁寧語

問二　次の傍線部の説明として正しいものはどれか。後の中から選べ。

東三条院、石山にまうでて還御有りけるに、…

東三条院＝長保三（一〇〇一）年九月に石山寺に参詣し、その年の閏十二月に亡くなった。
石山＝石山寺。近江の国（現滋賀県）の古寺。

ア　謙譲語。作者から石山寺への敬意。
イ　尊敬語。東三条院から石山寺への敬意。
ウ　謙譲語。作者から東三条院への敬意。
エ　謙譲語。東三条院から石山寺への敬意。
オ　尊敬語。作者から石山寺への敬意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部はそれぞれ誰に対する敬意を表しているか答えよ。

「蔵人の少将が、まづ召す[a]」と言ふめれば、…
（蔵人の少将が）三の君に「これ（＝手紙）見給へ。惟成が落としたりつるぞ」とて奉り[b]給ふ[c]。

a＝
b＝
c＝

問四　次の傍線部の説明として最も適当なものを、後の中から選べ。

公助が将どもに、「父の年八十に罷（まか）り余りたるは。『いたう腹を立て、逃げむを追ひ候はむ程、倒れもこそ仕れ』と思ひ給へて、打たれ臥して候ひつるなり」と答へつれば、将どもいとほしかりにけり。

ア　将達を敬う尊敬表現
イ　将達を敬う謙譲表現
ウ　将達を敬う丁寧表現
エ　公助を敬う尊敬表現
オ　公助を敬う謙譲表現

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　傍線部を説明した文の空欄に入れる語として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

＊泉(いづみ)の大将、＊故左のおほいどのにまうでたまへりけり。ほかにて酒などまゐり、酔(ゑ)ひて、夜(よ)いたくふけて、ゆくりもなくものしたまへり〔＝突然おいでになった〕。大臣(おとど)おどろきたまひて、「いづくにものしたまへるたよりにかあらむ」など聞こえたまひて、御(み)格子あげさわぐに、…

注　泉の大将…藤原定国。
故左のおほいどの…藤原時平。
大臣…藤原時平。

「聞こえ」は［A］に対する［B］、「たまひ」は［C］に対する［D］。

ア　泉の大将　　イ　故左のおほいどの　　ウ　語り手　　エ　読者
オ　尊敬語　　カ　謙譲語　　キ　丁寧語

A＝　　B＝　　C＝　　D＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十四講

①　次の傍線部に関する文法的説明として最も適切なものを、後の中から選べ。

右の大臣(おとど)に a聞こえ給ふ。
琴のこゑと b聞こゆれど、おほくの物の音あはせたるこゑにて…
胡簶(やなぐひ)〔＝儀礼用の武具の一種。矢を盛る容器〕おひたれば、けだものもさり cきこゆ。

ア　ａは謙譲の動詞、ｃは謙譲の補助動詞
イ　ａは謙譲の補助動詞、ｃは尊敬の補助動詞
ウ　ａは尊敬の動詞、ｂは謙譲の補助動詞
エ　ｂは尊敬の補助動詞、ｃは謙譲の動詞
オ　ｂは謙譲の動詞、ｃは尊敬の補助動詞

②　「右近はかの人〔＝玉鬘(たまかづら)〕を、いとめでたし劣らじと見たてまつりしかど、…」の傍線部は誰に対する敬意か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　右近　　イ　玉鬘　　ウ　読者　　エ　聞き手

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部は、誰の誰に対する敬意を表しているか。その説明として最も適当なものを、後の中から選べ。

「九郎判官殿を宿し参らせたるをばいかがせん。」とぞ（女房が）申しける。

ア　作者の判官に対する
イ　作者の読者に対する
ウ　判官の女房に対する
エ　女房の判官に対する
オ　女房の読者に対する

④　次の文は、「奏せよ」について説明したものである。空欄 Ⅰ ～ Ⅲ に入れるのに適当な語を、後の中からそれぞれ選べ。

「奏せよ」はサ変動詞「奏す」の Ⅰ で、「奏す」は「言ふ」の Ⅱ である。またこの語は Ⅲ または上皇・法皇に対する敬意を表す語である。

Ⅰ　ア　終止形　イ　已然形　ウ　命令形
Ⅱ　ア　尊敬語　イ　謙譲語　ウ　丁寧語
Ⅲ　ア　天皇　イ　皇后　ウ　皇太子

Ⅰ＝　Ⅱ＝　Ⅲ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　模範解答

問一　①　し…き　②　まほしけれ…まほし　③　ける…けり　④　れ…り
問二　ウ
問三　エ
問四　イ
問五　エ
問六　ウ
問七　べけれ
問八　A　ある　B　め
問九　イ
問十　ウ
問十一　イ
問十二　ア
問十三　イ
問十四　エ
問十五　1　ア　2　オ　3　キ
問十六　A　ウ　B　オ　C　エ　D　オ
問十七　イ
問十八　ア
問十九　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　模範解答

問一　エ
問二　ウ
問三　ウ
問四　ア
問五　イ
問六　ウ
問七　ア
問八　ウ
問九　エ
問十　ア
問十一　①ア　②エ　③イ　④ウ
問十二　イ
問十三　ア

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　模範解答

問一　①エ　②イ　③オ　④ア　⑤ウ
問二　イ
問三　イ
問四　イ
問五　a イ　b ウ　c ア
問六　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　模範解答

問一　①ウ　②ア　③イ

問二　イ

問三　イ

問四　エ

問五　ア

問六　イ

問七　ウ

問八　x　な　y　そ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　模範解答

問一　①ウ　②ア　③イ
問二　エ
問三　エ
問四　ウ
問五　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　模範解答

問一　①ウ　②エ　③ア　④イ

問二　a　サ行変格活用動詞「す」の連用形

　　　b　過去の助動詞「き」の連体形

問三　ア

問四　エ

問五　カ

問六　ウ

問七　イ

問八　オ

問九　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　模範解答

問一　ア
問二　イ
問三　a　オ　b　ウ
問四　ウ
問五　イ
問六　a　イ　b　オ　c　ウ　d　カ　e　エ　f　ア
問七　エ
問八　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　模範解答

問一　エ
問二　エ
問三　イ
問四　な
問五　エ
問六　イ
問七　エ
問八　ア
問九　ウ
問十　エ
問十一　ア
問十二　イ
問十三　ウ
問十四　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十二講　模範解答

問一　a　ウ　b　カ
問二　①　ウ　②　イ　③　ア
問三　おぼ
問四　エ
問五　ウ
問六　おっしゃるな
問七　a　イ　b　カ　（順不同）
問八　エ
問九　a　イ　b　ア
問十　ウ
問十一　エ
問十二　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講　模範解答

問一　a　イ　b　ア

問二　ハ行下二段活用・謙譲語

問三　ア

問四　イ

問五　イ

問六　ウ

問七　①　差し上げなさる　②　引き連れ申し上げる
③　お飲みになり（召しあがり）　④　差し上げる

問八　A　お飲みなさい　B　エ

問九　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十四講　模範解答

問一　エ

問二　ア

問三　a　蔵人の少将　b　三の君　c　蔵人の少将

問四　イ

問五　A　ア　B　カ　C　イ　D　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十四講　模範解答・解説

〔解説〕

① 空欄補充で文末の場合は、係助詞が絡んでいることが多いので上をざっと確認する。「こそ」があるので、空欄Aは已然形。選択肢の中で已然形はウのみ。よって、正解はウ。

② ①同様、上を確認すると「ぞ」があるので、空欄Aは連体形。選択肢の中で連体形はイのみ。よって、正解はイ。

③ 係助詞「や」は疑問か反語。「やは」は反語になる場合が多い（あくまでも多いなので、本当は文脈判断が必要になるのだが、まずは反語から考えるとよい）。今回は、選択肢に疑問がないので、必然的にエの反語が正解。

④ 結びの省略の問題。係助詞「や」の上が「に」なので、多くは「あらむ（あらん）」が省略されている。が、選択肢に「あらむ」がないので、次に考えることは「や」の結びは連体形。選択肢の中で連体形になっているものはアのみ。よって、アが正解（本設問は、未来の「む」ではなく、過去の「けむ」になっている例）。

⑤ 結びの省略の問題。上が「に」で、係助詞が「こそ」なので、「あらめ」が省略されている。よって、正解はア。

⑥ 「こそ〜たまへ、…」なので、逆接強調法。選択肢の中で最後が逆接になっているのがエのみ。よって、正解はエ。

⑦ 「もぞ」は「〜したら大変だ・困る」の意味。その解釈ができているのはオのみ。よって、正解はオ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① ウ

② イ

③ エ

④ ア

⑤ ア

⑥ エ

⑦ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十五講　模範解答・解説

〔解説〕

①　エのみ上が「未然形」で仮定条件。他は全て上が「已然形」で確定条件。よって、正解はエ。

②　活用形＝下を確認。下が「で」なので、未然形にする。「言ふ」（＝ハ行四段活用）の未然形は「言は」。よって、正解はア。

③　「数量＋ながら」なので、「全部・～中」の「ながら」から考える。選択肢でこれに該当するものがエ。他の訳は「ながら」にはないことからも、エが正解。

④　アは、下が助動詞「む」なので、傍線部も助動詞。イは、下が接続助詞「ば」だが、「てば」「てばや」の「て」は助動詞。ウは、下が助動詞「けり」なので、傍線部も助動詞。エは、下が「歩む」で助動詞ではないため、傍線部は接続助詞。よって、エが正解。

〔解答〕

①　エ　②　ア　③　エ　④　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講　模範解答・解説

〈解説〉

① 設問の傍線部「の」のすぐ下の「恐ろしげなる」が形容動詞の連体形である。そこに「の」の上の体言＝「虫」を入れて訳してみると、「たくさんの虫**で**、気味悪いような**虫**を取り集めて…」とおかしくないので同格（もしくは「の」から連体形までを省いて、「たくさんの虫を取り集めて」と確認しても良い）。選択肢アは主格「が」。イは「の」の下に、「いふかひなき」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言を入れて訳してみると、「男の童（＝男の子の召し使いを指すことが多い）**で**、物怖じをせず、身分が低い**男の童**を召し寄せて…」とおかしくないので、これが正解。ウ、エは連体格「の」。

② a 「体言（＝人）」が「用言（＝申す）」にかかっていくので、この「の」は主格。よって、正解はア。

b 「体言（＝即位）」が「体言（＝日）」にかかっていくので、この「の」は連体格。よって、正解はイ。

c 「の」の下に、「たる」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言＝「頭」を入れて訳してみると、「髪がついているものの頭**で**、血がついている**頭**を見つけた…」とおかしくないので、同格。よって、正解はウ。

d 「かばかり」は副詞で「これほど・これくらい」という意味。「かばかり」は体言ではないが、「これくらいのこと」と「体言（＝こと）」にかかっていき、「の」のままでおかしくないので連体格。よって、正解はイ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「の」の下に、「なる」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言＝「人」を入れて訳してみると、「出家した人**で**無一物の身である**人**が、家族が多い人が望みが深いことを見て、ひどく軽蔑するのは間違いである。」とおかしくないので、同格。よって、正解はイ。

④ａ「の」の下に、「おぼしき」と連体形があるので、そこに「の」の上の体言＝「僧」を入れて訳してみると、「錦を足にもはいている僧**で**、別当（＝僧官の一つ）と思われる**僧**が寄って来て…」とおかしくないので、同格。よって、正解はウ。

ｂ「体言（＝親）」が「用言（＝あはすれ（＝結婚させようとする））」にかかっていくので、この「の」は主格。よって、正解はア。ちなみに、この文は前回（第十五講）の「つつ」の例文と同じである。

ｃ「例の」の「の」で、「狩しにおはします（＝狩をしにいらっしゃる）」の用言にかかっていくので、この「の」は連用格。よって、正解はオ。

〔解答〕

①イ　②ａア　ｂイ　ｃウ　ｄイ　③イ　④ａウ　ｂア　ｃオ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十七講　模範解答・解説

〔解説〕

① 選択肢の中で、格助詞「して」の意味はア、イ、ウのどれかである。「書かせて」の「せ」が使役であることから、「返事は、おとなしき〔＝思慮分別のある〕人に命じて書かせた」と考えられるので、ウが正解。

② 設問は「徒歩（かち）より」（＝徒歩で）なので手段の用法。選択肢から交通手段を探すとイのみ。よって、正解はイ。

③ 「搦む」は下二段活用なので、「搦め」は未然形か連用形と考えられる。「ばや」は、連用形に接続する「ばや」はないので、未然形接続で、文末にあることから自己願望の終助詞。「〜たい」という解釈ができているアが正解。

④ カ行四段活用「咲く」の未然形＋「なむ」＝他者願望の終助詞。よって、正解はア。

⑤ 禁止の終助詞は「な」か「そ」。選択肢に「な」がなく、設問文を確認すると、「な〜［A］」と「な」と一緒に用いているので「そ」と考えられる。よって、正解はイ。

〔解答〕

① ウ　② イ　③ ア　④ ア　⑤ イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十八講　模範解答・解説

〔解説〕

①「参詣せ」の「せ」は、「参詣する」と訳せるので、サ変動詞の未然形。したがって、傍線部「ばや」は未然形に接続している。直後は引用の「と」なので、傍線部は文末と判断できることから、自己願望の終助詞である。よって、正解はオ。

②「影だに」の「だに」は類推か限定の副助詞。下に、意志・仮定・願望・命令の表現はないので、類推。よって、「さえ」ときちんと解釈できているイが正解。

③「さへ」は添加の働きの副助詞。よって、正解はオ。

〔解答〕

①オ　②イ　③オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十九講　模範解答・解説

〔解説〕

① a　形容詞「恋し」の活用語尾。よって、正解はエ。

b　心地が「する」と訳せるので、「心地して」の「し」は、サ変動詞「す」の連用形。よって、正解はイ。

c　ハ行四段動詞「候ふ」の連用形に接続しているので、過去の助動詞「き」の連体形。よって、正解はオ。

② ラ行四段活用動詞「入る」の連用形に接続しているので、この「なむ」は強意の助動詞＋推量の助動詞。よって、正解はエ。

③ ラ変「あり」の未然形に接続しているので、この「なむ」は他者願望の終助詞。よって、正解はウ。

④ 形容詞「良し」の連用形で、「良かり」なので「か＋ラ変」の補助活用。したがって下に助動詞がつく。よって、この「なむ」は強意（完了）の助動詞＋推量の助動詞。よって、正解はオ。

〔解答〕

① a　エ　b　イ　c　オ　② エ　③ ウ　④ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十講　模範解答・解説

〈解説〉

① 「にや、」の「に」は断定。選択肢アは、連体形に接続し、「に」の下に「あらず」と「あり」がある形から「断定」。よって、正解はア。ちなみに、イはわからなくてもよいが格助詞「に」。格助詞だが、イのように連用形に接続する場合もある（同じ動詞を重ねて、動詞の連用形についている「に」は強調の働きの格助詞。〈例〉「泣きに泣く」）。ウは、接続助詞「に」。エは「ひたぶるに」で一語の形容動詞。

② a　上の「られ」が助動詞「らる」。「られ」＝未然形か連用形だが、未然形に接続する「に」は存在しないので、連用形だと判断する。連用形に接続する「に」は完了。ただし、この場合は下の「けり」に気づいたほうが早く解ける。上の文字を確認し、ナ変動詞ではないので「完了」。よって、正解はオ。

b　「まことに」で一語の副詞。「ほんとうに・実に」の意味。よって、正解はキ。ちなみに、その下の「大きに」は形容動詞「大きなり」の連用形。

c　「にや、」の「に」は断定。よって、正解はカ。

③ 選択肢ウは「往に」で一語のナ変動詞。他は連用形に接続する完了の助動詞。よって、正解はウ。

④ a　体言につき、下に「あらねども」と「あり」があるので、断定の助動詞。よって、正解はア。

b　連用形につき、下に「けり」があることからも、完了の助動詞。よって、正解はオ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

①　ア

②　a　オ

b　キ

c　カ

③　ウ

④　a　ア

b　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十一講　模範解答・解説

〔解説〕

① Ａ　不可能を表し、打消「ず」と一緒に用いられるものは「え〜打消」の「え」。よって、正解はア。

Ｂ　禁止を表し、終助詞「そ」と一緒に用いられるものは「な〜そ」の「な」。よって、正解はウ。

② 傍線部「さらに」が、「見いでず」の「ず」＝打消と呼応して、「まったく〜ない」の全否定。さらに「え」も打消と呼応して「〜できない」。両方がきちんと解釈できているのはイ。よって、正解はイ。

③ 「構へて」は、強調の働き。「まじき」は打消系統の助動詞「まじ」。両方がきちんと解釈できているのはウ。よって、正解はウ。

〔解答〕

① Ａ　ア　　Ｂ　ウ　　② イ　　③ ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十二講　模範解答・解説

〔解説〕

①　a　「用言〔＝とどめ（終止形「とどむ」）〕」＋奉り＝謙譲の補助動詞。よって、正解はイ。

　　b　「思」の下がサ行なので、終止形は「思（おぼ）す」で尊敬語の本動詞。よって、正解はア。

②　「いますかり」は助動詞ではないので、ア～ウは削る。敬語で種類は尊敬語。よって、正解はエ。

③　「な～そ」は「～するな（～してくれるな）」。「おぼし」は、①のb同様に尊敬語「おぼす」＝「お思いになる」。よって、その両方がきちんと解釈できているオが正解。

④　「おほとのごもる」は「寝（ぬ）」の尊敬語で「おやすみになる」。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　a　イ　　b　ア　　②　エ　　③　オ　　④　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講　模範解答・解説

〔解説〕

① 四段活用の「たまふ」が尊敬。四段の「たまふ」は本動詞と補助動詞がある。下二段活用の「たまふ」が謙譲。こちらはほとんどが補助動詞で、会話文中や手紙文中のみで使用される。

② a 用言の下で「侍り」なので丁寧の補助動詞。よって、正解はウ。

b 本動詞で「つかうまつる」は謙譲語。よって、正解はイ。ちなみに、「歌つかうまつれ」なので、「お仕えする」ではなく、「歌をお詠み申し上げよ」という訳になる。

③ a 助動詞の下で「たまへ」なので補助動詞。「思ふ・覚ゆ・見る・聞く・知る」以外に付いていることから尊敬である。よって、正解はア。

b 本動詞「聞こゆ」に補助動詞「やる」が付いて「聞こえやる」。「聞こゆ」は「申し上げる」と訳す謙譲語。よって、正解はイ。

④ 傍線部の「奉り」は、補助動詞の型にあてはまらないので本動詞。「車に乗る」という文脈で使われているので、尊敬語「お乗りになる」である。よって、正解はイ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① A　イ　B　ア　C　ウ　D　エ　E　ウ　F　エ

② a　ウ　b　イ

③ a　ア　b　イ

④ イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十四講　模範解答・解説

〈解説〉

① ａは補助動詞の型にあてはまらないので、本動詞「聞こゆ」である。よって、選択肢イは削る。選択肢ア・ウで、「謙譲」と「尊敬」に分かれているが、敬語であれば「謙譲語」であることから、選択肢ウも削る。ｂは「琴のこゑと聞こゆれ」なので、「琴のこゑ＝琴の音」と考えると、おそらく「琴の音が聞こえる」という普通の動詞の可能性が高い。少なくとも、型から補助動詞ではないので選択肢エは削る。ただし、「琴のこゑ」と申し上げたのかもしれないので、選択肢オは保留。ｃは、用言に付いているので、補助動詞「聞こゆ」。残りの選択肢ア・オのｃの表記を見比べると、アは謙譲、オは尊敬としている。補助動詞であれば「謙譲」であることから、正解はア。よって、ｂはやはり普通の動詞「聞こえる」である。

② 「誰に対する敬意か」という問題なので、敬語の「種類」を確認する。用言に付いている「たてまつる」なので、謙譲の補助動詞。謙譲語は客体（～を・に）に対する敬語。「玉鬘を」という文脈であるので、正解はイ。

③ 「誰の＝誰からの敬意か」は、敬語の「場所」を確認する。会話文の中にあるので、「話し手」から。「女房が申しける」という文脈から、「女房から」だとわかる。よって、エかオに絞る。「誰に対する敬意か」は、敬語の「種類」を確認する。用言に付いている「参らす」なので、謙譲の補助動詞。謙譲は客体（～を・に）に対する敬語。「九郎判官殿を」という文脈であるので、正解はエ。

④ 「奏せよ」はサ変動詞（せ・し・す・する・すれ・せよ）の命令形。「奏す」は「言ふ」の謙譲語で「申し上げる」。「奏す」は、言う相手は必ず「天皇・上皇・法皇（＝出家した上皇）」の誰かである。謙譲語は客体（～を・に）に対する敬語。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① ア

② イ

③ エ

④ Ⅰ ウ　Ⅱ イ　Ⅲ ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。